

令和6年度 事業実施報告書

【期間 : 令和6年4月1日～令和7年3月31日】

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

【目次】

経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

各課の取り組み

I. 法人運営事業

○総務課

1. 法人運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
2. 共同募金運動・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14
3. 放課後児童クラブ事業（志摩市受託事業）・・・・・・・・ P 16
4. 地域包括支援センター事業（志摩市受託事業）・・・・・・・・ P 18

II. 地域福祉活動推進事業

○地域支援課

1. 地域福祉活動推進事業・・・・・・・・ P 21
2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・ P 38
3. 会費充当事業・・・・・・・・ P 44
4. 生活福祉資金貸付事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・ P 46
5. 日常生活自立支援事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・ P 50
6. 生活困窮者自立支援事業（志摩市受託事業）・・・・・・・・ P 52

III. 在宅福祉サービス事業

○居宅介護支援課

1. 居宅介護支援事業・・・・・・・・ P 56

○在宅サービス課

1. 訪問介護事業・・・・・・・・ P 60
2. 訪問入浴介護事業・・・・・・・・ P 62
3. 通所介護事業・・・・・・・・ P 64

○障がい福祉課

1. 障がい者生活介護センター事業・・・・・・・・ P 67
2. 放課後等デイサービスセンター事業・・・・・・・・ P 69
3. 就労支援事業・・・・・・・・ P 70

経過報告

令和6年度の利益を示す当期活動増減差額は786万円（前年比1,209万円）となり今期は黒字決算となりました。サービス活動による収益は、98,389万円（前年比△535万円）となり令和5年度の実績を下回る結果となりました。収益の減少は、大王、磯部の通所介護事業所及び障がい者生活介護センターかがやき事業所における利用者数が減少したことが主な要因であると分析しています。磯部通所介護事業所においては、4月に新型コロナウイルス感染症によるクラスターにより5日間休業したことや7月に施設の空調設備を改修したことにより12日間休業したことで延べ836人が減少し収益の減少に大きく影響しました。また、障がい者生活介護センターかがやき事業所においては、死亡、施設入所、介護保険施設への利用移行などにより、延べ420人が減少する結果となり、このことも収益の減少に大きく影響しています。サービス活動による費用は98,728万円（前年比△1,154万円）となり、令和5年度に比べ費用を抑制した結果となりました。この主な要因は、正職員の年度途中での退職によるものです。令和6年度は黒字決算となりましたが、退職給付引当金を戻し入れたことが主な要因であると分析しています。

法人運営事業においては、遅滞していました中期経営計画の策定に向け、プロジェクトチーム、策定委員会などの体制を整え年度内の策定が完了しました。この計画は令和7年度から3ヵ年の計画としており、持続可能な法人運営に取り組む道標として事業を展開してまいります。また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震や8月8日に発令された南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」などによる防災意識の高まりにより、「志摩市社協防災チーム（SSDP）」を立ち上げ、事業継続計画（BCP）の検証や職員参集訓練を実施しました。年度末の理事会においては、定年延長に伴う職員給与規程の変更等について提案し、整理をさせていただきました。

地域福祉活動推進事業においては、阿児町神明地区の菜の花館を拠点として、地域住民の孤独・孤立を予防することや地域コミュニティを形成する居場所づくりなどを検証する新たな取組みにチャレンジしました。8月の毎週土曜日には、小学校入学前の子どもを育てる世帯の想いを把握するため「菜の花館キッズスペース」を開催したところ、多くの親子の参加がありました。今後も地域の福祉課題を把握し、住民が主体となった福祉活動の展開に向けて取組みをすすめてまいります。小地域での福祉活動を支える財源助成の仕組みについては、令和5年度において一定の整理・調整を行い、令和6年度から新たな制度設計においてスタートしました。地域支援コーディネーターが中心となり市内の小地域を訪問するなどして説明し、自治会や福祉委員会のみならず小地域での福祉活動の進め方などについて相互理解を深めました。結果、38地区においてふくし座談会が開催されることとなり、地域の福祉課題に対して住民が主体的に活動することへのきっかけとなりました。

在宅福祉サービスにおいては、利用者の意思及び人格を尊重し、常にお客様の立場に立った支援に努めてまいりました。サービス活動収益が令和5年度を上回ったサービス事業は、居宅介護支援事業（ゆうゆう、かがやき）、訪問介護事業、障がい者生活介護事業（きらり）、障がい児童デイサービス事業（くれよん）、就労支援事業（はばたき、あいのその）です。なかでも訪問介護事業はサービスの質を向上させ、収益アップに努めるための加算を算定できる体制を整えたことから前年比830万円の収益が増加した結果となりました。訪問介護事業への利用希望はあるものの、人材が不足しておりサービスの提供体制が十分に整っていないことが課題であることから、人材を確保するための取組みについて検討していく必要があります。

令和6年度において実施した事業の自己評価は以下のとおりであり、概ね計画どおりに実施できたのではないかと評価しています。C評価以下の事業についてはその原因などについて分析し、次年度以降において改善に努めてまいります。

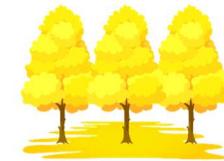
中区分において掲げた「目標」に対して、右記の5段階の評価基準で事業評価を記載しました。

◆中区分の例：P3 総務課（評価はP6に記載）

(1) 経営基盤の見直し及び強化

評価 B

記号	評価基準	結果	割合	
A	計画を大きく上回った	5	13.5%	81.1%
B	概ね計画どおり	25	67.6%	
C	十分ではなく、努力を要する	5	13.5%	
D	計画を大きく下回った	1	2.7%	18.9%
E	未着手、準備中、評価不能	1	2.7%	
合計		37	100.0%	

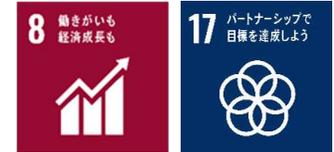


各課の取り組み

I. 法人運営事業

○ 総務課（事業方針）

本会の運営基盤及び健全経営を目指した管理体制の強化を図るとともに、単年度における収支が均衡となる経営改善を重点として、次の事業に取り組みます。



1. 法人運営事業・・・・・・・・支出予算 90,590千円

(1) 経営基盤の見直し及び強化

■目標

- ①経営組織の管理体制及び財務規律を強化し、事業運営の透明性を向上するとともに、効率的かつ適切な業務執行を行います。
- ②組織機構の再編や事業内容及び実施体制などを見直し、収支の均衡が図れるよう身の丈にあった経営改善に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①-1 定例理事会を開催します。（年2回） ①-3 理事会、評議員会を必要に応じて柔軟に開催します。 ・参考：令和5年度 理事会 7回開催 評議員会 3回開催	100%	①-1、①-3 下表のとおり理事会を開催しました。（定例理事会：2回、臨時理事会：2回、書面理事会：2回）		
		開催日	決議及び協議事項（○印は協議事項）	出席者
		[第1回] 6月7日	1. 令和5年度事業実施報告について 2. 令和5年度社会福祉事業会計決算について 3. 評議員候補者（補欠）の推薦について 4. 理事候補者（補欠）の推薦について 5. 令和6年度第1回評議員会の招集について	理事8人 監事2人
		[第2回] 9月27日	1. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 2. 嘱託職員就業規程の一部変更について 3. 職員給与規程の一部変更について 4. 訪問看護事業の廃止について 5. 契約職員・パート職員就業規程等の変更に伴う関連諸規程の一部変更について ① 社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について	理事7人 監事2人
[第3回書面] 11月18日	1. 評議員（補欠）の推薦について 2. 令和6年度第2回評議員会の招集について	理事8人 （欠員1人） 書面協議		

		[第4回] 12月19日	1. 障がい者就労支援事業所「ひまわり」の廃止について ① 中期経営計画の策定について	理事7人 (欠員1人) 監事2人
		[第5回書面] 2月25日	1. 令和6年度第3回評議員会の招集について	理事8人 (欠員1人) 書面協議
		[第6回] 3月28日	1. 令和6年度資金収支第1次補正予算について 2. 職員給与規程の一部変更について 3. 職員退職手当規程の一部変更について 4. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 5. 育児・介護休業等に関する規程の一部変更について 6. 就労移行支援事業所運営規程及び就労継続支援A型事業所運営規程の廃止について 7. 役員等賠償責任保険の契約について 8. 中期経営計画について 9. 令和7年度事業計画について 10. 令和7年度資金収支予算について	理事7人 (欠員1人) 監事2人
		①-2 定例評議員会を開催します。(年2回)		
		①-2 下表のとおり評議員会を開催しました。(定例評議員会:2回、臨時評議員会:1回)		
		開催日	決議及び協議事項	出席者
		[第1回] 6月26日	1. 令和5年度事業実施報告について 2. 令和5年度社会福祉事業会計決算について 3. 理事(補欠)の選任について	評議員7人 会長1人 副会長2人 監事2人
		[第2回] 12月19日	第2回及び第4回の理事会事項等について報告を行いました。	評議員9人 会長1人 副会長1人 監事2人
		[第3回] 3月28日	1. 令和6年度資金収支第1次補正予算について 2. 中期経営計画について 3. 令和7年度事業計画について 4. 令和7年度資金収支予算について	評議員12人 会長1人 副会長1人
		①-4 監事監査を実施します。(年2回)		
		100% ①-4 下表のとおり監事監査を実施しました。		

<p>①-5 内部監査を実施します。(年2回)</p> <p>①-6 国等の施策・制度に即し、各種規程・要綱を改正し、適正に管理します。</p> <p>①-7 その他(計画外)</p> <p>②-1 管理職会議を原則毎月1回開催し、運営状況及び方向性の確認と協議を行います。</p> <p>定例会議：12回 臨時会議：8回</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1回] 5月24日</td> <td>令和5年度事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和5年度事業実施報告書 2. 令和5年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)</td> <td>監事2人</td> </tr> <tr> <td>[第2回] 11月29日</td> <td>令和6年度上半期事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和6年度上半期事業実施報告書 2. 令和6年度上半期決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)</td> <td>監事2人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	[第1回] 5月24日	令和5年度事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和5年度事業実施報告書 2. 令和5年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)	監事2人	[第2回] 11月29日	令和6年度上半期事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和6年度上半期事業実施報告書 2. 令和6年度上半期決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)	監事2人
		開催日	内容	出席者							
		[第1回] 5月24日	令和5年度事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和5年度事業実施報告書 2. 令和5年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)	監事2人							
		[第2回] 11月29日	令和6年度上半期事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和6年度上半期事業実施報告書 2. 令和6年度上半期決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)	監事2人							
		<p>①-5 内部監査を下記のとおり実施しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月7日</td> <td>法人内10カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</td> <td>総務課長 総務課係長</td> </tr> <tr> <td>3月12日</td> <td>法人内10カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</td> <td>総務課長 総務課係長</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	11月7日	法人内10カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。	総務課長 総務課係長	3月12日	法人内10カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。	総務課長 総務課係長
		開催日	内容	出席者							
		11月7日	法人内10カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。	総務課長 総務課係長							
		3月12日	法人内10カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。	総務課長 総務課係長							
		<p>①-6 三重県内の最低賃金が時間額にて1,023円に改定されたことに伴って、契約職員・パート職員就業規程、嘱託職員就業規程及び職員給与規程を改正しました。</p>									
		<p>①-7 評議員の辞任に伴い、下表のとおり評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>決議事項</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1回] 6月20日</td> <td>1. 評議員(補欠)の選任について</td> <td>委員5人 会長1人</td> </tr> <tr> <td>[第2回] 11月29日</td> <td>1. 評議員(補欠)の選任について</td> <td>委員5人 会長1人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	決議事項	出席者	[第1回] 6月20日	1. 評議員(補欠)の選任について	委員5人 会長1人	[第2回] 11月29日	1. 評議員(補欠)の選任について	委員5人 会長1人
開催日	決議事項	出席者									
[第1回] 6月20日	1. 評議員(補欠)の選任について	委員5人 会長1人									
[第2回] 11月29日	1. 評議員(補欠)の選任について	委員5人 会長1人									
<p>②-1 原則、毎月第3水曜日を開催日とし、管理職会議を20回開催しました。主な協議内容は以下のとおりです。</p> <p>「新型コロナウイルス感染症について」「人事評価・業務目標の目線合わせについて」「志摩市社会福祉協議会災害対応マニュアルについて」「令和5年度経営分析について」「令和5年度人事評価結果について」「職員の退職について」「5月期の経営状況について」「障がい者生活介護センターの統合計画について」「障がい者就労支援事業所ひまわりの事業展開について」「令和6年度第1四半期の経営状況について」「最低賃金の改正による時給単価等の改正について」「生活介護センターにおける人事異動について」「台風10号への対応について」「障がい者就労支援事業所ひまわりの今後の方向性について」「障がい者相談支援体制</p>											

		の方向性について」「地域福祉センター大規模改修に伴う対策と方向性について」「上半期経営分析について」「職員採用について」「令和7年度職員体制（組織）の検討」「定年延長職員の給与設計について」「中期経営計画の進捗状況」「令和6年度第3四半期の経営状況について」
②-2 文書事務の電子化、ペーパーレス化を推進します。	60%	②-2 文書事務の電子化、ペーパーレス化（請求書オンライン受領サービスなど）、事務の効率化に向けて、複数のシステム業者からの提案（デモンストレーション）を確認し検討しました。
②-3 既存システムの有効性と業務軽減状況について検証します。	60%	②-3 ②-2 と併せて、勤怠システムと給料システムの導入に向け複数のシステム業者へ相談し、業者からの提案を受けました。
②-4 車両やパソコン等の備品の使用状況の把握と保守管理を徹底します。	80%	②-4 車両については、現在の使用場所等の変更等、把握に努めました。パソコン等については、台帳の整理を進めています。
②-5 各種リース物件等の契約と有効性について検証します。	80%	②-5 会計、給料システムのリースについては、その他のネットワーク環境等のシステムと一体的に管理する必要性について確認し、リプレースしました。また、車両物件のリース状況については劣化した車両を廃車し、新たにリース車両を導入しました。
②-6 職員の基本給、諸手当等について検証し、職員給与規程の改正に着手します。	100%	②-6 令和6年10月1日からの三重県の最低賃金改正に伴い、パート職員、契約職員、嘱託職員、正職員の一部について給与及び諸手当を改定しました。
②-7 財政計画を中心とした次期中期計画を立案します。	100%	②-7 財政計画を中心とした次期中期計画については、計画を策定するための資料を収集し、9月11日に中期経営計画を策定するための「策定委員会」と「プロジェクトチーム」を立ち上げました。同日に事前に選出した委員とメンバーを対象に中期経営計画についての説明会を開催しました。10月からプロジェクト会議3回と策定委員会を6回開催し、3月の理事会及び評議員会で承認されました。令和7年度から令和9年度の3年間で計画を推進していきます。
②-8 電気料金等の経費削減を進めるため、施設の照明機器をLEDに移行することについて検証します。	60%	②-8 蛍光灯の製造と輸出入が2027年末までに禁止されることに伴い、現状故障した照明器具については、順次LEDへ移行しています。

②-9 部署において作成したデータ（エクセル、ワード）の管理方法を検証し、データ管理についてルール化を図ります。	80%	②-9 データを整理する方法について複数の業者に相談しました。令和6年度も業者との協議を継続し、データ管理のルールについて整理を進めました。またセキュリティ対策も含めて複数のデバイスでデータを共有できる記憶装置（NAS/ネットワーク接続型ストレージ）を導入することを決めました。
--	-----	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 384 282 432"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定例開催を予定していた理事会、評議員会は計画どおり開催し、令和5年度の事業報告及び決算などを提案し、全議案が承認されました。 ・三重県の最低賃金改正により、関係就業規程、職員給与規程を改正しました。 ・労務管理、給与事務の効率化に向けたシステムの導入について2社からメリットデメリットについて説明を受けました。今後は実務と擦り合わせを行い、次年度以降導入に向けた合意を図っていく予定です。 ・中期経営計画については、策定プロジェクトを立ち上げ、各課メンバーで活発な意見交換をしました。職員が経営の意識をもって、持続可能な法人運営のための計画策定に取り組み、令和7年3月の理事会において提案し承認されました。
評価	B		

(2) 広報活動

■目標

①本会の取り組みや地域の福祉活動、先駆的な取り組み事例について、各種広報媒体を最大限に活用し、より多くの市民に地域福祉への関心をもっていただき、参加や協力の輪が広がっていくことを目指します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 社協だよりを発行します。（年6回）	100%	①-1 広報紙「志摩市社協だより」を、次のとおり発行しました。 発行回数 / 計6回発行（5、7、9、11、1、3月の1日発行） A4版2色刷り（4ページ）/ 約15,340部発行（1回あたり）
①-2 ホームページにより、情報を発信します。	100%	①-2 ホームページの発信により、定期的に必要な情報を提供しました。
①-3 SNSにより、情報を発信します。	100%	①-3 地域支援課が実施する事業の予定や実施状況などを中心に、SNSによりタイムリーな情報発信に努めました。
①-4 志摩市社会福祉大会を開催します。	100%	①-4 多年にわたり地域福祉の向上に率先して、ご尽力、ご協力をいただいた方々の功績に敬意と感謝の意を表すことを目的とした志摩市社会福祉大会を開催しました。 開催日時 / 令和6年11月24日（日） 13:00～15:30 場所 / 磯部生涯学習センター 多目的ホール 内容 / 顕彰（表彰、感謝）、記念講演【テーマ「人生100年時代の新しい生き方！～今すぐフレイルを学ぼう～】

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・「志摩市社協だより」は事業計画や予算、事業報告や決算はもとより、社協情報や地域交流を発信する媒体として計画どおり奇数月に発行しました。 ・ホームページやSNSは、行事予定や実施状況などタイムリーな情報を発信する媒体として、随時更新した情報を発信しました。
評価	

(3) 職員定着に向けた取り組み

■目標

- ①次世代職員の育成と組織の活性化を目指し、人事評価制度の効果的な運用を目指します。
- ②業務に必要な基本姿勢や知識、技術を取得させるなど人材の育成に取り組みます。
- ③正職員・嘱託職員・契約職員・パート職員のバランスに注視し、法人の事業規模に応じた職員体制を整備します。
- ④職員の働き方を検証し、選ばれる職場づくりに努めることで、優秀な人材確保に繋がります。
- ⑤障がいのある人が働く職場環境づくりに取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																
①-1 人事評価制度の運用について、目標設定、評価基準などこれまでの運用の課題を検証し、制度が成熟するよう改善に取り組みます。	70%	①-1 現行制度における課題を抽出し、マニュアルを一部修正しました。令和5年度の評価結果に基づき、令和6年度の給与に反映しました。下半期で人事評価シートの一部見直しを検討しましたが、修正には至っておりません。令和7年度に他市町の社会福祉協議会へのリサーチ等を行う予定です。																
①-2 人事評価の精度を高めるための研修を実施し、人事評価の効果的な運用につなげます。	50%	①-2 管理職会議において現行制度の課題などについて意見を交換しました。職員を対象とした研修会の開催については引き続き検討します。また、評価者を対象として人事評価の目的や人事評価シートへの記入方法などについて理解を深めましたが、効果的な運用方法は見いだせていません。上記同様に令和7年度にて効果的な運用を行うためのリサーチを行います。																
②-1 新規採用職員、既存職員とも、三重県社協のキャリアパス対応生涯研修課程などを活用し、階層に応じた研修を順次、受講させていただきます。	60%	②-1 キャリアパス対応生涯研修課程は階層に応じた職員が受講し、初任者研修2人、中堅職員研修4人、チームリーダー研修2人が参加しました。 ・キャリアパス研修 受講状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>受講日</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初任者</td> <td>令和6年7月23日(水)・24日(木)</td> <td>三重県社協</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>中堅</td> <td>令和6年9月5日(木)・6日(金)</td> <td>三重県社協</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>中堅</td> <td>令和6年9月10日(火)・11日(水)</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	コース	受講日	会場	参加者	初任者	令和6年7月23日(水)・24日(木)	三重県社協	2人	中堅	令和6年9月5日(木)・6日(金)	三重県社協	3人	中堅	令和6年9月10日(火)・11日(水)	三重県社協	1人
コース	受講日	会場	参加者															
初任者	令和6年7月23日(水)・24日(木)	三重県社協	2人															
中堅	令和6年9月5日(木)・6日(金)	三重県社協	3人															
中堅	令和6年9月10日(火)・11日(水)	三重県社協	1人															

		チームリーダー	令和6年10月24日(木)・25日(金)	三重県社協	2人
②-2 持続可能な法人運営を目指し、事業に必要なとされる資格取得を支援します。	30%	②-2 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員などの資格取得を奨励し、受験に必要な証明書を発行しました。また、多くの職員が資格取得を目指せるよう、資格手当、資格奨励制度の導入について引き続き検討していきます。			
②-3 階層毎に体系化された研修計画の作成に着手します。	30%	②-3 研修計画及び人材育成指針を作成し、内容を協議しています。			
③-1 中期的な職員採用計画の作成に着手します。	60%	③-1 令和6年度に策定した中期経営計画において、次年度以降に中期的な職員採用計画を検討及び作成していくことを確認しました。			
③-2 相互理解が進む人事異動により、職員の士気高揚に務めます。	70%	③-2 令和7年度の職員体制を検討するにあたり、下半期において異動希望調書により職員の意向を把握しました。			
④-1 労働災害の低減や職場の安全衛生を推進します。	100%	④-1 法令で求められている事業所にて安全衛生委員会を開催し、職場環境の点検、労働災害防止策、腰痛予防研修への参加やヒヤリハットについての対策を検討し、安全衛生管理を行いました。			
④-2 セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメントを防止する対策に取り組み、職員が生き生きと働ける職場づくりを推進します。	80%	④-2 管理職会議にてカスタマーハラスメントについて意見が出され、その対応に向けた規程の整備について検討しました。また一部の事務所の窓口にカスタマーハラスメント対策の掲示を行いました。			
④-3 仕事と子育て、介護の両立を支援し、女性が働きやすい環境づくりを推進します。	70%	④-3 「育児・介護休業等に関する規程」に基づき、育児休業の柔軟取得を進めています。また令和5年度で終了しました一般事業主行動計画（女性活躍推進法）については、新たに令和6年度から5年間の一般事業主行動計画（次世代育成支援・女性活躍推進法一体型）を策定し、三重労働局へ届出しました。 【目標】・職員全員、年次有給休暇の取得率を付与日数の60%以上とする。 ・労働者の月平均残業時間を削減させる。 ・地域の子どもの見学やインターンシップの受け入れを行う。			
④-4 多様な働き方に対応できる環境づくりを推	80%	④-4 地域包括支援センターなどの事業所においては、在宅勤務を適宜継続しています。在宅勤務による業務の効率化やオンライン			

進めます。		会議による移動時間の短縮などの効果も見られました。
⑤-1 障がい特性に応じた職場配置や業務を検討し、職場定着を推進します。	60%	⑤-1 障がい者から職務内容や作業環境などの相談があった場合、適宜助言等ができるように体制整備に努めました。
⑤-2 法定雇用率が令和7年度も充足するよう障がい者の採用を検討し、必要に応じて募集します。	40%	⑤-2 障がい者の法定雇用率（民間企業）は令和6年4月現在2.5%で、これに基づき算出した本会の法定雇用障がい者数は4人です。本会の障がい者雇用実績数は令和7年3月31日現在4.0人（常勤換算後）で、法定雇用障がい者数を満たしています。今後も障がい者の働く環境づくりと法定雇用率を充足できるように検討しました。（7年3月31日現在の在籍者数は7名）

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度については、総務課担当者と各課評価者が制度の共通理解を深めました。また、管理職会議の中でも制度の課題を共有しており、令和6年度の人事評価の取組みへ反映しています。 体系化された研修会の開催、中期的な職員採用計画の作成については着手できませんでした。また、下半期には職員の質の向上と仕事のやりがいが高まるような計画作成を目指しましたが、実施することができませんでした。 福祉業界は全国的に人材不足が顕著ですが、職場定着と新規雇用を熟考し人材の獲得に向けた取り組みを継続していきます。
----------------	--

(4) 防災対策・感染症対策の強化

■目標

- ①自然災害などの非常時における対策に取り組みます。
- ②新型コロナウイルス感染症等の感染症防止対策に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況								
①-1 BCP（事業継続計画）を検証し、実情に応じた修正を行います。	90%	<p>①-1 BCP（事業継続計画）の検証等のため、以下の取り組みを進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSDP（志摩市社協防災チーム）を立上げ、BCP（事業継続計画）の検証や職員参集訓練の実施に向けて準備を進めました。参集訓練は11月に実施しました。SSDPは、総務課、地域支援課、居宅介護支援課、在宅サービス課、障がい福祉課から職員を参加させています。 コア会議を4回開催しました。 SSDP（志摩市社協防災チーム）第1回コア会議 <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>令和6年7月17日（水）13:30～15:00</td> <td>参加方法</td> <td>集合会議</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>阿児地域福祉センター</td> <td>出席者</td> <td>SSDP コアメンバー6人</td> </tr> </table>	日時	令和6年7月17日（水）13:30～15:00	参加方法	集合会議	場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人
日時	令和6年7月17日（水）13:30～15:00	参加方法	集合会議							
場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人							

<p>①-2 自然災害などの非常時に必要とされる防災備蓄品を確保し、管理ルールを整備します。</p> <p>①-3 消防訓練・避難訓練を実施します。</p> <p>①-4 災害時の職員の安否確認をスムーズに行うため、連絡システムを強化します。</p> <p>①-5 関係部署と調整の上、事業者等と福祉版 DCP (地域継続計画) の協議を行います。</p> <p>②-1 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス等が蔓延した場合は、対策会議を開催して感染症への対策方針について協議します。</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>60%</p> <p>80%</p> <p>50%</p>	<table border="1"> <tr> <td>内容</td> <td colspan="3">リーダーの選任・災害 BCP 計画の検証と見直し・参集訓練について</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第2回コア会議</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>令和6年9月18日(水) 13:00~15:00</td> <td>参加方法</td> <td>集合会議</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>阿児地域福祉センター</td> <td>出席者</td> <td>SSDP コアメンバー6人</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td colspan="3">参集訓練・福祉避難所・南海トラフ地震臨時情報について</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第3回コア会議</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>令和6年11月27日(水) 13:30~15:15</td> <td>参加方法</td> <td>集合会議</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>阿児地域福祉センター</td> <td>出席者</td> <td>SSDP コアメンバー6人</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td colspan="3">参集訓練の振り返り、福祉避難所・次年度計画、各事業所の取り組みについて</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第4回コア会議</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>令和7年2月12日(水) 13:00~15:10</td> <td>参加方法</td> <td>集合会議</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>阿児地域福祉センター</td> <td>出席者</td> <td>SSDP コアメンバー5人</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td colspan="3">次年度計画、福祉避難所、災害備蓄品の管理、次年度メンバー、DWAT 三重への登録等について</td> </tr> </table> <p>①-2 令和5年度に各拠点へ配備した防災備蓄品について、ローリングストックなどの管理ルールを SSDP (志摩市社協防災チーム) で検討しています。また、下半期にて各拠点の災害備蓄品について3日分の食事メニューを作成し備蓄方法を日別に配備しました。</p> <p>①-3 指定管理施設及び事業所において消防計画(年2回:9月、2月)に基づき、志摩消防署の協力のもと消防訓練を実施しました。</p> <p>①-4 大規模災害時の職員参集訓練(11月)を実施しました。またそれに向けて、連絡システムの理解を深め、実際に活用し訓練を実施しました。</p> <p>①-5 志摩市内の事業者(医療、福祉)と大規模災害時における協力内容について、9月に意見交換会を実施しました。また、志摩の里とも事務担当者レベルにて2月に意見交換を実施しました。</p> <p>②-1 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス等について、感染状況に応じて対策会議を開催しました。</p>	内容	リーダーの選任・災害 BCP 計画の検証と見直し・参集訓練について			・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第2回コア会議				日時	令和6年9月18日(水) 13:00~15:00	参加方法	集合会議	場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人	内容	参集訓練・福祉避難所・南海トラフ地震臨時情報について			・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第3回コア会議				日時	令和6年11月27日(水) 13:30~15:15	参加方法	集合会議	場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人	内容	参集訓練の振り返り、福祉避難所・次年度計画、各事業所の取り組みについて			・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第4回コア会議				日時	令和7年2月12日(水) 13:00~15:10	参加方法	集合会議	場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー5人	内容	次年度計画、福祉避難所、災害備蓄品の管理、次年度メンバー、DWAT 三重への登録等について		
内容	リーダーの選任・災害 BCP 計画の検証と見直し・参集訓練について																																																					
・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第2回コア会議																																																						
日時	令和6年9月18日(水) 13:00~15:00	参加方法	集合会議																																																			
場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人																																																			
内容	参集訓練・福祉避難所・南海トラフ地震臨時情報について																																																					
・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第3回コア会議																																																						
日時	令和6年11月27日(水) 13:30~15:15	参加方法	集合会議																																																			
場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人																																																			
内容	参集訓練の振り返り、福祉避難所・次年度計画、各事業所の取り組みについて																																																					
・SSDP (志摩市社協防災チーム) 第4回コア会議																																																						
日時	令和7年2月12日(水) 13:00~15:10	参加方法	集合会議																																																			
場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー5人																																																			
内容	次年度計画、福祉避難所、災害備蓄品の管理、次年度メンバー、DWAT 三重への登録等について																																																					

②-2 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための対策要綱により、感染症予防に取り組みます。	80%	②-2 感染対策委員会において、各部署での感染症の発生状況の確認及び感染症全般の予防対策、その他の取り組み等について検討しました。 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度第1回感染対策委員会 令和6年6月13日開催 出席者10名 令和6年度第2回感染対策委員会 令和6年11月18日開催 出席者9名
---	-----	---

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> 災害 BCP（事業継続計画）や防災計画について SSDP（志摩市社協防災チーム）を立上げ検証や修正を行っています。いつ発生するか分からない有事に備え、職員の参集訓練を初めての試みとして11月に実施しました。 新型コロナウイルス感染症の感染が確認された場合は、クラスター対策を協議した上で営業判断などについて対処しています。 感染対策委員会では、新型コロナウイルス感染症に限らずインフルエンザ等各種感染症への対応について協議しました。
----------------	--

(5) 地域福祉活動財源の確保

■目標

①地域福祉活動の貴重な財源である会費の増額に務めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況												
①-1 自治会及び関係機関、法人に協力を求め、実績額の増加に務めます。	98%	①-1 自治会の会議や自治会事務所等に出向き会費への協力を求めるとともに、書面において協力を呼びかけましたが、実績は減少しました。												
①-2 広報誌やホームページを通じて社協を理解してもらえよう、活動や事業の積極的な情報発信を行います。	100%	①-2 広報誌やホームページにおいて本会の事業を啓発するとともに会費への協力を求めました。												
①-3 会費の用途を明確にし、資料等へ用途を記載するなど市民への理解を深めます。	100%	①-3 会費への協力を求める書類に、会費を財源として実施する事業や実績を記載するなど市民への理解を深める工夫を行いました。												
①-4 特別会費については、依頼する企業について見直し、幅広い企業への募集を実施します。（前年比+10件以上）	89%	①-4 本会と何らかの取引や関係のある企業383社に案内を行いました。実績は、令和5年度を下回る結果となりました。 ・一般会費の状況 <table border="1" data-bbox="846 1337 2092 1437"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>1,102件</td> <td>1,083件</td> <td>1,813件</td> <td>2,752件</td> <td>2,110件</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	納入件数	1,102件	1,083件	1,813件	2,752件	2,110件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町									
納入件数	1,102件	1,083件	1,813件	2,752件	2,110件									

納入金額	551,000 円	534,890 円	948,200 円	1,341,851 円	1,054,100 円
納入件数合計	8,860 件〔前年比：-332 件〕		納入金額合計	4,430,041 円〔前年比：-120,706 円〕	

・賛助会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
納入件数	19 件	4 件	22 件	45 件	5 件	2 件
納入金額	63,000 円	12,000 円	66,000 円	138,000 円	18,000 円	6,000 円
納入件数合計	97 件〔前年比：-5 件〕		納入金額合計	303,000 円〔前年比：-15,000 円〕		

・特別会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
納入件数	8 件	19 件	12 件	79 件	30 件	19 件
納入金額	49,780 円	97,120 円	109,340 円	456,650 円	239,230 円	119,340 円
納入件数合計	167 件〔前年比：-10 件〕		納入金額合計	1,071,460 円〔前年比：-91,100 円〕		

・会費の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般会費	4,773,528 円	4,776,006 円	4,621,333 円	4,550,747 円	4,430,041 円
賛助会費	500,000 円	459,000 円	367,000 円	318,000 円	303,000 円
特別会費	1,265,000 円	1,340,000 円	1,253,000 円	1,162,560 円	1,071,460 円
合計	6,538,528 円	6,575,006 円	6,241,333 円	6,031,307 円	5,804,501 円

・寄附金の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
寄附件数	3 件	1 件	14 件	12 件	5 件	11 件
寄附金額	160,000 円	20,000 円	142,000 円	542,102 円	148,000 円	203,623 円
寄附件数合計	46 件〔前年比：+7 件〕		合計〔寄附金額〕	1,215,725 円〔前年比：+48,710 円〕		

※物品のうち1万円以上の価値のあるものについては、金額に換算しています。

・寄附金額の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
寄附金	1,885,967 円	2,110,312 円	1,605,333 円	1,167,015 円	1,215,725 円

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・会員募集については、地域の実情に合わせた募集時期とし丁寧な対応をしました。 ・会費の実績額は令和5年度と比較し、件数、金額ともに減少する結果となりました。地域住民の高齢化や人口減少、物価高騰などが会費額の減少となった主な要因であると分析しています。
----------------	--

(6) 志摩市との連携事業

■目標

①志摩市介護・総合相談支援課、志摩市生活支援課に職員を派遣し、市との福祉サービス事業の連携強化を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 定期的に地域支援コーディネーター会議を開催し、地域福祉事業の方向性の確認、実践方法などについて協議し、共有します。	100%	①-1 市介護・総合相談支援課に職員1人を派遣しました。毎月1回、定例会を開催し、第4次地域福祉（活動）計画の進捗状況を確認しながら、地域福祉事業の方向性、実践状況について情報を共有し、進行管理を行いました。また、地域包括支援センター主催の自立支援型地域ケア会議へ月1回の出席と包括的ケアマネジメント会議にて、インフォーマルサービスや地域資源の情報提供についての助言と連携に努めました。
①-2 経済的な課題を抱えている市民の相談を受け止め、関係機関と連携を図りながら市民に寄り添った支援を進めます。	100%	①-2 市生活支援課に生活困窮者の相談支援職員1人をサテライトで配置しました。経済的な生活課題を受け止め、生活保護制度や他制度への橋渡しなど市民に寄り添った支援に努めました。

■評価

目標の達成度 評価 A	<ul style="list-style-type: none"> ・市生活支援課へサテライト設置した職員の相談援助については、引き続き本会の生活困窮者自立支援事業や関係機関との連携により、相談者が困らない援助をマネジメントし頼られる存在になっています。また、市介護・総合相談支援課に派遣した職員については、志摩市を範囲とする1層の地域支援コーディネーターとして日々奔走しています。地域との連携強化が図られているものと評価しています。
----------------	---

2. 共同募金運動・・・・・・・・支出予算 289千円（志摩市共同募金委員会予算）

(1) 共同募金運動

■目標

①三重県共同募金会志摩市共同募金委員会の事務局として共同募金運動を推進します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況												
①-1 運営委員会を開催します。(年3回)	100%	<p>①-1 下表のとおり運営委員会を開催しました。</p> <table border="1" data-bbox="846 233 2096 1011"> <thead> <tr> <th data-bbox="846 233 1072 277">開催日</th> <th data-bbox="1072 233 1906 277">決議事項</th> <th data-bbox="1906 233 2096 277">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="846 277 1072 494">[第1回] 6月20日</td> <td data-bbox="1072 277 1906 494"> 1. 令和5年度事業実施報告について 2. 令和5年度社会福祉事業会計決算について 3. 令和5年度(令和6年度充当)一般募金配分計画変更(案)について 4. 令和6年度(令和7年度充当)一般募金配分計画(案)について 5. 運営委員及び監事の選任について </td> <td data-bbox="1906 277 2096 494">委員 10人 監事 2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="846 494 1072 711">[第2回] 8月23日</td> <td data-bbox="1072 494 1906 711"> 1. 運営委員(補欠)の選任について 2. 会長及び副会長の選任について 3. 令和6年度共同募金目標額について 4. 共同募金配分委員会委員(補欠)の選任について 5. 三重県共同募金会評議員(補欠)の選任について </td> <td data-bbox="1906 494 2096 711">委員 10人 監事 2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="846 711 1072 1011">[第3回] 3月13日</td> <td data-bbox="1072 711 1906 1011"> 1. 志摩市共同募金委員会会則の一部変更について 2. 令和6年度社会福祉事業会計収支補正予算について 3. 令和7年度事業計画について 4. 令和7年度社会福祉事業会計収支予算について 5. 運営委員(補欠)の推薦について 6. 共同募金配分委員会委員の推薦について 7. 令和6年度(令和7年度充当)一般募金配分計画の変更について </td> <td data-bbox="1906 711 2096 1011">委員 9人 監事 2人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	決議事項	出席者	[第1回] 6月20日	1. 令和5年度事業実施報告について 2. 令和5年度社会福祉事業会計決算について 3. 令和5年度(令和6年度充当)一般募金配分計画変更(案)について 4. 令和6年度(令和7年度充当)一般募金配分計画(案)について 5. 運営委員及び監事の選任について	委員 10人 監事 2人	[第2回] 8月23日	1. 運営委員(補欠)の選任について 2. 会長及び副会長の選任について 3. 令和6年度共同募金目標額について 4. 共同募金配分委員会委員(補欠)の選任について 5. 三重県共同募金会評議員(補欠)の選任について	委員 10人 監事 2人	[第3回] 3月13日	1. 志摩市共同募金委員会会則の一部変更について 2. 令和6年度社会福祉事業会計収支補正予算について 3. 令和7年度事業計画について 4. 令和7年度社会福祉事業会計収支予算について 5. 運営委員(補欠)の推薦について 6. 共同募金配分委員会委員の推薦について 7. 令和6年度(令和7年度充当)一般募金配分計画の変更について	委員 9人 監事 2人
開催日	決議事項	出席者												
[第1回] 6月20日	1. 令和5年度事業実施報告について 2. 令和5年度社会福祉事業会計決算について 3. 令和5年度(令和6年度充当)一般募金配分計画変更(案)について 4. 令和6年度(令和7年度充当)一般募金配分計画(案)について 5. 運営委員及び監事の選任について	委員 10人 監事 2人												
[第2回] 8月23日	1. 運営委員(補欠)の選任について 2. 会長及び副会長の選任について 3. 令和6年度共同募金目標額について 4. 共同募金配分委員会委員(補欠)の選任について 5. 三重県共同募金会評議員(補欠)の選任について	委員 10人 監事 2人												
[第3回] 3月13日	1. 志摩市共同募金委員会会則の一部変更について 2. 令和6年度社会福祉事業会計収支補正予算について 3. 令和7年度事業計画について 4. 令和7年度社会福祉事業会計収支予算について 5. 運営委員(補欠)の推薦について 6. 共同募金配分委員会委員の推薦について 7. 令和6年度(令和7年度充当)一般募金配分計画の変更について	委員 9人 監事 2人												
①-2 監事監査を実施します。(年2回)	50%	<p>①-2 下表のとおり監事監査を実施しました。共同募金の運動期間が短いため、今後は年1回の監査会とします。</p> <table border="1" data-bbox="846 1110 2096 1257"> <thead> <tr> <th data-bbox="846 1110 1072 1155">開催日</th> <th data-bbox="1072 1110 1906 1155">内容</th> <th data-bbox="1906 1110 2096 1155">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="846 1155 1072 1257">[第1回] 4月26日</td> <td data-bbox="1072 1155 1906 1257"> 令和5年度事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和5年度事業実施報告書 2. 令和5年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書など) </td> <td data-bbox="1906 1155 2096 1257">監事 2人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	[第1回] 4月26日	令和5年度事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和5年度事業実施報告書 2. 令和5年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書など)	監事 2人						
開催日	内容	出席者												
[第1回] 4月26日	令和5年度事業に関する決算監査(下記書類を中心に監査) 1. 令和5年度事業実施報告書 2. 令和5年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書など)	監事 2人												
①-3 自治会及び関係機関、法人に協力を求め、実績額の増加に努めます。	100%	<p>①-3 10月1日からの共同募金運動に備え、自治会や関係機関、市内の企業・法人に共同募金への協力を依頼しました。また、自治会には戸別募金、関係機関には窓口募金、企業には職域募金、法人募金として、それぞれ資材を準備し配布しました。</p>												

<p>①-4 広報誌やホームページを通じて共同募金運動を理解してもらえよう、活動や事業の積極的な啓発を行います。</p>	100%	①-4、①-5 共同募金運動の趣旨や募金の用途についての理解を深めるため、広報誌（5月、7月、9月、11月、3月号）において記事を掲載し、またホームページで常設コーナーを設けて情報を発信しました。						
<p>①-5 募金の用途を明確にし、資料などへ用途を記載するなど市民への理解を深めます。</p>	100%							
<p>①-6 法人募金については、依頼する企業について見直し、幅広い企業への募集を実施します。（前年比+10件以上）</p>	100%	<p>①-6 法人募金は、10月以降に市内の企業を中心に趣意等の文書を郵送し、志摩市共同募金会運営委員と本会職員と一緒に訪問して企業に協力を依頼しました。 ※新規案内企業 77件</p> <table border="1" data-bbox="840 574 1198 718"> <tr> <td>案内件数</td> <td>351件</td> </tr> <tr> <td>募金件数</td> <td>173件</td> </tr> <tr> <td>募金率</td> <td>49.2%</td> </tr> </table>	案内件数	351件	募金件数	173件	募金率	49.2%
案内件数	351件							
募金件数	173件							
募金率	49.2%							

■評価

<p>目標の達成度 評価 B</p>	<p>・10月から共同募金運動を展開するため、街頭募金の実施準備や自治会との調整、運動資材の準備を行いました。高齢化や人口減少、物価高騰などの要因が募金実績に影響し、募金実績額は5,492,372円となり、令和5年度と比べ167,157円減少する結果となりました。</p>
------------------------	--

3. 放課後児童クラブ事業（志摩市受託事業）・・・・・・支出予算 20,874千円

(1) 浜島・磯部放課後児童クラブ事業

■目標

①市及び関連機関と協調し磯部及び浜島地域において、放課後児童の健全育成と保護者の就労支援に寄与すべく、事業を運営します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況								
<p>①-1 放課後児童クラブ運営委員会を年2回開催し、保護者及び有識者代表の意見・助言を事業運営に活かしていきます。</p>	100%	<p>①-1 下表のとおり運営委員会を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="840 1316 2094 1444"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1回] 11月13日</td> <td>1. 令和6年度上半期の児童クラブ事業について 2. ご意見、ご要望など</td> <td>委員6人</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	内容	出席者	[第1回] 11月13日	1. 令和6年度上半期の児童クラブ事業について 2. ご意見、ご要望など	委員6人
開催日	内容	出席者								
[第1回] 11月13日	1. 令和6年度上半期の児童クラブ事業について 2. ご意見、ご要望など	委員6人								

<p>①-2 必要に応じて利用者ニーズをアンケート等で把握し、事業改善や施設の環境整備を行います。</p> <p>①-3 児童の健全育成に関心のあるボランティアに活動の場を提供します。</p> <p>①-4 伝統的な遊びやスポーツ、文化活動の知識や経験のある地域の方を招き、交流やレクリエーションの場を提供します。</p>	<p>100%</p> <p>80%</p> <p>80%</p>	<table border="1" data-bbox="846 132 2096 284"> <tr> <td data-bbox="846 132 1070 284">[第2回] 3月5日</td> <td data-bbox="1070 132 1906 284">1. 令和6年度下半期の児童クラブ事業について 2. 令和7年度児童クラブの展望について 3. 放課後児童クラブに関するアンケート結果、総評について 4. ご意見、ご要望など</td> <td data-bbox="1906 132 2096 284">委員7人</td> </tr> </table> <p>①-2 令和7年1月に放課後児童クラブを利用する児童やその保護者向けの利用者アンケートを実施し、結果を保護者に公表しました。職員間でも結果を参考に改善点等について検討を行ったほか、運営委員会でも意見や助言をいただき、すぐ着手できる点については、改善を行いました。</p> <p>①-3 ボランティアとの交流の機会を下記のとおり調整しました。今後も高校生ボランティアや地域のボランティアなどへ情報を発信し、ボランティアの積極的な受け入れ体制を整えていきます。</p> <table border="1" data-bbox="813 603 2175 837"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>対象クラブ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月23日</td> <td>磯部放課後児童クラブ</td> <td>地元有志の協力を得、手品など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。</td> </tr> <tr> <td>12月25日</td> <td>磯部放課後児童クラブ</td> <td>地元有志の協力を得、手品、影絵、オカリナ演奏など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-4 夏休みには下記の地域交流や料理教室などを実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="813 927 2175 1252"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>対象クラブ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月23日</td> <td>磯部放課後児童クラブ</td> <td>民生委員・児童委員6人の協力を得、牛乳パックのコマ作りなどを通して、児童との楽しく有意義な時間を過ごしました。</td> </tr> <tr> <td>7月25日</td> <td>浜島放課後児童クラブ</td> <td>市観光課とキッチンアドバイザーの協力を得、磯体験施設海ほおずきを会場に、買い物、調理、食事の体験により、食生活のプロセスを学ぶ機会となりました。</td> </tr> <tr> <td>8月16日 8月21日</td> <td>磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ</td> <td>市職員である国際交流員の協力を得、異文化に触れることにより、文化の違いを理解し相手を尊重することなどについて学ぶ機会となりました。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・経営状況</p> <table border="1" data-bbox="826 1295 1671 1445"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島</th> <th>磯部</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>25人</td> <td>75人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>3,256人</td> <td>10,473人</td> <td>13,729人</td> </tr> </tbody> </table>	[第2回] 3月5日	1. 令和6年度下半期の児童クラブ事業について 2. 令和7年度児童クラブの展望について 3. 放課後児童クラブに関するアンケート結果、総評について 4. ご意見、ご要望など	委員7人	開催日	対象クラブ	内容	8月23日	磯部放課後児童クラブ	地元有志の協力を得、手品など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。	12月25日	磯部放課後児童クラブ	地元有志の協力を得、手品、影絵、オカリナ演奏など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。	開催日	対象クラブ	内容	7月23日	磯部放課後児童クラブ	民生委員・児童委員6人の協力を得、牛乳パックのコマ作りなどを通して、児童との楽しく有意義な時間を過ごしました。	7月25日	浜島放課後児童クラブ	市観光課とキッチンアドバイザーの協力を得、磯体験施設海ほおずきを会場に、買い物、調理、食事の体験により、食生活のプロセスを学ぶ機会となりました。	8月16日 8月21日	磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ	市職員である国際交流員の協力を得、異文化に触れることにより、文化の違いを理解し相手を尊重することなどについて学ぶ機会となりました。		浜島	磯部	合計	定員	25人	75人	100人	延べ利用者数	3,256人	10,473人	13,729人
[第2回] 3月5日	1. 令和6年度下半期の児童クラブ事業について 2. 令和7年度児童クラブの展望について 3. 放課後児童クラブに関するアンケート結果、総評について 4. ご意見、ご要望など	委員7人																																				
開催日	対象クラブ	内容																																				
8月23日	磯部放課後児童クラブ	地元有志の協力を得、手品など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。																																				
12月25日	磯部放課後児童クラブ	地元有志の協力を得、手品、影絵、オカリナ演奏など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。																																				
開催日	対象クラブ	内容																																				
7月23日	磯部放課後児童クラブ	民生委員・児童委員6人の協力を得、牛乳パックのコマ作りなどを通して、児童との楽しく有意義な時間を過ごしました。																																				
7月25日	浜島放課後児童クラブ	市観光課とキッチンアドバイザーの協力を得、磯体験施設海ほおずきを会場に、買い物、調理、食事の体験により、食生活のプロセスを学ぶ機会となりました。																																				
8月16日 8月21日	磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ	市職員である国際交流員の協力を得、異文化に触れることにより、文化の違いを理解し相手を尊重することなどについて学ぶ機会となりました。																																				
	浜島	磯部	合計																																			
定員	25人	75人	100人																																			
延べ利用者数	3,256人	10,473人	13,729人																																			

			[前年比]	240人	-59人	181人	
			1日平均利用者数(平日)	13.2人	42.3人	55.5人	
			1日平均利用者数(土曜)	1.4人	4.2人	5.6人	
			当期利益			281,653円	
			当期利益増減値 [前年比]			-1,249,896円	

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の平均利用者数は定員数と比較すると少なく見えますが、3月末時点で通常時の登録利用者数は浜島が16人、磯部が57人でした。また、長期休業期間のみの利用を希望された児童もあり、夏休み期間にはほぼ定員に達する登録人数となりました。 ・職員の異動等がありましたが、利用児童が地域交流や学びを通して有意義な時を過ごすことが出来ました。また、職員間では常に安心、安全に過せる場の提供を心がけるよう努めました。
評価	A		

4. 地域包括支援センター事業(志摩市受託事業)・・・・・・支出予算 26,542千円

(1) 浜島・磯部地域包括支援センター事業

■目標

①保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がチームアプローチによる住民の健康保持及び生活の安定に向けた必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																												
①-1 高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談を総合的に受けとめ、必要な支援を調整します。高齢者以外の相談にも柔軟に対応し、地域支援課など関係機関と連携して課題解決にあたります。	100%	①-1 総合相談支援業務について、下記のとおり取り組みました。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に関する総合相談窓口として、相談支援を行いました。 ・近隣地域や関係者からの情報提供を受け、自宅への訪問などにより適切な制度やサービスへつなげました。また、かかりつけ医、民生委員・児童委員や生活困窮者自立支援事業担当者、地域支援コーディネーターとの同行訪問も適宜行っています。 ・地域ケア会議の開催や認知症カフェへの参加を通じて、地域支援体制づくりを進めました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生活家庭</th> <th>介護保険</th> <th>介護予防</th> <th>医療</th> <th>経済問題</th> <th>虐待</th> <th>福祉サービス(介護保険外)</th> <th>権利擁護</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島町</td> <td>166件</td> <td>394件</td> <td>0件</td> <td>34件</td> <td>4件</td> <td>98件</td> <td>28件</td> <td>0件</td> <td>8件</td> <td>732件</td> </tr> <tr> <td>磯部町</td> <td>247件</td> <td>485件</td> <td>0件</td> <td>25件</td> <td>3件</td> <td>59件</td> <td>27件</td> <td>0件</td> <td>8件</td> <td>854件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>9件</td> <td>13件</td> </tr> </tbody> </table>		生活家庭	介護保険	介護予防	医療	経済問題	虐待	福祉サービス(介護保険外)	権利擁護	その他	合計	浜島町	166件	394件	0件	34件	4件	98件	28件	0件	8件	732件	磯部町	247件	485件	0件	25件	3件	59件	27件	0件	8件	854件	その他	2件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	9件	13件
	生活家庭	介護保険	介護予防	医療	経済問題	虐待	福祉サービス(介護保険外)	権利擁護	その他	合計																																				
浜島町	166件	394件	0件	34件	4件	98件	28件	0件	8件	732件																																				
磯部町	247件	485件	0件	25件	3件	59件	27件	0件	8件	854件																																				
その他	2件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	9件	13件																																				

合計	415件	881件	0件	59件	7件	157件	55件	0件	25件	1,599件
----	------	------	----	-----	----	------	-----	----	-----	--------

(参考)	令和5年度実績
浜島町	568件
磯部町	777件
その他	17件
合計	1,362件

①-2 高齢者の虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供などを行います。

100%

①-2 権利擁護業務について、下記のとおり取り組みました。

- ・虐待通報、相談を受けた案件について、現地への状況確認や、相談支援を行いました。市が虐待事例に対して開催するコアメンバー会議では、利用者、ご家族の想いや悩みを尊重した上で支援対応の方向性を確認しています。
- ・市介護・総合相談支援課や鳥羽警察署との連携を図り、必要時に対応できる体制づくりに努めています。

	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	2件	4件	6件
虐待認定された件数	1件	1件	2件

(参考)	令和5年度実績		
	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	3件	5件	8件
虐待認定された件数	2件	3件	5件

①-3 ケアマネジャーが孤立しないよう、一緒にケアマネジメント過程を振り返り、他機関との連携が行えるよう支援します。

100%

①-3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について、下記のとおり取り組みました。

- ・居宅介護支援事業所のケアマネジャーへ、主任介護支援専門員として随時個別相談やアドバイスをを行いました。支援困難事例等への対応指導や、虐待事例におけるの同行訪問も行っています。

①-4 要支援者に対する予防給付、要介護・要支援状態となるおそれのある方に対する介護予防事業が、効果的かつ効率的に提供されるた

100%

①-4 介護予防ケアマネジメント業務について、下記のとおり取り組みました。

- ・要支援者及び事業対象者が要介護状態となることを予防し、または維持するために適切なケアマネジメントを行いました。

	自機関	委託	合計

<p>めの適切なケアマネジメントを行います。</p> <p>①-5 要支援者が介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況や環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成します。</p>	<p>100%</p>	<table border="1"> <tr> <td>介護予防ケアマネジメント数</td> <td>584 件</td> <td>178 件</td> <td>762 件</td> </tr> </table>	介護予防ケアマネジメント数	584 件	178 件	762 件																								
		介護予防ケアマネジメント数	584 件	178 件	762 件																									
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">(参考)</td> <td colspan="3">令和5年度実績</td> </tr> <tr> <td>自機関</td> <td>委託</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>介護予防ケアマネジメント数</td> <td>482 件</td> <td>175 件</td> <td>657 件</td> </tr> </table> <p>自機関：浜島・磯部地域包括支援センター 委 託：浜島・磯部地域包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（8 事業所）</p> <p>①-5 介護予防支援について、下記のとおり取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 要支援者が必要な介護予防サービス等を適切に利用できるよう、介護予防計画を作成しました。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>自機関</td> <td>委託</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>介護予防サービス計画作成数</td> <td>830 件</td> <td>590 件</td> <td>1,420 件</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">(参考)</td> <td colspan="3">令和5年度実績</td> </tr> <tr> <td>自機関</td> <td>委託</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>介護予防サービス計画作成数</td> <td>780 件</td> <td>542 件</td> <td>1,322 件</td> </tr> </table> <p>自機関：浜島・磯部地域包括支援センター 委 託：浜島・磯部地域包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（8 事業所）</p>	(参考)	令和5年度実績			自機関	委託	合計	介護予防ケアマネジメント数	482 件	175 件	657 件		自機関	委託	合計	介護予防サービス計画作成数	830 件	590 件	1,420 件	(参考)	令和5年度実績			自機関	委託	合計	介護予防サービス計画作成数	780 件	542 件	1,322 件
(参考)		令和5年度実績																												
	自機関	委託	合計																											
介護予防ケアマネジメント数	482 件	175 件	657 件																											
	自機関	委託	合計																											
介護予防サービス計画作成数	830 件	590 件	1,420 件																											
(参考)	令和5年度実績																													
	自機関	委託	合計																											
介護予防サービス計画作成数	780 件	542 件	1,322 件																											

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度と比較して、相談件数やケアプラン件数は増加しており、事業運営については順調に進捗することができました。 民生委員・児童委員に協力を得て開催している地域ケア会議が定着しつつある地区もあり、今後も地域資源や地域支援の可能性をみてさらに増やしていきたいと考えています。 地域の方々や民生委員・児童委員からの相談が増えてきていることから、浜島・磯部地域包括支援センターの認知度が高まっていると考えます。今後も気軽に介護や生活課題のことが相談できる機関として、地域包括支援センターの機能について啓発していきます。 生活困窮者自立支援事業や地域支援コーディネーターと協働連携し、本会で地域包括支援センター事業を受託している強みを活かした活動を行っていきます。
評価	A		

Ⅱ. 地域福祉活動推進事業

○ 地域支援課（事業方針）

第4次志摩市地域福祉（活動）計画は3年目を迎え、5年計画の折り返し地点となります。重点施策のひとつである「地域づくり」において、住民主体の新たな地域づくり活動に向け各地区でふくし座談会を展開しており、継続的な取組みとなるよう引き続きコーディネートを進めていきます。



また、令和6年度から新たに、ひきこもり支援事業と地域拠点づくり事業（実施場所／阿児町神明）の取組みが始まります。令和5年度まで築き上げてきた支援の積み重ねを引継ぎ、地域住民の居場所づくりにつなげることができるよう関係機関やボランティア、企業等とも連携を図り事業を展開していきます。

様々な生きづらさを抱え、地域から孤立している人々を適切な支援につなぐために、アウトリーチ機能は欠かすことができません。重層的支援体制整備事業におけるアウトリーチ等支援事業や生活困窮者自立支援事業等において、個別課題に寄り添った支援を進めていくと共に、各地域福祉事業の取組みを進める中でお互いに助け合いながら暮らしていける包括的な地域づくりを目指してまいります。

1. 地域福祉活動推進事業・・・・・・・・支出予算 71,854千円

（1）地域福祉（活動）計画の推進

■目標

- ①第4次地域福祉（活動）計画の推進に向けて、市関係部署と連携、協働し、進行管理を行います。
- ②第4次地域福祉（活動）計画の理念「誰もがつながりあい自分らしく暮らす志摩市」の実現に向け、3つの重点施策に取り組みます。

重点施策1：「地域づくり」のための環境整備

重点施策2：「包括的な相談体制」の構築

重点施策3：「包括的な支援体制」の構築

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 第4次地域福祉（活動）計画における全体的な調整と進捗状況の確認を行います。 (定例地域福祉推進会議への参加：月1回)	100%	①-1 地域福祉活動計画に関する会議へ出席しました。 ・定例地域福祉推進会議 【全体会議（月1回）】12回開催 3～4人出席 …各事業（重点施策）からの報告、その他事業や孤立（ひきこもり等）調査、福祉と教育の連携についての情報共有等 目的：第4次地域福祉（活動）計画推進の全体的な調整と進捗状況の確認 参加：志摩市地域福祉推進アドバイザー（三重大学 深井教授）、市（地域福祉課、介護・総合相談支援課、こども家庭

<p>①-2 地域福祉推進審議会の開催に合わせ、地域福祉の進捗状況を確認し、検討します。 (年2回程度)</p> <p>②-1 地域支援コーディネーター(2層)による地域活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域訪問(各町月20回以上) ・ふくし座談会の開催支援(年1回) ・事業所等の訪問(月1回以上) <p>※1-(2)生活支援体制整備事業参照</p> <p>②-2 ボランティアセンターの機能を強化します。</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>課、健康推進課、生活支援課、保険年金課)、本会地域支援課</p> <p>【コアメンバー会議(月1回程度)】10回開催3~5人出席 …次回全体会議の内容について、情報交換</p> <p>①-2 地域福祉推進審議会を11月14日(中間)と3月13日(期末)に開催し、地域福祉活動計画の重点施策を評価しました。本会の重点施策である、ふくし座談会の開催やボランティアセンター事業等の実績を含め、第4次地域福祉(活動)計画がよく進められていると評価していただきました。</p> <p>②-1 相談や調整による訪問、地域会議への参加、事業の実施、事業所への訪問を通して、住民と顔の見える関係づくりを進めました。また、ふくし座談会の開催に向けて、3層(地区)単位の自治会長等に対し、会議目的の説明・地域事情を共有し、会議の開催方法を調整しました。ふくし座談会は、地域の実情に合わせ、主に買い物や公共交通、地域アセスメントによる地域の実情や社会資源の共有をテーマとして開催を支援しました。なお、地域支援コーディネーターがまちづくりのための研修会へ参加しました。</p> <p>[詳細は下記1-(2)参照]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域訪問等の実施 <table border="1" data-bbox="824 805 2134 957"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問・来所</td> <td>378回</td> <td>331回</td> <td>438回</td> <td>594回</td> <td>675回</td> <td>2,416回</td> </tr> <tr> <td>会議・事業</td> <td>96回</td> <td>97回</td> <td>103回</td> <td>248回</td> <td>156回</td> <td>700回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくし座談会の開催支援 <table border="1" data-bbox="824 1005 2134 1157"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>17回</td> <td>7回</td> <td>20回</td> <td>56回</td> </tr> <tr> <td>支援</td> <td>93回</td> <td>97回</td> <td>100回</td> <td>114回</td> <td>212回</td> <td>616回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所等の訪問 <table border="1" data-bbox="824 1204 2134 1300"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問</td> <td>39回</td> <td>22回</td> <td>26回</td> <td>34回</td> <td>42回</td> <td>163回</td> </tr> </tbody> </table> <p>②-2 令和4年度から市より重層的支援体制整備事業(アウトリーチ支援事業と参加支援事業)を受託しています。ボランティアセンター担当職員を配置し、ボランティアセンターの機能強化を行っています。</p>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計	訪問・来所	378回	331回	438回	594回	675回	2,416回	会議・事業	96回	97回	103回	248回	156回	700回		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計	開催	6回	6回	17回	7回	20回	56回	支援	93回	97回	100回	114回	212回	616回		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計	訪問	39回	22回	26回	34回	42回	163回
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計																																																				
訪問・来所	378回	331回	438回	594回	675回	2,416回																																																				
会議・事業	96回	97回	103回	248回	156回	700回																																																				
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計																																																				
開催	6回	6回	17回	7回	20回	56回																																																				
支援	93回	97回	100回	114回	212回	616回																																																				
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計																																																				
訪問	39回	22回	26回	34回	42回	163回																																																				

<p>※1-(3) 重層的支援体制整備事業参照</p> <p>②-3 定例の相談支援調整会議へ参画します。</p> <p>※1-(3) 重層的支援体制整備事業参照</p>	<p>100%</p>	<p>〔詳細は下記 1-(3) 参照〕</p> <p>②-3 令和4年度から重層的支援体制整備事業の相談支援を推進する位置づけとなった相談支援調整会議へ参画しました。市の健康福祉部各相談担当者が集まり、多問題ケースについて支援方策や支援プランを検討しました。</p> <p>〔詳細は下記 1-(3)-②参照〕</p>
---	-------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 488 282 533"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 定例開催している地域福祉推進会議及び相談支援調整会議は、第4次地域福祉（活動）計画の進捗管理と多問題相談の検討等を進め、市健康福祉部と連携して取り組むことができました。また、地域福祉推進審議会においては取り組み状況を高く評価していただきました。 相談や調整による訪問、地域会議への参加、事業の実施、事業所への訪問を通して、住民や関係機関との顔の見える関係づくりを進めました。また、ふくし座談会の開催に向けて、3層（地区）単位の自治会長等と目的や地域事情を共有し、開催を支援しました。地区の事情により開催できない地区はありましたが、過去最も多く開催することができました。（43地区/50地区） ひきこもり支援事業の職員もアウトリーチ支援に関わることで、訪問による支援の充実を目指しています。ボランティアセンターの機能強化は3年目を迎え、現役世代の参加等の新たな課題を立てて取り組み、計画どおり事業を進めています。
評価	B		

(2) 生活支援体制整備事業（志摩市受託事業）

■目標

- ①地域住民と地域の強みと弱みに向き合いながら、自分たちで何ができるか、何に取り組んでいくのか、地域の将来について話し合いができるよう支援します。
- ②地域での取り組み（地域資源）が地域で有効に活用されるように整備します。
- ③地域アセスメントや地域組織化などの手法やコミュニティソーシャルワークによる地域ネットワークのしくみづくりを進めるための技術や知識を習得し、質の高い地域支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①-1 3層単位でふくし座談会の開催を支援し、地域力向上に向けた協議を進めます。</p> <p>（年1回、全地区の開催を支援）</p>	<p>100%</p>	<p>①-1 市内全50地区の自治会長や民生委員・児童委員等へ働きかけ、ふくし座談会の開催を支援しました。（延べ支援回数616回、開催地区43地区、延べ56回開催）〔上記 1-(1)-②参照〕</p>
<p>①-2 地域住民が地域づくりや日常生活の自立支援に主体的にかかわることができるよ</p>	<p>100%</p>	<p>①-2 地域支援コーディネーターは地域におけるニーズや社会資源の把握に努め、情報を活用できるようにアセスメントシートを作成しました。（市内50地区、年2回更新）ふくし座談会を開催した地区においてはアセスメントシートを活用し、参加者と共</p>

<p>う、地域住民と共同で地域アセスメントを実施します。</p> <p>② 地域資源を把握し、見える化（一覧・地図等）して、ホームページ等を通じて地域住民や関係機関、事業所が活用できるように整備します。</p> <p>③ 地域アセスメントやコーディネート機能を担うことができるように、技術や知識の習得に努めます。 (研修会への参加：1人3回程度)</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>	<p>同で地域アセスメントを実施しました。</p> <p>② 地域資源の情報収集に努め、移動販売情報を更新しました。</p> <p>③ 質の高い地域支援を行うことができるように、下記研修会へ参加しました。また、研修会等へ職員を講師として派遣しました。</p> <p>生活支援コーディネーター研修への参加</p> <table border="1" data-bbox="763 616 2121 863"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修名</th> <th>主催者（主体）</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月6日</td> <td>SCカフェ18「総合事業ガイドラインの一部改正について」内部研修</td> <td>国際長寿センター</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>2月10日</td> <td>これから変わる？これから変える？生活支援体制整備事業</td> <td>全国コミュニティライフサポーター</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>2月26日</td> <td>必見！総合事業の充実に向けた具体的な取組について</td> <td>三重県社協</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>三重県社協が主催する研修会</p> <table border="1" data-bbox="763 911 2121 1209"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修名</th> <th>主催者（主体）</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月30日</td> <td>市町社協新任職員研修会</td> <td>三重県社協</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>7月1日</td> <td>市町社協地域福祉担当者会議</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>7月23日</td> <td>キャリアパス研修 初任者コース（全2回）</td> <td>三重県社協</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>8月20日</td> <td>ボランティアコーディネーション研修（全2回）</td> <td>三重県社協</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>3月6日</td> <td>生活支援体制整備事業に関する情報連絡会</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域共生プロジェクトチーム研修会</p> <table border="1" data-bbox="763 1257 2121 1358"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修名</th> <th>主催者（主体）</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月15日～</td> <td>重層的支援体制整備事業等について・面接技術について（全2回）</td> <td>志摩市</td> <td>延べ7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域共生プロジェクトチーム勉強会</p> <table border="1" data-bbox="763 1406 2121 1455"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修名</th> <th>主催者（主体）</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	11月6日	SCカフェ18「総合事業ガイドラインの一部改正について」内部研修	国際長寿センター	4人	2月10日	これから変わる？これから変える？生活支援体制整備事業	全国コミュニティライフサポーター	3人	2月26日	必見！総合事業の充実に向けた具体的な取組について	三重県社協	2人	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	4月30日	市町社協新任職員研修会	三重県社協	2人	7月1日	市町社協地域福祉担当者会議	三重県社協	1人	7月23日	キャリアパス研修 初任者コース（全2回）	三重県社協	2人	8月20日	ボランティアコーディネーション研修（全2回）	三重県社協	2人	3月6日	生活支援体制整備事業に関する情報連絡会	三重県社協	1人	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	5月15日～	重層的支援体制整備事業等について・面接技術について（全2回）	志摩市	延べ7人	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者				
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																							
11月6日	SCカフェ18「総合事業ガイドラインの一部改正について」内部研修	国際長寿センター	4人																																																							
2月10日	これから変わる？これから変える？生活支援体制整備事業	全国コミュニティライフサポーター	3人																																																							
2月26日	必見！総合事業の充実に向けた具体的な取組について	三重県社協	2人																																																							
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																							
4月30日	市町社協新任職員研修会	三重県社協	2人																																																							
7月1日	市町社協地域福祉担当者会議	三重県社協	1人																																																							
7月23日	キャリアパス研修 初任者コース（全2回）	三重県社協	2人																																																							
8月20日	ボランティアコーディネーション研修（全2回）	三重県社協	2人																																																							
3月6日	生活支援体制整備事業に関する情報連絡会	三重県社協	1人																																																							
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																							
5月15日～	重層的支援体制整備事業等について・面接技術について（全2回）	志摩市	延べ7人																																																							
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																							

		7月17日～ 各種事業や制度について (全9回)	志摩市	延べ24人																																																								
各種機関が主催する研修会																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="763 231 920 280">開催日</th> <th data-bbox="920 231 1507 280">研修名</th> <th data-bbox="1507 231 1942 280">主催者 (主体)</th> <th data-bbox="1942 231 2121 280">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="763 280 920 330">5月22日</td> <td data-bbox="920 280 1507 330">第2回消費生活相談員等勉強会</td> <td data-bbox="1507 280 1942 330">三重県消費生活支援センター</td> <td data-bbox="1942 280 2121 330">1人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 330 920 379">6月5日</td> <td data-bbox="920 330 1507 379">ソーシャルワーク実習懇談会</td> <td data-bbox="1507 330 1942 379">皇學館大学</td> <td data-bbox="1942 330 2121 379">1人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 379 920 429">7月2日～</td> <td data-bbox="920 379 1507 429">まちづくり市民懇談会 (全5回)</td> <td data-bbox="1507 379 1942 429">志摩市</td> <td data-bbox="1942 379 2121 429">5人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 429 920 478">8月28日</td> <td data-bbox="920 429 1507 478">こころの健康づくり講演会</td> <td data-bbox="1507 429 1942 478">志摩市</td> <td data-bbox="1942 429 2121 478">1人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 478 920 528">9月9日</td> <td data-bbox="920 478 1507 528">障がい福祉研修会</td> <td data-bbox="1507 478 1942 528">本会</td> <td data-bbox="1942 478 2121 528">3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 528 920 577">9月12日</td> <td data-bbox="920 528 1507 577">認知症体験講座</td> <td data-bbox="1507 528 1942 577">志摩市</td> <td data-bbox="1942 528 2121 577">3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 577 920 627">9月26日</td> <td data-bbox="920 577 1507 627">合同会社たまきあい過ごし場「協 (かなう)」視察</td> <td data-bbox="1507 577 1942 627">本会</td> <td data-bbox="1942 577 2121 627">1人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 627 920 676">10月22日</td> <td data-bbox="920 627 1507 676">大王小タウンウォッチング</td> <td data-bbox="1507 627 1942 676">大王小学校</td> <td data-bbox="1942 627 2121 676">2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 676 920 751">12月9日</td> <td data-bbox="920 676 1507 751">福祉避難所を学ぼう！能登半島地震から学ぶ福祉避難所体験</td> <td data-bbox="1507 676 1942 751">志摩市</td> <td data-bbox="1942 676 2121 751">1人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 751 920 801">12月17日</td> <td data-bbox="920 751 1507 801">感染症職員訓練研修会</td> <td data-bbox="1507 751 1942 801">本会</td> <td data-bbox="1942 751 2121 801">3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 801 920 876">1月28日</td> <td data-bbox="920 801 1507 876">自分と大切な人のためのライフプラン講座～終活・成年後見制度について～</td> <td data-bbox="1507 801 1942 876">志摩市</td> <td data-bbox="1942 801 2121 876">3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 876 920 925">2月14日</td> <td data-bbox="920 876 1507 925">虐待防止研修会</td> <td data-bbox="1507 876 1942 925">本会</td> <td data-bbox="1942 876 2121 925">4人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 925 920 970">3月7日</td> <td data-bbox="920 925 1507 970">成年後見制度勉強会</td> <td data-bbox="1507 925 1942 970">本会</td> <td data-bbox="1942 925 2121 970">4人</td> </tr> </tbody> </table>					開催日	研修名	主催者 (主体)	参加者	5月22日	第2回消費生活相談員等勉強会	三重県消費生活支援センター	1人	6月5日	ソーシャルワーク実習懇談会	皇學館大学	1人	7月2日～	まちづくり市民懇談会 (全5回)	志摩市	5人	8月28日	こころの健康づくり講演会	志摩市	1人	9月9日	障がい福祉研修会	本会	3人	9月12日	認知症体験講座	志摩市	3人	9月26日	合同会社たまきあい過ごし場「協 (かなう)」視察	本会	1人	10月22日	大王小タウンウォッチング	大王小学校	2人	12月9日	福祉避難所を学ぼう！能登半島地震から学ぶ福祉避難所体験	志摩市	1人	12月17日	感染症職員訓練研修会	本会	3人	1月28日	自分と大切な人のためのライフプラン講座～終活・成年後見制度について～	志摩市	3人	2月14日	虐待防止研修会	本会	4人	3月7日	成年後見制度勉強会	本会	4人
開催日	研修名	主催者 (主体)	参加者																																																									
5月22日	第2回消費生活相談員等勉強会	三重県消費生活支援センター	1人																																																									
6月5日	ソーシャルワーク実習懇談会	皇學館大学	1人																																																									
7月2日～	まちづくり市民懇談会 (全5回)	志摩市	5人																																																									
8月28日	こころの健康づくり講演会	志摩市	1人																																																									
9月9日	障がい福祉研修会	本会	3人																																																									
9月12日	認知症体験講座	志摩市	3人																																																									
9月26日	合同会社たまきあい過ごし場「協 (かなう)」視察	本会	1人																																																									
10月22日	大王小タウンウォッチング	大王小学校	2人																																																									
12月9日	福祉避難所を学ぼう！能登半島地震から学ぶ福祉避難所体験	志摩市	1人																																																									
12月17日	感染症職員訓練研修会	本会	3人																																																									
1月28日	自分と大切な人のためのライフプラン講座～終活・成年後見制度について～	志摩市	3人																																																									
2月14日	虐待防止研修会	本会	4人																																																									
3月7日	成年後見制度勉強会	本会	4人																																																									
講師派遣																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="763 1019 920 1069">開催日</th> <th data-bbox="920 1019 1507 1069">研修名</th> <th data-bbox="1507 1019 1942 1069">主催者 (主体)</th> <th data-bbox="1942 1019 2121 1069">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="763 1069 920 1118">7月29日</td> <td data-bbox="920 1069 1507 1118">地域福祉概論について</td> <td data-bbox="1507 1069 1942 1118">志摩市自立支援協議会</td> <td data-bbox="1942 1069 2121 1118">2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 1118 920 1168">9月11日</td> <td data-bbox="920 1118 1507 1168">志摩学フィールドワーク</td> <td data-bbox="1507 1118 1942 1168">志摩高校</td> <td data-bbox="1942 1118 2121 1168">2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 1168 920 1220">1月31日</td> <td data-bbox="920 1168 1507 1220">磯部中学校未来教室</td> <td data-bbox="1507 1168 1942 1220">志摩市</td> <td data-bbox="1942 1168 2121 1220">1人</td> </tr> </tbody> </table>					開催日	研修名	主催者 (主体)	参加者	7月29日	地域福祉概論について	志摩市自立支援協議会	2人	9月11日	志摩学フィールドワーク	志摩高校	2人	1月31日	磯部中学校未来教室	志摩市	1人																																								
開催日	研修名	主催者 (主体)	参加者																																																									
7月29日	地域福祉概論について	志摩市自立支援協議会	2人																																																									
9月11日	志摩学フィールドワーク	志摩高校	2人																																																									
1月31日	磯部中学校未来教室	志摩市	1人																																																									

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="91 1326 203 1375">評価</td> <td data-bbox="203 1326 282 1375">B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・3層（地区）単位の自治会長等に対し、ふくし座談会の開催の目的や地域の事情を共有し、ふくし座談会の開催を支援しました。（43地区/50地区） ・地区の事情により未開催の地区もありましたが、コーディネーターが自治会長から地域の状況を聞き取るなど、把握に努めました。 ・ふくし座談会の開催を通じて、住民とともに地域の活動や社会資源、強みや弱みを共有しました。一部の地区においては、集いの場の運営や見守りなど地域の福祉課題
評価	B		

の解決に向けた新たな活動が始まっており、その活動を支援しました。
 ・質の高い地域支援を行うことができるように技術や知識の習得のため、各種研修会へ参加しました。

(3) 重層的支援体制整備事業（志摩市受託事業）

1) アウトリーチ支援事業

■目標

- ①多機関協働事業（相談支援調整会議）、地域支援コーディネーター、自立相談支援機関（ふんばり）等と連携し、支援に向けた環境の整備に取り組みます。
- ②自ら支援を求めることのできない、または支援につながることに拒否的な方に対して、継続的なアウトリーチ（訪問活動）を実施します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況								
① 市が開催する相談支援調整会議（週1回）へ連携します。（当会議の構成機関や他関係機関と本会事業との連携を高めます。）	100%	① 下記のとおり各種会議へ出席し、連携を図りました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 相談支援調整会議は、市健康福祉部6課に各1人配置された相談支援コーディネーターと参加支援事業担当者で構成され、市の総合相談窓口で受け付けた相談や多問題世帯等をアセスメントし、支援方針を検討します。また、アセスメント力向上のため、市の相談支援アドバイザーから月1回程度のアセスメント指導（事例検討）を受けています。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援調整会議へ出席し、多問題相談等の課題や支援方針を検討しました。（全49回出席、検討件数延べ120件） ・本会の事業がかかわる多問題相談については、相談支援調整会議へつなげました。 ・市健康福祉部が取り組む「地域共生プロジェクトチーム」が開催する研修会及び勉強会の企画と運営に協力し、職員の参加を調整しました。（研修会2回、勉強会9回） ・相談支援調整会議のコアメンバー会議へ出席しました。（計3回） 								
② アウトリーチプランを作成します。	100%	② 下記のとおりアウトリーチプランを作成しました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> アウトリーチプランの対象者は、複数の分野にまたがる複合的な課題を抱えているために、自ら支援を求めることのできない人や支援につながることに拒否的な人です。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・相談受付件数：10件、プラン作成件数：4件 ・本人や家族等に対して関係機関と連携して、訪問等を通して支援を行いました。（訪問回数62回） ・資質向上のため関係する研修会等へ参加しました。（参加支援事業担当者・ひきこもり支援事業担当者を含む） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">開催日</th> <th style="width: 45%;">研修名</th> <th style="width: 15%;">主催者（主体）</th> <th style="width: 15%;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者				
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者							

	5月15日	地域共生プロジェクトチーム研修会	志摩市	延べ8人
	6月19日	(重層的支援体制整備事業について、面接技術について)		
	7月17日～4回	地域共生プロジェクトチーム勉強会(各種事業や制度について)	志摩市	延べ5人
	7月9日	三重県災害ボランティア担当者研修会	三重県	1人
	9月26日	合同会社たまきあい「協(かなう)」視察	本会	2人
	10月24日	地域の医療と介護に関わる研修会	志摩市	1名
	12月1日	鳥羽市ひきこもりサポーター養成講座	鳥羽市社協	1名
	12月3日	第2回社協職員オンラインサロン(参加支援事業について)	全社協	1名
	1月17日	重層的支援体制整備事業 実施市町による意見交換会	三重県社協	1名
	1月23日～2回	災害ボランティアセンター研修会	三重県社協	延べ2名
	1月28日	ライフプラン講座	志摩市	1名
	2月7日	災害ボランティアセンター研修会(プロボノについて)	本会	2名
	2月18日	ボランティアコーディネーション研修	三重県社協	2名
	2月20日	災害時の「連携」を考えるシンポジウム	三重県社協	1名
	2月21日	(災害ボランティアセンター) 三重県版 kintone 体験会	三重県社協	2名
3月3日	重層的支援体制整備事業 実施市町による意見交換会【協力】	三重県社協	1名	

2) 参加支援事業 [2-(1)、2-(2) 共同募金配分金事業との連携]

■目標

- ①多機関協働事業、アウトリーチ支援事業、生活支援体制整備事業との連携体制を構築します。
- ②孤立・孤独等の課題に対し、地域の社会資源を活用して社会とのつながり作りに向けた支援を行います。
- ③参加支援の充実と市民のボランティア参画を推進するため、ボランティアセンター機能を強化して、ボランティアの支援と社会資源の拡大を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 市が開催する相談支援調整会議(週1回)へ参加します。(参加支援やボランティアコーディネートの必要性等に応じて出席)	100%	①-1 アウトリーチ支援事業担当者が、相談支援調整会議へ主となって参加し、当該事業担当者と協力して参加支援及びボランティアコーディネートを行っています。

①-2 地域支援コーディネーターと連携会議を実施します。(月1回)	100%	①-2 地域支援コーディネーターと定例会議を開催し、地域情報や各事業の進捗状況の共有や事業等による連携内容の検討を行いました。(計12回)
①-3 相談支援調整会議と地域支援コーディネーターの定例連携会議へ参加します。(月1回)	100%	①-3 地域支援情報やボランティア関係の情報、市の事業について情報交換を行いました。また地域共生プロジェクトチーム勉強会の振り返りを行いました。(計12回)
②-1 参加支援プランを作成します。	100%	②-1 下記のとおり参加支援プランを作成しました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 参加支援プランの対象者は、相談業務や相談支援調整会議等において、既存の制度では支援が困難であると判断された人です。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・相談受付件数：3件、プラン作成件数：3件
②-2 社会資源の把握と連携、開拓を行います。	100%	②-2 ひきこもり等の居場所づくりとして、下記の居場所を開催しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム会「oinai!」(計11回) ・志摩市の居場所オンライン(常設、月1回トーク計11回)
③ ボランティア活動やサロン活動など、地域住民の主体的な地域活動を支援します。 ※2-(1) ボランティアセンター事業参照	100%	③ 下記の事業等に取り組みました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスクール ・トライアル制度(ボランティアチャレンジ) ・ボランティア、団体情報の発信(社協公式フェイスブック、公式LINE、Instagram等SNSの活用) ・ボランティア交流会 [下記2-(2)参照]

■評価

目標の達成度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 評価 A </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議への出席や、事業の情報共有と協力依頼を行うことで、関係機関との関係構築が進み、事業や相談においてスムーズに連携を取ることができています。 ・プラン作成が思うように進んでいませんでしたが、下半期は相談支援調整会議が作成する多機関協働プラン(主)とともに、アウトリーチプラン・参加支援プラン(従)の作成を進めました。 ・主にひきこもりの方向けに令和5年度から検討を続けていた居場所について、令和6年度からゲーム会oinai!(おいない!)を始めました。ゲームというツールを活用することで、対人関係が苦手な方でも安心して参加できるような場となるように心がけて運営しています。また、人と対面することが苦手な方向けに、コミュニケーションアプリを活用したオンラインの居場所を整備しました。居場所の管理は、ボランティアグループへ委託しています。
---	--

・ボランティアなどの参加機会の拡大のため、ボランティアセンターの事業を充実させています。令和5年度よりも広く周知し、若者へ情報を届けるためさらに SNS を活用すると共に、志摩地域みっちゃく生活情報誌「さみっとくらぶ」へ事業を掲載しました。

(4) ひきこもり支援事業（志摩市受託事業）

■目標

- ①対象者の抱える様々な背景や事情に応じて、多様な支援の選択肢を用意できるよう、相談支援調整会議を活用する等、ネットワークづくりを進めます。
- ②当事者同士、家族同士が集まって経験や悩みを共有し合い、不安な気持ちを解消できる場を整備します。また、対象者に向けた講習会等を開催し、対象者への支援や情報発信を行います。
- ③地域において、ひきこもりに関する理解が深まるよう、住民向けの講演会・研修会を開催します。また、ひきこもりに関する支援情報や地域の社会資源などの周知・広報を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況														
① 次の機関等との情報共有や課題検討等を通じてネットワークづくりを進めます。 ・相談支援調整会議（週1回） ・地域福祉推進会議（月1回） ・教育委員会 ・民生委員児童委員協議会 ・障がい者相談支援センターこだま	100%	① 下記のとおりネットワークづくり等を進めました。 ・相談支援調整会議へ参加し、多問題相談等の課題や支援方針を検討しました。（49回中46回出席、検討件数延べ115件） ・地域福祉推進会議へはアウトリーチ支援事業・参加支援事業担当者が出席することで、当該事業の取り組み状況を報告しました。〔上記1-(1)-①参照〕 ・「教育と福祉のネットワーク会議」を開催し、教育分野とのネットワーク構築を進めました。（1回） ・民生委員・児童委員へ当該事業の啓発を行いました。障がい者相談支援センターこだまとは、相談支援調整会議のケース検討やひきこもり家族会を通じて連携を図っています。														
②-1 家族会を開催します。（年1回）	100%	②-1 ひきこもり家族会ねむの木を5月から始めました。家族の希望により月1回開催しています。（計11回、参加延べ60人） ・内容 奇数月：交流会、偶数月：交流会とミニ勉強会（障がい年金、終活準備ノート、こころの健康センター）														
②-2 家族教室を開催します。（年1回）	100%	②-2 全3回（10月10日、12月19日、1月16日）開催しました。 ・講師：NPO法人 楽の会リーラ（ひきこもり家族会） 上田 理香 氏														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>時間</th> <th>内容</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月10日</td> <td>13:30～16:30</td> <td>第1回「なぜひきこもっているのか」</td> <td rowspan="2">サンライフあご</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>12月19日</td> <td>10:00～12:00</td> <td>第2回「子どもとの関わり方・子どもの思いに寄り添うには」</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	時間	内容	会場	参加者	10月10日	13:30～16:30	第1回「なぜひきこもっているのか」	サンライフあご	6人	12月19日	10:00～12:00	第2回「子どもとの関わり方・子どもの思いに寄り添うには」	4人
開催日	時間	内容	会場	参加者												
10月10日	13:30～16:30	第1回「なぜひきこもっているのか」	サンライフあご	6人												
12月19日	10:00～12:00	第2回「子どもとの関わり方・子どもの思いに寄り添うには」		4人												

		1月16日	10:00~12:00	第3回「親の安心と生き方が子どもを変える」		6人
②-3 居場所づくりの設置を進めます。	100%	②-3 当該委託事業には居場所づくりは含まれていませんが、アウトリーチ支援事業と参加支援事業と協力して、ゲーム会 oinai!と志摩市の居場所オンラインに取り組みました。				
③-1 講演会を開催します。(年1回)	100%	③-1 9月12日に、ひきこもり講演会を開催しました。(参加24人) <ul style="list-style-type: none"> ・講師とゲストの調整を、特定非営利活動法人KHJ 全国ひきこもり家族会連合会三重支部みえオレンジの会へ依頼しました。 ・ピアサポーター(家族・当事者)による講演、ピアサポーターとゲスト(ひきこもり経験者)によるパネルディスカッション、ピアサポーターとゲストがそれぞれのグループに入り参加者とディスカッションを行いました。 ・閉会后には、ひきこもり相談会を実施しました。(市と本会職員で対応)(2人利用) 				
③-2 本会与志摩市の広報誌やホームページ・SNS等を通じて情報を発信します。	100%	③-2 上記の行事開催前に、情報発信を行いました。				

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4、5年度は、共同募金配分金事業で実施してきましたが、令和6年度から市の委託事業となりました。市と協力をしながら進めています。 ・多機関協働の場である相談支援調整会議へひきこもりに関係する相談が寄せられるため、この会議でネットワーク構築を進めています。また、教育と福祉のネットワーク会議を開催して、ひきこもりにつながる可能性のある不登校児童・生徒が義務教育後に福祉へつながるよう連携を確認しました。引き続き、協力体制を築いていきます。 ・講演会は令和5年度までの著名な方の講演から、当事者(家族やひきこもり経験者)を講師・ゲストに招いた内容に変更して開催しました。当事者の思いや暮らしを生の声で聞くことができる貴重な機会となりました。 ・家族会は過年度から引き続いて4~6人が参加していましたが、新規参加者も増え、現在は8~9名の参加があります。親族からの勧めに加え、回覧板や本会のホームページを見て参加した新規参加者もあり、啓発の効果が表れています。
評価	

(5) 地域生活拠点づくり事業(志摩市受託事業)

■目標

- ①間崎地区生活拠点支援事業・・・間崎地区のいきいきセンターを拠点に、住み慣れた地域で暮らし続けていくために、地域生活拠点(もやい)の仕組みを検証し、住民が主体的に生活課題を解決できるようにコーディネートします。
- ②地域拠点づくり事業(阿児町神明地区)・・・神明地区の菜の花館を拠点に、地域住民の孤独・孤立を防ぐために、地域コミュニティを形成する居場所づくりを検証します。また、多様

な担い手がつながるプラットフォームの構築を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①-1 地域の受援力(役割)を向上させるとともに、地区内外の支援や資源を発掘してつなぎます。(住民有志とイオン阿児店が協働したショップ運営のコーディネート、地域支援員等の人材発掘等)</p>	<p>100%</p>	<p>①-1 間崎地区内外の資源の発掘に取り組みました。</p> <p>(1)地域支援員(住民有志)の人材発掘について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点もやいの運営協議会にて人選した人材に地域生活拠点もやいの運営に協力を求めましたが、協力は得られませんでした。 ・高齢化などにより規模が縮小した地域生活拠点もやいの運営状況から、地域支援員が積極的に人材の発掘を進めることは期待しにくい状態です。協働の仕組みに大きな見直しが必要な時期に来ています。 <p>(2)NHKが制作する番組への協力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間崎島の生活を題材としたNHKが制作する番組において地域生活拠点もやいへの取材があり、NHK、イオン阿児店、地域支援員の連絡を調整しました。
<p>①-2 持続可能な地域生活拠点もやいの仕組みづくりと運営を支援します。(もやい運営協議会の開催支援と、もやいいきいきショップの営業支援等)</p>	<p>100%</p>	<p>①-2 地域生活拠点もやいを次のとおり支援しました。</p> <p>(1)もやいいきいきショップの運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点もやいとイオン阿児店が協働したショップ営業で食品や日用品を販売しています。 ・営業日：祝日を除く金曜日の午前、営業日数：50日 月平均4.2日、来店者数：延べ704人 月平均58.7人 ・地域支援員の減少により、令和5年1月から営業日は週3日から1日となりました。ショップ営業が持続していけるように地域支援員のほか自治会や民生委員・児童委員等と検討していきます。 <p>[主な支援内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝金や燃料費など運営経費の補助 ・営業日の職員派遣 ・商品の発注作業や実績の集計 ・5周年記念行事の開催支援 ・台風時の日程調整 など <p>(2)買い物ツアーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物を希望する住民を本会所有のマイクロバスで賢島定期船乗り場からイオン阿児店まで送迎し、購入物品の運搬を手伝いました。 ・開催頻度：偶数月1回、開催回数：6回 利用者数：延べ28人(1回平均4.7人) <p>(3)もやい運営協議会の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点もやいについて地域支援員の想いを共有し、今後の運営を協議するために開催を支援しました。 ・地域のマンパワー低下もあり地域支援員の確保が難しく、ショップ運営の負担も増加していますが、地域支援員の地域生活支援拠点もやいを必要とする想いを確認することができました。

<p>②-1 居場所や生きがいづくり活動を支援します。 (地域住民と拠点活用の検討、既存の一般開放の継続支援等)</p>	100%	<p>②-1 神明地区の菜の花館を地域の拠点とした活用方法について検討する機会として、ふくし座談会の開催を支援しました。地域コアメンバー（自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、ボランティア）と協議した結果、拠点における集いの場づくり活動として「くつろぎ場」「絵手紙」が新たに始まりました。</p> <p>また、並行してボランティアに対し、菜の花館を活動拠点として開放することで活動を支援し、地域住民の居場所づくりを進めました。</p> <p>・菜の花館の活動 内容および利用回数・利用者数</p> <table border="1" data-bbox="846 391 2128 805"> <thead> <tr> <th>事業等</th> <th>開催頻度</th> <th>利用回数（単位：回）</th> <th>利用者数（単位：人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラオケ喫茶</td> <td>毎週火・木曜日</td> <td>96</td> <td>883</td> </tr> <tr> <td>とまと（ボランティア型デイサービス）</td> <td>毎週火曜日</td> <td>48</td> <td>394</td> </tr> <tr> <td>絵手紙</td> <td>第1・3金曜日</td> <td>15</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>くつろぎ場</td> <td>毎週月・木曜日</td> <td>69</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>認知症カフェ（市主催）</td> <td>奇数月の第1月曜日</td> <td>6</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>ふくし座談会</td> <td>随時</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>菜の花館キッズスペース</td> <td>不定期</td> <td>5</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table>	事業等	開催頻度	利用回数（単位：回）	利用者数（単位：人）	カラオケ喫茶	毎週火・木曜日	96	883	とまと（ボランティア型デイサービス）	毎週火曜日	48	394	絵手紙	第1・3金曜日	15	101	くつろぎ場	毎週月・木曜日	69	324	認知症カフェ（市主催）	奇数月の第1月曜日	6	106	ふくし座談会	随時	1	10	菜の花館キッズスペース	不定期	5	165
事業等	開催頻度	利用回数（単位：回）	利用者数（単位：人）																															
カラオケ喫茶	毎週火・木曜日	96	883																															
とまと（ボランティア型デイサービス）	毎週火曜日	48	394																															
絵手紙	第1・3金曜日	15	101																															
くつろぎ場	毎週月・木曜日	69	324																															
認知症カフェ（市主催）	奇数月の第1月曜日	6	106																															
ふくし座談会	随時	1	10																															
菜の花館キッズスペース	不定期	5	165																															
<p>②-2 買い物課題に対する取り組みを支援します。 (拠点活用者と事業者等との連携支援等)</p>	100%	<p>②-2 拠点を利用する高齢者や民生委員・児童委員より買い物先や移動方法について情報収集し、神明地区における買い物課題の把握に努めるとともに、令和6年度に阿児町で実証運行が行われたデマンド交通「のりあい」の利用促進を図りました。（菜の花館だよりへの記事の掲載、活動者や利用者への周知など）</p>																																
<p>②-3 多様な活動団体の活動拠点として整備し、必要な支援を行います。（子育て支援ボランティアやボランティア型デイサービス等拠点としての整備等）</p>	100%	<p>②-3 多様な世代の居場所とするため、未就学児とその家族の集いの場「菜の花館キッズスペース」や、神明小学校児童と地域の高齢者による交流等の開催を支援しました。</p>																																
<p>②-4 拠点運営や事業実施についてコーディネートします。（拠点運営協議会の設置・運営や活動者と地域資源のコーディネート等）</p>	100%	<p>②-4 6月から毎月「菜の花館だより」を発行し、住民主体の活動を周知しました。</p> <p>「認知症カフェ×絵手紙ボランティア」や「くつろぎ場×かご作りボランティア」など各取り組みとボランティアをつなげる支援をしました。</p>																																

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・【志摩町間崎地区】もやい運営協議会にて、地域支援員の地域生活拠点もやいに対する想いを把握することができました。地域支援員の減少や高齢化が進む中「もやいは必要である」という想いをもって生活拠点の運営を維持しています。地域生活拠点もやいの仕組みを検証し、住民が主体的に生活課題を解決できるよう、今後も地域支援員と関係者がともに地域生活拠点もやいの持続について協議していきます。 ・【阿児町神明地区】地域コアメンバー（民生委員・児童委員、福祉委員など）とボランティアが中心となり、集いの場の運営を通じた地域住民の居場所づくりを進めています。利用者も一定数あることから、順調に運営ができていると評価しています。また、子どもの居場所づくりにも着手しました。拠点においてキッズスペース（子どもと保護者の集いの場）を開催し、子どもの居場所に関するニーズを把握するとともに、関心がある地域住民とのつながりを作ることができました。今後も住民主体の活動を継続・発展させるため、活動意欲がある参加者や他団体と連携する機会を働きかけていきます。
----------------	--

(6) 救急医療情報キット配付事業（志摩市受託事業）

■目標

①高齢者等の急な傷病など万が一に備えるため、救急医療情報キットを必要とする独居高齢者や高齢者世帯等へ配付します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 自治会や民生委員・児童委員等と協議し、対象者へ救急医療情報キットを配付します。 ・配付時期：令和6年7月から ・対象：70歳以上のみ高齢者世帯等 ・配付数：令和6年度新規対象者約600世帯	100%	①-1 令和6年度の新規対象者へ7月から救急医療情報キットの配付を開始しました。（対象者数：614人、423世帯） ・自治会や民生委員・児童委員等と配付時期や配付方法について検討しました。地域の実情に応じて自治会や民生委員・児童委員等で役割を分担して配付と周知（下記①-2）を進めています。 ・対象者以外から自治会や民生委員・児童委員等を通じて配付の希望が寄せられます。地域支援コーディネーターや民生委員・児童委員等でキットを配付しました。
①-2 医療情報等の更新を促します。（年1回）	100%	①-2 過年度配付したキット情報（あんしんカード）については、最新の情報として有事の際に役立つように、社協だよりや広報しま、ホームページを活用し情報の更新について啓発しました。また、自治会の協力を得て、啓発チラシを回覧・全戸配布しました。

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も自治会や民生委員・児童委員等の協力を得て、救急医療情報キットの配付と周知を進めました。
----------------	--

(7) その他の取り組み

1) 成年後見制度の利用支援

■目標

①認知症、知的・精神障がいなどにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
<p>①-1 支援に要する財源の確保に努め、後見業務を担当する職員数（配置）に見合った支援を継続していきます。</p>	100%	<p>①-1 利用状況は、下記のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="869 475 1977 722"> <thead> <tr> <th></th> <th>後見</th> <th>保佐</th> <th>補助</th> <th>任意後見</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初受任者数</td> <td>7人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>新規受任者数</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>後見終了者数</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>7人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域支援課生活支援係に法人後見事務の担当者を置き、生活支援係及び訪問介護事業所の職員にて成年後見制度の利用を支援しています。</p>		後見	保佐	補助	任意後見	合計	年度当初受任者数	7人	2人	0人	0人	9人	新規受任者数	0人	0人	0人	0人	0人	後見終了者数	0人	0人	0人	0人	0人	利用者数合計	7人	2人	0人	0人	9人
	後見	保佐	補助	任意後見	合計																											
年度当初受任者数	7人	2人	0人	0人	9人																											
新規受任者数	0人	0人	0人	0人	0人																											
後見終了者数	0人	0人	0人	0人	0人																											
利用者数合計	7人	2人	0人	0人	9人																											
<p>①-2 「志摩市成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、相談支援、周知啓発など、関係機関との連携を図ります。</p>	100%	<p>①-2 権利擁護に関する会議等に出席しました。</p> <p>・令和6年度三重県権利擁護支援研修・調整企画会議：6月4日(1人参加) ・2月12日(1人参加)</p>																														
<p>①-3 成年後見専門委員会へ参加します。 (年2回程度)</p>	100%	<p>①-3 成年後見専門委員会へ出席しました。</p> <p>・市が設置している権利擁護専門委員会：8月1日(1人参加) ・10月18日(1人参加) ・2月28日(1人参加)</p> <p>【その他】</p> <p>(1) 勉強会の開催</p> <p>・本会法人後見担当者及び市地域包括支援センター職員を対象に、勉強会を開催しました。</p> <p>3月7日(金) 「法人後見ケースから利用者の意思決定について考える」</p> <p>講師 有限会社 With A Will 市川 知律氏</p> <p>参加者 14人</p>																														

		(2) 研修会への参加			
		開催日	研修名	主催者	参加者
		8月6日	令和6年度成年後見制度利用促進市町支援事業 スキルアップ研修	三重県社協	2人
		12月24日	令和6年度第2回成年後見制度資質向上研修会	三重県社協	1人
		1月17日	令和6年度モデル事業実施自治体等第3回連絡会	(株)日本総合研究所	1人
3月11日	令和6年度第3回成年後見制度資質向上研修会	三重県社協	1人		

■評価

目標の達成度 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価</td> <td style="width: 50%;">B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 法人後見受任件数は9件です。地域支援課生活支援係と訪問介護事業所の職員が兼務で担当し、月1~2回の定期的な訪問等により被後見人等の身上保護と財産管理を行っています。 定期的に担当者間で協議するための会議を開催し、担当者が課題を抱え込まない体制づくりに取り組んでいます。法人後見事務のマニュアルの作成については、引き続き次年度の課題とし、先進地域を参考に組みたいと思います。 市設置の権利擁護専門委員会へ本会から委員として1人が出席しており、志摩市における成年後見制度の取り組みについて本会の意見を伝えています。
評価	B		

2) 福祉人材の育成支援

■目標

①次世代を担う介護・福祉の人材を育成するため、高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況															
① 社会福祉士を取得するための相談援助実習の希望者を受け入れます。(2人以内)	100%	① 福祉・介護人材の育成支援の取り組みは下記のとおりです。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="width: 15%;">人数</th> <th style="width: 70%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ソーシャルワーク実習</td> <td>1人</td> <td>社会福祉士受験資格取得に係る実習(計240時間以上)</td> </tr> <tr> <td>介護等体験実習</td> <td>0人</td> <td>小中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1人</td> <td>三重県福祉人材センター職場体験事業</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		人数	備考	ソーシャルワーク実習	1人	社会福祉士受験資格取得に係る実習(計240時間以上)	介護等体験実習	0人	小中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間)	その他	1人	三重県福祉人材センター職場体験事業	合計	2人	
	人数	備考															
ソーシャルワーク実習	1人	社会福祉士受験資格取得に係る実習(計240時間以上)															
介護等体験実習	0人	小中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間)															
その他	1人	三重県福祉人材センター職場体験事業															
合計	2人																

■評価

目標の達成度	・8～9月に皇學館大学からソーシャルワーク実習（後期180時間）の実習生を受け入れました。 ・三重県福祉人材センター（職場体験事業）から浜島通所介護事業所にて1名を受け入れました。（担当：在宅サービス課）
評価	B

3) 福祉関係団体の支援

■目標

①地区民生委員児童委員協議会との連携強化を図り、小地域での福祉活動を推進します。

②当事者団体の自主運営のための側面支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
① 地区民生委員児童委員協議会の事務局を担当します。（5地区） ・各地区定例会、専門部会の事務調整（定例会 各地区年6回、専門部会 随時） ・研修会の企画、開催支援 ・相談連携（同行訪問等 随時）	100%	① 地区民生委員児童委員協議会の活動状況などは下記のとおりです。 <table border="1" data-bbox="806 635 1926 922"> <thead> <tr> <th>協議会名</th> <th>定数</th> <th>委員数</th> <th>定例会</th> <th>役員会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島地区民生委員児童委員協議会</td> <td>18人</td> <td>15人</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>大王地区民生委員児童委員協議会</td> <td>20人</td> <td>12人</td> <td>6回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>志摩地区民生委員児童委員協議会</td> <td>31人</td> <td>26人</td> <td>6回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>阿児地区民生委員児童委員協議会</td> <td>49人</td> <td>44人</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>磯部地区民生委員児童委員協議会</td> <td>23人</td> <td>22人</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table> ・民生委員・児童委員からの相談、問い合わせ等：各地区1月平均27件	協議会名	定数	委員数	定例会	役員会	浜島地区民生委員児童委員協議会	18人	15人	6回	6回	大王地区民生委員児童委員協議会	20人	12人	6回	4回	志摩地区民生委員児童委員協議会	31人	26人	6回	12回	阿児地区民生委員児童委員協議会	49人	44人	6回	6回	磯部地区民生委員児童委員協議会	23人	22人	6回	6回
協議会名	定数	委員数	定例会	役員会																												
浜島地区民生委員児童委員協議会	18人	15人	6回	6回																												
大王地区民生委員児童委員協議会	20人	12人	6回	4回																												
志摩地区民生委員児童委員協議会	31人	26人	6回	12回																												
阿児地区民生委員児童委員協議会	49人	44人	6回	6回																												
磯部地区民生委員児童委員協議会	23人	22人	6回	6回																												
②-1 志摩市老人クラブ連合会の自主運営を支援します。 ・役員会等への出席（年6回程度） ・行事等への協力参加（年2回）	100%	②-1 志摩市老人クラブ連合会の会議に出席しました。 ・会長会議 4月23日、7月30日 ・役員会 5月21日、9月3日、10月11日、12月20日、2月4日 ・スポーツ交流大会 11月8日 ・役員研修会 2月21日																														
②-2 志摩市障がい者福祉会の自主運営を支援します。 ・理事会等への出席（年6回程度）	100%	②-2 志摩市障がい者福祉会（連合会）の自主運営を支援しました。 ・令和3年度から活動を休止していましたが、磯部町福祉共生会と志摩市視覚障がい者福祉会の2団体を構成団体として令和6年度より活動が再開しました。その後、びあず志摩の加盟もあり、現在3団体で活動しています。																														

<ul style="list-style-type: none"> ・行事等への協力参加（年2回） <p>②-3 志摩市視覚障がい者福祉会の自主運営を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会への出席（年1回） 	<p>100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の会議へ出席しました。 総会（5月9日）、臨時総会（7月25日）、役員会（10月17日、1月23日、3月27日） <p>②-3 志摩市視覚障がい者福祉会の自主運営を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会（4月18日）
--	-------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民生委員児童委員協議会の事務局を担当し、民生委員・児童委員活動を通じて小地域福祉活動を推進しました。志摩市民生委員児童委員協議会連合会の事務局である市地域福祉課と連携を図りながら、民生委員・児童委員活動を支援しています。地区民生委員児童委員協議会の事務局として事務の効率化を図っていきます。 ・老人クラブなどの当事者団体は、地域福祉活動を推進する団体でもあることから、当事者団体の自主運営を側面支援しました。
---------------------------	--

4) 災害時要援護者支援

■目標

①市とともに地域連携を図り、災害弱者支援を進めながら、地域の日常的な支え合いの環境づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>① 地域共生社会の実現に向け、市と連携して避難行動要支援者制度に取り組みます。 (災害時等において支援を希望する対象者の情報を自治会等と共有し、日頃の見守りや災害時の避難支援等に役立てていくための地域づくりを推進します。)</p>	<p>100%</p>	<p>① 災害時要援護者支援について次のとおり取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に引き続き、制度の周知や民生委員・児童委員へ提供している名簿の更新など、市の取り組みを支援しました。 ・地域において防災や避難行動要支援者について検討する機運を把握した場合、制度を周知するとともに、ふくし座談会への市職員の出席を調整しました。 <p>「避難行動要支援者制度」は、令和3年9月から新制度として運用が始まりました。支援を希望する住民は、市にて名簿（地域ささえあい名簿）に整理され、自治会や民生委員・児童委員へ貸与されています。また、令和5年度より本会へも地域ささえあい名簿が貸与されています。</p>

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者支援にかかる自治会、民生委員・児童委員、市からの相談に応じ支援しました。 ・地域のコアメンバー（自治会、民生委員・児童委員等）に制度を周知するとともに、必要に応じふくし座談会への市職員の出席を調整しました。当該制度を地域住民が協力して活用できるよう継続して市の取り組みを支援します。
---------------------------	--

2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・支出予算 5,400千円

(1) 地域見守り事業

■目標

①地域での支えあい活動や交流、見守り活動の促進に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																					
① 関係団体、ボランティア等と協力し、地域での見守り活動を実施します。日頃の様子と異なる場合などは、親族や関係機関に速やかにつながります。 (定期訪問 各地区年12回)	100%	① 関係団体、ボランティア等と協力し、月1回、定期訪問による見守り活動を実施しました。また、訪問時に留守や体調の変化等があった場合は、親族や関係機関等へ連絡し、安否確認等の必要な支援を行いました。																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ実施回数</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>60回</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>216人</td> <td>51人</td> <td>663人</td> <td>190人</td> <td>520人</td> <td>1,640人</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	延べ実施回数	12回	12回	12回	12回	12回	60回	延べ利用者数	216人	51人	663人	190人	520人	1,640人
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計															
延べ実施回数	12回	12回	12回	12回	12回	60回																	
延べ利用者数	216人	51人	663人	190人	520人	1,640人																	

■評価

目標の達成度 評価 B	・民生委員・児童委員、福祉委員やボランティアと連携して見守り活動を行いました。
----------------	---

(2) ボランティアセンター事業 【評価は1>～4>共通】

1) ボランティア活動の支援

■目標

- ①ボランティア・市民活動のための体系的な学びの機会を提供します。
- ②日常的な活動支援機能の充実を目指します。
- ③活動経験や抱えている課題などを話し合い、活動に対する想いを共有する場を作ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 ボランティア養成講座・発展講座を開催します。(年1回以上)	100%	①-1 仕事や子育てをしながらボランティア活動を始めきっかけづくりを目的とし、ボランティア団体が抱える世代交代等の問題解決への一歩となるようボランティアスクールを開催しました。

			開催日	時間	内容	会場	参加者										
			8月3日	10:00~12:00	ボランティア入門講座	志摩市立図書館	23人										
		講師：大阪ボランティア協会 市居利絵 氏															
<p>①-2 ボランティア等に関心をもつ人びとが活動を体験できる機会としてトライアル制度を実施します。(年1回程度)</p>	100%	<p>①-2 ボランティアの発掘や世代交代が課題となる中、新たな担い手の発掘を促進するため、市民が気軽にボランティア・市民活動を体験できる機会としてボラチャレ(ボランティアチャレンジ)を開催しました。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="824 411 1167 453">体験期間</th> <th data-bbox="1167 411 1525 453">協力団体</th> <th data-bbox="1525 411 1812 453">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="824 453 1167 504">10月12日~12月27日</td> <td data-bbox="1167 453 1525 504">21団体(内18団体が受入れ)</td> <td data-bbox="1525 453 1812 504">36名(延べ47人)</td> </tr> </tbody> </table>		体験期間	協力団体	参加者	10月12日~12月27日	21団体(内18団体が受入れ)	36名(延べ47人)							
体験期間	協力団体	参加者															
10月12日~12月27日	21団体(内18団体が受入れ)	36名(延べ47人)															
<p>②-1 ボランティアと支援希望者の橋渡し(マッチング)支援を行います。(随時)</p>	100%	②-1 随時対応していますが、上記①-2をマッチング強化期間としました。															
<p>②-2 HP、SNS等を活用し活動のPRを行います。(月1回以上の情報発信)</p>	100%	②-2 ボランティアセンター及び各団体の活動を随時、情報発信しました。															
<p>②-3 助成金の交付を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体福祉活動助成事業 25団体、1団体上限10,000円 ・先駆的・重点的地域福祉活動助成事業 6団体、1団体上限10万円 2団体、1団体上限20万円 	100%	<p>②-3 次のとおり、ボランティア団体等へ助成金を交付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体福祉活動助成事業 20団体(198,000円)へ助成金を交付しました。 ・先駆的・重点的地域福祉活動助成事業 7団体(628,000円)へ助成金を交付しました。 															
<p>③ ボランティア同士の研鑽や交流を目的に、交流会を開催します。(年1回以上)</p>	100%	<p>③ ボランティアセンター登録団体、ふれあいサロン活動者等を対象にボランティア交流会を開催します。上半期は、講師や会場等の調整を行いました。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="824 1232 976 1283">開催日</th> <th data-bbox="976 1232 1167 1283">時間</th> <th data-bbox="1167 1232 1812 1283">内容</th> <th data-bbox="1812 1232 2033 1283">会場</th> <th data-bbox="2033 1232 2163 1283">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="824 1283 976 1374">10月9日</td> <td data-bbox="976 1283 1167 1374">13:00~16:00</td> <td data-bbox="1167 1283 1812 1374">講義、グループワーク (講師：特定非営利活動法人Mブリッジ 米山氏)</td> <td data-bbox="1812 1283 2033 1374">志摩市立図書館</td> <td data-bbox="2033 1283 2163 1374">27人</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	時間	内容	会場	参加者	10月9日	13:00~16:00	講義、グループワーク (講師：特定非営利活動法人Mブリッジ 米山氏)	志摩市立図書館	27人			
開催日	時間	内容	会場	参加者													
10月9日	13:00~16:00	講義、グループワーク (講師：特定非営利活動法人Mブリッジ 米山氏)	志摩市立図書館	27人													

2) 地域ふれあいサロン支援事業

■目標

①地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 住民主体の交流拠点づくりを支援します。 (相談支援・情報提供・活動支援)	100%	①-1 地域支援コーディネーターと連携して、活動者からの相談に随時応じ、またレクリエーション用品を貸し出すなど支援を行いました。
①-2 助成金の交付を行います。 (50団体、1団体：上限30,000円)	100%	①-2 地域ふれあいサロン 46 団体 (1,164,000 円) へ助成金を交付しました。

3) 福祉学習の支援

■目標

①児童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉に理解と関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるとともに、家庭及び地域社会への啓発を図り、地域福祉の向上を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																											
①-1 学校と協働し福祉体験プログラムを作成し、福祉学習を支援します。	100%	①-1 小中学校からの相談に応じ、福祉学習を実施しました。(小学校5校 中学校1校 計11回) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>学校名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月26日</td> <td>大王小学校</td> <td>手話体験</td> </tr> <tr> <td>10月4日</td> <td>鵜方小学校</td> <td>高齢者疑似体験、車椅子体験</td> </tr> <tr> <td>10月11日</td> <td>大王小学校</td> <td>車椅子体験、アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>大王小学校</td> <td>視覚障がい者の講話</td> </tr> <tr> <td>10月31日</td> <td>東海小学校</td> <td>アイマスク体験、視覚障がい者の講話</td> </tr> <tr> <td>11月17日</td> <td>志摩中学校</td> <td>車椅子体験</td> </tr> <tr> <td>1月24日</td> <td>志摩小学校</td> <td>アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>1月24日</td> <td>東海小学校</td> <td>車椅子体験</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	学校名	内容	9月26日	大王小学校	手話体験	10月4日	鵜方小学校	高齢者疑似体験、車椅子体験	10月11日	大王小学校	車椅子体験、アイマスク体験	10月17日	大王小学校	視覚障がい者の講話	10月31日	東海小学校	アイマスク体験、視覚障がい者の講話	11月17日	志摩中学校	車椅子体験	1月24日	志摩小学校	アイマスク体験	1月24日	東海小学校	車椅子体験
実施日	学校名	内容																											
9月26日	大王小学校	手話体験																											
10月4日	鵜方小学校	高齢者疑似体験、車椅子体験																											
10月11日	大王小学校	車椅子体験、アイマスク体験																											
10月17日	大王小学校	視覚障がい者の講話																											
10月31日	東海小学校	アイマスク体験、視覚障がい者の講話																											
11月17日	志摩中学校	車椅子体験																											
1月24日	志摩小学校	アイマスク体験																											
1月24日	東海小学校	車椅子体験																											

①-2 パンフレット「福祉学習のすすめ」を学校へ案内し、福祉学習を推進します。 ①-3 福祉体験教室を開催し、社会福祉の理解と関心を深めます。 ①-4 助成金の交付を行います。 (8校、上限30,000円)	100%	2月7日 神明小学校 高齢者疑似体験 2月20日 志摩小学校 視覚障がい者の講話																												
	100%	①-2 福祉学習プログラムをまとめたパンフレットを市内の小中学校と高等学校へ配付し、啓発しました。 ①-3 小中学生を対象に夏休みを利用して、ふくしサマースクールを開催しました。																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>時間</th> <th>内容</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月8日</td> <td>13:00~15:30</td> <td>車いすバスケット体験 (講師:三重チャリオッツ)</td> <td>阿児アリーナ</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>8月25日</td> <td>13:30~18:00</td> <td>防災デイキャンプ (共催:みえ防災コーディネーター志摩の会)</td> <td>ともやま公園</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	時間	内容	会場	参加者	8月8日	13:00~15:30	車いすバスケット体験 (講師:三重チャリオッツ)	阿児アリーナ	16人	8月25日	13:30~18:00	防災デイキャンプ (共催:みえ防災コーディネーター志摩の会)	ともやま公園	20人													
	開催日	時間	内容	会場	参加者																									
8月8日	13:00~15:30	車いすバスケット体験 (講師:三重チャリオッツ)	阿児アリーナ	16人																										
8月25日	13:30~18:00	防災デイキャンプ (共催:みえ防災コーディネーター志摩の会)	ともやま公園	20人																										
100%	①-4 市内の小中学校と高等学校を対象に、助成金を交付しました。(小学校4校、中学校2校へ交付)																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,000円</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>30,000円</td> <td>1校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>2校</td> <td>1校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30,000円</td> <td>30,000円</td> <td>0円</td> <td>75,000円</td> <td>30,000円</td> <td>165,000円</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	15,000円	0校	0校	0校	1校	0校	1校	30,000円	1校	1校	0校	2校	1校	5校	合計	30,000円	30,000円	0円	75,000円	30,000円	165,000円
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																								
15,000円	0校	0校	0校	1校	0校	1校																								
30,000円	1校	1校	0校	2校	1校	5校																								
合計	30,000円	30,000円	0円	75,000円	30,000円	165,000円																								

4) 災害ボランティアセンターの運営準備

■目標

- ①有事に備え、災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう準備していきます。
- ②有事に備え、県内市町社協の連携強化を進めます。
- ③UMOU 災害支援プロジェクトを実施します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 災害ボランティアセンターの運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンター	100%	①-1 本会の災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、設置・運営訓練を実施しました。 (三重県・志摩市・鳥羽市総合防災訓練のサテライト会場として開催)

の運営訓練を行います。			開催日	時間	内容	会場	参加者
			12月8日	9:00~12:00	設置・運営訓練、ロールプレイ (アドバイザー:みえ防災市民会議 中村副議長)	磯部健康福祉センターかがやき	59人
①-2 災害ボランティアセンターの運営協力者の養成に向け、災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。(年1回)	100%	①-2 「災害ボランティアコーディネーター養成講座(全2回)」を開催しました。	開催日	時間	内容	会場	参加者
			11月1日	19:00~20:35	講義(講師:みえ防災市民会議 山本議長)	サンライフあご	28人
			11月8日	19:00~20:35	講義(講師:みえ防災市民会議 山本議長)	サンライフあご	28人
② 南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会へ参画します。	100%	② 令和6年度は、本会が三重県社協災害時広域連携協議会の南勢志摩ブロックの幹事でした。 ・幹事会へ出席しました。(3回) ・ブロック会議を開催しました。(1回) ・プロボノ(専門職ボランティア)の情報共有等について検討しました。 ・プロボノに関する研修会を開催しました。(1回)					
③ UMOUプロジェクト(市内で集められた羽毛をリサイクル買取りによって寄付金として還元するしくみ)をおもいやりプロジェクトや市と協力して実施します。寄付金は災害ボランティアセンターの運営に充当するため積み立てます。(実施期間:9月~11月)	50%	③ 市内企業等と連携し、UMOU災害支援プロジェクトを実施しました。(期間9月~11月) 【実績】 109枚					

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの発掘や世代交代の課題に対し、ボランティア関連事業を現役世代の参加や仲間づくりをテーマに開催しています。グループワークで交流し、ボランティアの思いを共有する場を作りました。 ・地域ふれあいサロンは、解散もあれば新しく立ち上がるものもあり、近年は微減となっています。地域支援コーディネーターが把握や相談対応し、ボランティアセンターは助成金やサロン活動のPRのため取材でかかわっています。 ・福祉学習は多くの学校が取り組みますが、助成金の交付を受ける学校は少なく固定化されています。学校から福祉学習の相談は、下半期に多く寄せられました。
評価 B	

・災害ボランティアセンターの訓練は、県の総合防災訓練サテライト会場として実施し、多くの参加がありました。これまでに出了課題や意見を参考に、マニュアルを一部見直しました。

(3) 専門相談会

■目標

①住民が抱える様々な悩みや困りごとの中で、法律的な問題に対し、解決に向けた必要な情報提供と助言の機会を提供します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況									
①-1 土地、相続、金銭貸借など民法上の相談窓口として、専門相談会を開催します。 (弁護士相談：年12回、司法書士相談：年6回)	100%	①-1 専門相談会の開催状況は、下記のとおりです。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>相談区分</th> <th>①-1 法律相談 (弁護士)</th> <th>①-1 登記・訴訟相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>12回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>43件</td> <td>21件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"> 弁護士相談 開催回数 4月午前 大王、午後 志摩 6月午前 阿見、午後 阿見 8月午前 磯部、午後 浜島 10月午前 志摩、午後 大王 12月午前 阿見、午後 阿見 2月午前 浜島、午後 磯部 計12回 </p>	相談区分	①-1 法律相談 (弁護士)	①-1 登記・訴訟相談	開催回数	12回	6回	相談件数	43件	21件
相談区分	①-1 法律相談 (弁護士)	①-1 登記・訴訟相談									
開催回数	12回	6回									
相談件数	43件	21件									
①-2 法テラス三重による民事法律扶助無料法律相談会を支援します。(年6回)	100%	①-2、①-3 法テラス三重と行政書士のボランティア団体が実施する相談会に協力しました。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>相談区分</th> <th>①-2 法テラス三重相談</th> <th>①-3 行政書士相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>24件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table>	相談区分	①-2 法テラス三重相談	①-3 行政書士相談	開催回数	6回	6回	相談件数	24件	5件
相談区分	①-2 法テラス三重相談		①-3 行政書士相談								
開催回数	6回	6回									
相談件数	24件	5件									
①-3 成年後見・相続に関する相談として、行政書士による相談機会を支援します。(年6回)	100%										

■評価

目標の達成度 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価</td> <td style="width: 50%;">B</td> </tr> </table>	評価	B	・法律相談また登記・訴訟相談は、予定している予約数を下回る月もありましたが、計画どおり実施することができました。 ・法律相談への予約は、相談内容によって登記・訴訟相談での対応が可能なケースもあることから、相談内容に応じて柔軟に予約を受け付けました。また、専門相談会において対応できない相談は、他制度を紹介するなど、市民の困りごとへの対応を心がけました。
評価	B		

(4) 共同募金配分委員会の運営

■目標

- ① 社会福祉を目的とする団体や事業に対し、公平中立な立場で配分金を配分できるよう運営していきます。
- ② 共同募金配分金の効果的な配分方法を見出します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
① 共同募金配分金事業を精査・検証し、効果的に事業を実施するため、配分委員会へ意見を求めます。(配分委員会：年3回)	100%	① 配分委員会において下記のとおり検討しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(5月23日) 令和6年度充当事業の変更・計画について検討しました。 ・第2回(6月2日) 共同募金配分助成審査会(プレゼンテーション)とその審査結果から、申請7団体への配分について検討しました。 ・第3回(3月7日) 令和7年度充当事業の変更・計画について検討しました。
② 共同募金配分助成審査会を開催します。(年1回)	100%	② 共同募金配分助成審査会では、配分委員6人と主任児童委員1人、企業代表者2人が審査員となり、申請7団体のプレゼンテーションによる審査を実施しました。

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金情報などが、若い世代の目に留まるようチラシの工夫やSNSを活用して啓発しました。 ・地域支援コーディネーターと連携し、配分を受けた団体を支援しました。
----------------	--

3. 会費充当事業・・・・・・・・・・支出予算(法人運営事業に包含)

(1) 会費充当事業

■目標

- ① 地域が地域課題等を考える機会を持ち、地域福祉の機運と実践力を高められるよう支援し、小地域活動の活性化を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
------	-----	------

①-1 自治会をはじめとする地縁団体が地域課題の解決を目的に行う福祉活動に対して、助成金を交付します。

100%

①-1 次のとおり助成金を交付しました。(38 地区 39 団体、総額 2,660,000 円)

地区	委員会名	主な活動内容	助成額
浜島	浜島地区自治会連合会	見守り活動	173,000 円
	桧山路地区福祉委員会	見守り活動、イベント開催、情報交換	65,000 円
	塩屋福祉委員会	会議の開催、見守り活動、配食サービス	65,000 円
	迫子 さつき会	福祉課題の把握・調査、地域福祉活動の検討、交流事業	65,000 円
	大崎自治会	防災備品の購入	27,000 円
大王	波切自治会	敬老会の開催	139,000 円
	畔名老人クラブ	交流事業、福祉課題の把握	45,000 円
	船越自治会	防災課題の把握・検討、防災物品の配付	100,000 円
志摩	和具自治会	地区津波避難計画の作成、防災講演会の開催	146,000 円
	越賀地区福祉委員会	福祉課題の把握、交流事業	90,000 円
	布施田地区福祉委員会	福祉課題の把握、喫茶型サロンの開催、見守り活動	100,000 円
	片田ふくしの会	交流事業、ふくし座談会の開催	39,860 円
	片田自治会	防災備品の購入	60,140 円
	御座自治会	防災備品の購入	47,000 円
	間崎自治会	交流事業	27,000 円
阿児	鶴方自治会	敬老会を通じた見守り、買い物を通じた交流事業	224,000 円
	神明地区福祉委員会	見守り活動、ふれあい交流会	114,000 円
	立神地区福祉委員会	見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力	84,000 円
	志島自治会	見守り活動、地区福祉課題の把握	65,000 円
	国府自治会	敬老会を通じた見守り	32,000 円
	安乗自治会	敬老会を通じた見守り	83,000 円
	沓掛自治会	見守り活動、福祉課題の把握	28,000 円
	山田区自治会	見守り活動、福祉課題の把握	70,000 円
	上之郷区	福祉課題の把握・検討、住民の実態把握	42,000 円
	下之郷地区福祉委員会	見守り活動、福祉課題の把握	70,000 円

①-2 新設した「小地域福祉活動助成事業」の活用を地域に働きかけ、住民主体の福祉活動の活性化を図ります。	100%	磯部	飯浜区	福祉課題の把握、調査	32,000円
			恵利原区	見守り活動、交流事業	70,000円
			恵ヶ丘区自治会福祉委員会	見守り活動、福祉課題の把握	28,000円
			川辺福祉委員会	見守り活動、情報共有	43,000円
			迫間第一区	見守り活動、福祉課題の把握	51,000円
			迫間区	見守り活動、情報交換	70,000円
			築地区	見守り活動、福祉課題の把握	48,000円
			山原地区福祉委員会	見守り活動、地域住民の交流機会の実施（桜まつり）	35,000円
			夏草地区福祉委員会	見守り活動、移動支援事業、情報交換	32,000円
			地縁団体 穴川区	福祉課題の把握、調査	80,000円
			坂崎区	見守り活動、福祉課題の把握	45,000円
			三ヶ所区自治会	見守り活動、情報共有	40,000円
			的矢区	見守り活動、福祉課題の把握	50,000円
			わたかの福祉委員会	見守り活動、情報共有	35,000円
			合計		2,660,000円
①-2 全自治会へ当該事業の説明を行い、活用を働きかけました。					

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や福祉委員会を対象とした過年度までの助成事業の課題を解決しつつ、小地域における住民主体の福祉活動の活性化を狙い、当該事業をスタートしました。自治会等へ説明と活用の働きかけを行いました。その結果、38地区（39団体）からの申請があり、令和5年度の助成事業より申請数が増加することとなりました。 ふくし座談会の開催を助成条件としたことでふくし座談会の開催が促進され、共有した地域課題に対して住民が主体的に活動するきっかけとなりました。
評価	

4. 生活福祉資金貸付事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・・・・支出予算 425千円

■目標

①低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付けと必要な援助指導を行い、経済的に安定した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																																																																					
①-1 生活福祉資金の借り入れについて、貸付相談を実施します。(随時)	100%	①-1 貸付相談件数については、下記のとおりです。 (1) 通常貸付について ・相談件数 <table border="1" data-bbox="831 320 2072 422"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>市外</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言</td> <td>6件</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>22件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>37件</td> </tr> </tbody> </table> ・貸付件数 <table border="1" data-bbox="831 470 2072 719"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初既貸付件数</td> <td>0件</td> <td>12件</td> <td>18件</td> <td>80件</td> <td>12件</td> <td>122件</td> </tr> <tr> <td>年度内新規貸付件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>年度内償還完了等件数</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>8件</td> <td>0件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>年度末貸付件数</td> <td>1件</td> <td>11件</td> <td>18件</td> <td>73件</td> <td>12件</td> <td>115件</td> </tr> </tbody> </table> (2) 新型コロナウイルス感染症特例貸付について(令和4年9月30日受付終了) ◇償還猶予: 借受人の申請により、到来した償還の開始月を引き延ばす手続き(償還自体はなくなる) <table border="1" data-bbox="831 863 2054 1015"> <thead> <tr> <th></th> <th>緊急小口</th> <th>総合支援〈初回〉</th> <th>総合支援〈延長〉</th> <th>総合支援〈再貸付〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>決定件数</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> ◇償還免除: 借受人の申請により、償還を免除する手続き(償還自体がなくなる) <table border="1" data-bbox="831 1062 2054 1214"> <thead> <tr> <th></th> <th>緊急小口</th> <th>総合支援〈初回〉</th> <th>総合支援〈延長〉</th> <th>総合支援〈再貸付〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>決定件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> ○参考1 令和2年3月27日～令和4年9月30日までの相談件数、申請件数及び決定件数 <table border="1" data-bbox="819 1262 1888 1455"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>737件</td> <td>220件</td> <td>17件</td> <td>974件</td> </tr> <tr> <td>緊急小口資金(申請)</td> <td>257件</td> <td>60件</td> <td>10件</td> <td>327件</td> </tr> <tr> <td>緊急小口資金(決定)</td> <td>241件</td> <td>60件</td> <td>9件</td> <td>310件</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計	相談・助言	6件	2件	4件	22件	3件	0件	37件		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	年度当初既貸付件数	0件	12件	18件	80件	12件	122件	年度内新規貸付件数	1件	1件	0件	1件	0件	3件	年度内償還完了等件数	0件	2件	0件	8件	0件	10件	年度末貸付件数	1件	11件	18件	73件	12件	115件		緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉	総合支援〈再貸付〉	申請件数	2件	0件	0件	1件	決定件数	2件	0件	0件	1件		緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉	総合支援〈再貸付〉	申請件数	1件	1件	1件	5件	決定件数	1件	1件	1件	5件		令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	相談件数	737件	220件	17件	974件	緊急小口資金(申請)	257件	60件	10件	327件	緊急小口資金(決定)	241件	60件	9件	310件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計																																																																																																
相談・助言	6件	2件	4件	22件	3件	0件	37件																																																																																																
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																																																																																	
年度当初既貸付件数	0件	12件	18件	80件	12件	122件																																																																																																	
年度内新規貸付件数	1件	1件	0件	1件	0件	3件																																																																																																	
年度内償還完了等件数	0件	2件	0件	8件	0件	10件																																																																																																	
年度末貸付件数	1件	11件	18件	73件	12件	115件																																																																																																	
	緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉	総合支援〈再貸付〉																																																																																																			
申請件数	2件	0件	0件	1件																																																																																																			
決定件数	2件	0件	0件	1件																																																																																																			
	緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉	総合支援〈再貸付〉																																																																																																			
申請件数	1件	1件	1件	5件																																																																																																			
決定件数	1件	1件	1件	5件																																																																																																			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計																																																																																																			
相談件数	737件	220件	17件	974件																																																																																																			
緊急小口資金(申請)	257件	60件	10件	327件																																																																																																			
緊急小口資金(決定)	241件	60件	9件	310件																																																																																																			

総合支援資金(申請)	159 件	70 件	7 件	236 件
総合支援資金(決定)	151 件	56 件	7 件	214 件
総合支援資金延長(申請)	48 件	12 件		60 件
総合支援資金延長(決定)	43 件	7 件		50 件
総合支援資金再貸付(申請)	34 件	46 件		80 件
総合支援資金再貸付(決定)	25 件	32 件		57 件

○参考2 令和4年度～令和5年度の償還猶予申請件数及び決定件数

	緊急小口	総合支援〈初回〉
申請件数	7 件	5 件
決定件数	7 件	5 件

○参考3 令和4年度～令和5年度の償還免除申請件数及び決定件数

	緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉
申請件数	133 件	99 件	18 件
決定件数	133 件	99 件	18 件

①-2 現在の貸付世帯の中で、定期的に滞納者の生活状況を確認し、借入れ資金への償還指導を行います。

100%

①-2 下記のとおり貸付世帯の生活状況を把握し、償還を指導しました。

- ・ 自立、生活意欲の助長促進に向けた更なる相談援助と償還指導を行いました。
- ・ 償還対象者全員に対し、償還案内を送付(送付時期：6月・9月・12月・3月)し、6ヵ月以上返済が滞っている方には督促状を送付(送付時期：6月・12月)しました。
- ・ 償還指導対象者の生活状況について民生委員・児童委員等と相談の上、訪問、電話、文書、来所面談により指導しました。

償還指導対象者：償還が滞っている世帯のうち、支援が必要と思われる世帯

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
償還指導対象者件数 (内、督促状送付件数)	4 件 (4 件)	5 件 (5 件)	9 件 (9 件)	20 件 (20 件)	14 件 (14 件)	52 件 (52 件)
償還指導実施件数	4 件	5 件	9 件	20 件	13 件	51 件
償還につながった件数	0 件	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件

<p>①-3 生活福祉資金貸付担当者研修会へ参加します。（年1回）</p> <p>①-4 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた相談者の生活状況を把握し、生活困窮者自立相談、家計改善相談と連携した支援を行います。</p> <p>①-5 民生委員・児童委員と連携し、貸付の申請及び償還指導を行います。</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>・三重県社協とともにコロナ特例貸付の借受世帯を対象とした実態把握調査（訪問）を行いました。 実施日：令和6年9月10日（火）、令和7年1月9日（木） 対象世帯：三重県社協より提供された「コロナ特例貸付の長期延滞者一覧」より任意に抽出した世帯</p> <table border="1" data-bbox="806 263 2038 375"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問件数</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>7件</td> <td>6件</td> <td>21件</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-3 下記のとおり生活福祉資金制度に関する研修会等に参加しました。</p> <table border="1" data-bbox="806 462 2094 813"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修名</th> <th>主催者（主体）</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月22日</td> <td>令和6年度 第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>5月29日</td> <td>令和6年度 生活福祉資金コロナ特例貸付借受フォローアップ支援事業の実施方針に係る説明会</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>6月14日</td> <td>福祉フォロークラウドの説明会</td> <td>三重県社協</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>12月9日</td> <td>令和6年度 第2回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会</td> <td>三重県社協</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>12月18日</td> <td>生活福祉資金貸付事業担当者説明会</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-4 貸付相談者の中には、生活が苦しく困窮している方が多くいます。相談を聞く中で生活が困窮している状況が確認された場合には、生活困窮者自立支援事業担当者へ情報提供しました。</p> <p>①-5 貸付申請時や償還指導の際に担当職員は担当地区民生委員・児童委員と同行訪問し、相談者世帯の生活状況の把握に取り組みました。</p>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	訪問件数	1件	3件	4件	7件	6件	21件	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	4月22日	令和6年度 第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	三重県社協	1人	5月29日	令和6年度 生活福祉資金コロナ特例貸付借受フォローアップ支援事業の実施方針に係る説明会	三重県社協	1人	6月14日	福祉フォロークラウドの説明会	三重県社協	3人	12月9日	令和6年度 第2回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	三重県社協	2人	12月18日	生活福祉資金貸付事業担当者説明会	三重県社協	1人
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																		
訪問件数	1件	3件	4件	7件	6件	21件																																		
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																					
4月22日	令和6年度 第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	三重県社協	1人																																					
5月29日	令和6年度 生活福祉資金コロナ特例貸付借受フォローアップ支援事業の実施方針に係る説明会	三重県社協	1人																																					
6月14日	福祉フォロークラウドの説明会	三重県社協	3人																																					
12月9日	令和6年度 第2回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	三重県社協	2人																																					
12月18日	生活福祉資金貸付事業担当者説明会	三重県社協	1人																																					

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="89 1348 280 1396"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・生活福祉資金貸付事業を三重県社協から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付と償還指導を行い、経済的に安定した生活を送れるよう支援しました。中でも、督促状が発行されている滞納者に対しては連絡を促し、現在の生活状況の把握から償還の促進につなげることができました。また、償還指導をしてもなお償還が困難な世帯に対しては、対象地区の民生委員・児童委員や三重県社協と連携して対応しました。</p>
評価	B		

・新型コロナウイルス感染症特例貸付に関するアウトリーチ支援事業として、生活課題を抱えていると推察される借受人に対して訪問・架電による生活状況の聞き取りなどを行いました。また、三重県社協や生活困窮者自立支援事業等の関係機関と連携し、償還免除者の自立に向けた支援にも取り組んでいます。

5. 日常生活自立支援事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・・・・支出予算 7,621千円

■目標

①判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方に福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類等預かりサービスを行い、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																																																																																					
①-1 新規利用者の相談支援を行います。 (随時)	100%	<p>①-1 相談支援の実施状況は、下記のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">相談・助言</td> <td>6件</td> <td>13件</td> <td>5件</td> <td>26件</td> <td>9件</td> <td>59件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用契約数</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">解約数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用者数</td> <td>10人</td> <td>11人</td> <td>4人</td> <td>28人</td> <td>9人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内訳</td> <td>認知症</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>1人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>9人</td> <td>2人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>精神障がい</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>10人</td> <td>6人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活支援員数</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活支援員訪問回数</td> <td>188回</td> <td>188回</td> <td>56回</td> <td>440回</td> <td>159回</td> <td>1,031回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門員訪問回数</td> <td>17回</td> <td>5回</td> <td>0回</td> <td>42回</td> <td>6回</td> <td>70回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>643回</td> <td>517回</td> <td>197回</td> <td>1,548回</td> <td>563回</td> <td>3,468回</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6">相談・助言 / 問い合わせ件数、初回相談件数</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6">その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数</td> </tr> </tbody> </table>			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	相談・助言		6件	13件	5件	26件	9件	59件	利用契約数		1件	2件	2件	3件	2件	10件	解約数		1件	0件	1件	2件	1件	5件	利用者数		10人	11人	4人	28人	9人	62人	内訳	認知症	2人	6人	3人	7人	1人	19人	知的障がい	3人	1人	1人	9人	2人	16人	精神障がい	4人	4人	0人	10人	6人	24人	その他	1人	0人	0人	2人	0人	3人	生活支援員数		2人	1人	1人	2人	0人	6人	生活支援員訪問回数		188回	188回	56回	440回	159回	1,031回	専門員訪問回数		17回	5回	0回	42回	6回	70回	その他		643回	517回	197回	1,548回	563回	3,468回			相談・助言 / 問い合わせ件数、初回相談件数								その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数					
		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																																																																																																
相談・助言		6件	13件	5件	26件	9件	59件																																																																																																																
利用契約数		1件	2件	2件	3件	2件	10件																																																																																																																
解約数		1件	0件	1件	2件	1件	5件																																																																																																																
利用者数		10人	11人	4人	28人	9人	62人																																																																																																																
内訳	認知症	2人	6人	3人	7人	1人	19人																																																																																																																
	知的障がい	3人	1人	1人	9人	2人	16人																																																																																																																
	精神障がい	4人	4人	0人	10人	6人	24人																																																																																																																
	その他	1人	0人	0人	2人	0人	3人																																																																																																																
生活支援員数		2人	1人	1人	2人	0人	6人																																																																																																																
生活支援員訪問回数		188回	188回	56回	440回	159回	1,031回																																																																																																																
専門員訪問回数		17回	5回	0回	42回	6回	70回																																																																																																																
その他		643回	517回	197回	1,548回	563回	3,468回																																																																																																																
		相談・助言 / 問い合わせ件数、初回相談件数																																																																																																																					
		その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数																																																																																																																					
①-2 三重県社会福祉協議会が主管する契約締結審査会へ参加します。	100%	①-2 契約締結審査会は、日常生活自立支援事業の契約締結等の判断を専門員が難しい場合の審議機関として三重県社協に設置されており、月1回、オンラインにより開催されています。ただし、原則として出席は審査案件がある場合のみで、報告案件のみ																																																																																																																					

(オンライン審査会：月1回)

の場合は出席不要となっています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出席者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
審査案件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0人	0人	0人	0人	0人	0人
契約報告数	1件	1件	0件	2件	0件	1件	1件	1件	1件	0件	1件	1件
再評価報告数	8件	14件	11件	8件	7件	13件	11件	11件	11件	9件	11件	10件
解約報告数	0件	0件	1件	1件	0件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	1件

・令和6年度は審査案件がありませんでした。

審査案件：契約や解約を行うにあたり、専門員で判断し難い場合に審議を求めて提出する案件

報告案件：契約・解約・再評価を行ったことを報告するために提出する案件

①-3 専門員の資質向上に努めます。

- ・専門員研修会への参加
- ・成年後見制度研修会への参加
- ・その他 専門員として必要な研修への参加

100%

①-3 研修会への参加状況は下記のとおりです。

(1) 専門員研修会

開催日	研修名	主催者 (主体)	参加者
10月16日	専門員資質向上研修	三重県社協	2人

(2) 成年後見制度研修会

開催日	研修名	主催者 (主体)	参加者
8月6日	令和6年度成年後見制度利用促進市町支援事業 スキルアップ研修	三重県社協	2人
3月7日	成年後見スキルアップ研修会	本会	2人

①-4 生活支援員の資質向上に努めます。

- ・生活支援員研修会への参加 (年1回)
- ・本会が主催する研修会への参加

100%

①-4 生活支援員等研修会

開催日	研修名	主催者 (主体)	参加者
12月12日	生活支援員等研修会	三重県社協	5人
2月10日	生活支援員等研修会	本会	6人

①-5 利用者の再評価を定期に実施します。

100%

①-5 利用者の自立に向けた再評価を下記のとおり実施しました。

- ・3ヵ月毎に実施する新規ケースの再評価 (11件)
- ・6ヵ月毎の継続ケース再評価 (111件)

①-6 成年後見制度へのつなぎ支援や本会の法人後見との連携を図ります。	100%	①-6 本会実施の法人後見受任者と関わりがあるケースについては、情報や支援方法を共有するなど、随時連携を図りました。
-------------------------------------	------	--

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の新規契約件数は10件、解約件数は5件となり、年度当初と比べると利用者数は5件の増加となりました。令和5年度に引き続き利用者は増加傾向となっています。新規の相談については、複合的な課題を抱えている方の割合が高く、関係機関と連携して情報共有などを図りながら契約手続きを進めました。なお、解約件数5件は、死亡と施設入所と転居によるものでした。 引き続き、関係機関との連携した支援に心がけ、利用者本位の支援ができるように取り組んでいきます。
----------------	---

6. 生活困窮者自立支援事業（志摩市受託事業）・・・・・・支出予算 29,825千円

■目標

- ①自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業の三事業が一体となって複合的な生活課題がある生活困窮者に対して相談支援を行います。
- ②関係機関や地域の協力者と連携しながら生活困窮者の早期発見に努め、支援につながりにくい方が相談につながるよう取り組みます。
- ③質の高い個別支援を行なうための技術や知識を習得し、包括的な相談支援に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況														
①-1 生活に困窮している人が自立に向かうための支援プランを作成します。 ・目標件数：新規相談受付 90件以上 支援プラン作成 45件以上	100%	①-1 生活に困窮している人が自立に向かう支援を下記のとおり取り組みました。 (1)相談実績 <table border="1" data-bbox="846 970 1581 1066"> <tr> <td></td> <td>新規相談件数</td> <td>プラン作成件数</td> </tr> <tr> <td>相談支援状況</td> <td>83件</td> <td>80件</td> </tr> </table> (2)みえ福祉の「わ」創造事業利用実績 <table border="1" data-bbox="846 1114 1883 1209"> <tr> <td></td> <td>緊急食糧提供事業</td> <td>緊急時物品等支援事業</td> <td>就労支援事業（交通費助成）</td> </tr> <tr> <td>利用実績</td> <td>49件</td> <td>10件</td> <td>111件</td> </tr> </table>		新規相談件数	プラン作成件数	相談支援状況	83件	80件		緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業（交通費助成）	利用実績	49件	10件	111件
	新規相談件数	プラン作成件数														
相談支援状況	83件	80件														
	緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業（交通費助成）													
利用実績	49件	10件	111件													
①-2 支援調整会議を開催し、支援方針を決定します。	100%	①-2 自立相談支援機関（ふんばり）が主催する支援調整会議を毎月開催し、自立支援プランや家計再生プランの承認手続きと新規相談ケースの報告を通じて、情報共有や意見集約を図りました。 ・出席した相談機関 本会：自立相談支援機関ふんばり（就労準備支援事業担当者、家計改善支援事業担当者）														

<p>①-3 複雑化した生活課題は、ケース会議の開催及び相談支援調整会議や重層的支援体制整事業と連携しながら支援方針を検討します。</p> <p>①-4 支援を必要とする人の情報をキャッチし、積極的なアウトリーチ（訪問活動）に努めます。</p> <p>①-5 就労が困難な人への支援として就労準備支援プログラムを作成します。</p> <p>①-6 直ちに就労が難しい人（高齢者を含む）の就労体験、生活習慣の改善を支援し、自立意欲の増進を図ります。</p> <p>①-7 就労体験場所を増やし、本人の意向に合わせた就労体験ができるようにします。</p> <p>①-8 収入と支出のバランスを図るため、家計再生プランを作成します。</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>市：生活支援課、介護・総合相談支援課、健康推進課 他機関：志摩市障がい者相談支援センターこだま 随時：子ども家庭課、地域包括支援センター大王・志摩サテライト、浜島・磯部地域包括支援センター</p> <p>①-3 担当者会議や市に設置されている相談支援調整会議へ参加し、複雑化した生活課題のあるケースについて積極的に連携を求めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援調整会議への参加：11回 ・個別ケース検討会議への参加：2回 <p>①-4 生活に困窮しているが、すぐに相談に来ることができない方に対しては、訪問による相談支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣会社からの情報提供により訪問した結果、生活困窮者支援につながったケースがありました。 ・支援中の相談者からの情報提供により相談対応し、生活困窮者支援につながったケースがありました。 ・地域包括支援センターからの相談で訪問し、生活困窮者支援につながったケースがありました。 <p>①-5、①-6、①-7 就労が困難な人へ下記のとおり支援しました。</p> <table border="1" data-bbox="813 815 1809 959"> <thead> <tr> <th></th> <th>年度当初人数</th> <th>新規支援人数</th> <th>支援終了人数</th> <th>支援対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談者数</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>プログラム作成数</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム作成の支援メニュー <ul style="list-style-type: none"> ア. 障がい者就労支援事業所での就労体験 イ. 日課の見直し、体力づくり ウ. 就職試験に向けた取り組み エ. 一般企業での就労体験 オ. 自力通勤への取り組み カ. 交流プログラム（創作活動・映画会・カフェ会・体操会等） キ. 事務作業の補助 ・相談者の特性に合わせ、就労意欲が喚起されるための活動機会を提供することにより、相談者一人ひとりに寄り添った支援を実施しました。 ・就労準備支援事業の利用者1人が、短期間の就労につながりました。（1件） ・一般企業で、事務作業の就労体験を行いました。（1件） <p>①-8、①-9、①-10 収支のバランスをとることが困難な人へ下記のとおり支援しました。</p> <table border="1" data-bbox="840 1409 1827 1455"> <thead> <tr> <th></th> <th>年度当初人数</th> <th>新規支援人数</th> <th>支援終了人数</th> <th>支援対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度当初人数	新規支援人数	支援終了人数	支援対象人数	相談者数	3人	2人	0人	5人	プログラム作成数	3人	2人	0人	5人		年度当初人数	新規支援人数	支援終了人数	支援対象人数					
	年度当初人数	新規支援人数	支援終了人数	支援対象人数																							
相談者数	3人	2人	0人	5人																							
プログラム作成数	3人	2人	0人	5人																							
	年度当初人数	新規支援人数	支援終了人数	支援対象人数																							

①-9 債務相談等への対応として、司法書士や弁護士に速やかにつなげていきます。	100%	<table border="1" data-bbox="840 135 1825 231"> <tr> <td>相談者数</td> <td>3人</td> <td>9件</td> <td>3件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>再生プラン作成数</td> <td>3人</td> <td>9件</td> <td>3件</td> <td>9件</td> </tr> </table>	相談者数	3人	9件	3件	9件	再生プラン作成数	3人	9件	3件	9件										
相談者数	3人	9件	3件	9件																		
再生プラン作成数	3人	9件	3件	9件																		
①-10 一時的な生活資金が必要な相談に対しては、生活福祉資金担当者と連携した支援を行います。	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・専任の担当者として職員1人を配置しました。 ・債務相談として司法書士や弁護士への相談につなげるケースはありませんでした。 ・家計表、キャッシュフロー表を本人と一緒に作成し、家計の「見える化」を図ることにより、相談者自身が家計上の課題に気づき、見直しができるよう支援しました。 ・生活福祉資金貸付の申込者のうち、家計面の課題がある方に対し、家計再建に向けて支援しました。 (1件の貸付決定者に対し、生活福祉資金担当者と連携して支援しました。) 																				
②-1 市生活支援課内に設置された出先機関と情報共有を図りながら、市との連携強化に取り組めます。	100%	<p>②-1 市生活支援課との連携強化に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の事業運営について、市生活支援課担当者と協議しました。 ・市生活支援課内に設置された出先機関の担当相談支援員と情報等を共有し、連携して支援しました 																				
②-2 子育てはっぴい隊活動を持続可能なしくみにできるように取り組みます。 (物資供給・保管・提供の仕組みづくり)	100%	<p>②-2 生活に困窮している子育て世帯を対象とした見守り活動（子育てはっぴい）を実施しました。この活動は、市内企業等からの寄付により実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 : 8世帯 ・協力事業所等 : 12件（個人3件、企業8件、ボランティア団体1件） 																				
②-3 関係機関が主催する会議等へ参加します。 (県や市が主催する会議、ハローワーク主催の会議、民児協定例会等)	100%	<p>②-3 以下の会議へ出席し、連携強化に努めました。</p> <table border="1" data-bbox="806 997 2094 1236"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会議名</th> <th>主催者（主体）</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎月第4水曜</td> <td>相談支援調整会議&地域支援コーディネーター連携会議</td> <td>志摩市</td> <td>毎回1人</td> </tr> <tr> <td>6月6日</td> <td>伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会</td> <td>ハローワーク伊勢</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>6月18日</td> <td>こころの健康づくり及び自殺予防対策ネットワーク会議</td> <td>志摩市</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>9月5日</td> <td>地域福祉推進会議</td> <td>志摩市</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会議名	主催者（主体）	出席者	毎月第4水曜	相談支援調整会議&地域支援コーディネーター連携会議	志摩市	毎回1人	6月6日	伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク伊勢	1人	6月18日	こころの健康づくり及び自殺予防対策ネットワーク会議	志摩市	1人	9月5日	地域福祉推進会議	志摩市	1人
開催日	会議名	主催者（主体）	出席者																			
毎月第4水曜	相談支援調整会議&地域支援コーディネーター連携会議	志摩市	毎回1人																			
6月6日	伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク伊勢	1人																			
6月18日	こころの健康づくり及び自殺予防対策ネットワーク会議	志摩市	1人																			
9月5日	地域福祉推進会議	志摩市	1人																			
②-4 研修会等を実施し、事業の啓発を行います。	100%	<p>②-4 下記のとおり研修会等を開催し、事業を啓発しました。</p> <p>(1)研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和6年7月31日(水) 13:30～15:00 ・場所：阿児アリーナ ベイホール 																				

<p>②-5 個別事例の課題から、地域資源の把握や社会資源の開発を検討します。 (認定訓練事業、連携企業の開拓、連携企業開拓会議の実施、居場所づくり等)</p>	<p>100%</p>	<p>・内容：講演「お金の学校 ～ゲームをしながら楽しくお金の大切さを知ろう～」 講師 ファイナンシャルプランナー 生川 奈美子 氏</p> <p>・参加者：24人</p> <p>(2)事業啓発活動</p> <p>・市主催の地域共生プロジェクト研修における事業説明：9月18日 志摩市本庁 1人参加 ※地域支援課生活支援係の事業内容の一部として説明しました。</p> <p>②-5 地域資源の把握や社会資源の開発を検討するため、企業を訪問するなどして情報を収集しました。</p> <p>(1)企業訪問</p> <p>・志摩市内外の企業への訪問等を計画的に実施し、事業啓発及び企業側の実情把握に取り組みました。また、企業担当者との「顔の見える関係」づくりに努め、今後の支援における協力を依頼しました。</p> <p>・関係機関からの紹介等により企業への訪問や来所による面接を行いました。(7カ所) (実施先) 介護施設、年金事務所、建設会社、障がい者支援事業所、食肉加工会社、派遣会社</p> <p>(2)フードドライブ</p> <p>・1団体が実施するフードドライブ事業に協力し、物資提供を受けました。</p>																																				
<p>③-1 集合研修やオンライン研修へ参加し、相談員の資質向上に努めます。</p> <p>③-2 国が主催する研修、都道府県が主催する研修、ブロック別研修へ参加します。</p> <p>③-3 関係機関が主催する研修会へ参加します。 (関係機関：就労支援、ひきこもり支援、子どもの貧困、こころの健康づくり、障がい者支援、高齢者支援)</p>	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>③-1、③-2、③-3 以下の研修会へ参加し、職員の資質向上に努めました。</p> <table border="1" data-bbox="801 906 2107 1422"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修名</th> <th>主催者(主体)</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月24日</td> <td>第1回消費生活相談員等勉強会</td> <td>三重県</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>6月10日</td> <td>多重債務相談研修</td> <td>東海財務局</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>6月10日</td> <td>令和6年度 みえ福祉の「わ」創造事業 説明会</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>6月27日</td> <td>自殺対策と生活困窮者支援との連携</td> <td>JSCP</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>1月15日</td> <td>生活困窮者自立支援制度 就労準備支援事業集合研修</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>2月6日</td> <td>令和6年度第1回生活困窮者自立支援制度にかかる主任相談支援員意見交換会</td> <td>三重県社協</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>2月7日</td> <td>令和6年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 テーマ別研修 若年層が抱える課題とその支援</td> <td>全社協</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>3月10日</td> <td>生活困窮者自立支援制度 支援員のための育ちガイドブック ～専門職としてのキャリアづくりにむけて～オンライン説明会</td> <td>日本総合研究所</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研修名	主催者(主体)	参加者	4月24日	第1回消費生活相談員等勉強会	三重県	1人	6月10日	多重債務相談研修	東海財務局	1人	6月10日	令和6年度 みえ福祉の「わ」創造事業 説明会	三重県社協	1人	6月27日	自殺対策と生活困窮者支援との連携	JSCP	1人	1月15日	生活困窮者自立支援制度 就労準備支援事業集合研修	三重県社協	1人	2月6日	令和6年度第1回生活困窮者自立支援制度にかかる主任相談支援員意見交換会	三重県社協	1人	2月7日	令和6年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 テーマ別研修 若年層が抱える課題とその支援	全社協	1人	3月10日	生活困窮者自立支援制度 支援員のための育ちガイドブック ～専門職としてのキャリアづくりにむけて～オンライン説明会	日本総合研究所	1人
開催日	研修名	主催者(主体)	参加者																																			
4月24日	第1回消費生活相談員等勉強会	三重県	1人																																			
6月10日	多重債務相談研修	東海財務局	1人																																			
6月10日	令和6年度 みえ福祉の「わ」創造事業 説明会	三重県社協	1人																																			
6月27日	自殺対策と生活困窮者支援との連携	JSCP	1人																																			
1月15日	生活困窮者自立支援制度 就労準備支援事業集合研修	三重県社協	1人																																			
2月6日	令和6年度第1回生活困窮者自立支援制度にかかる主任相談支援員意見交換会	三重県社協	1人																																			
2月7日	令和6年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 テーマ別研修 若年層が抱える課題とその支援	全社協	1人																																			
3月10日	生活困窮者自立支援制度 支援員のための育ちガイドブック ～専門職としてのキャリアづくりにむけて～オンライン説明会	日本総合研究所	1人																																			

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の三事業については、自立支援事業の担当者が主となり相談支援を進めています。令和6年度の新規相談件数は令和5年度と比較し若干減少しましたが、自立支援プランの作成件数は、令和5年度の55件から大きく増加し80件となりました。生活困窮者は経済的に生活が苦しいというだけでなく、高齢・障がい・ひきこもり・ペットの多頭飼育など相談者を取り巻く環境は様々です。これらの複合的な課題のある相談について、関係機関との連携・協議を重ねながら支援方針を検討しています。 生活課題が多岐にわたるケースについては、相談支援調整会議を積極的に活用し、多機関連携による支援体制の構築に努めました。 一人ひとりの相談者の思いを受け止め、助言・提案を行いながら相談者に伴走する姿勢で相談支援を実施しています。
----------------	--

Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

○ 居宅介護支援課（事業方針）

令和6年は、3年に1回の介護保険制度改正の年になります。今回の改正では、「地域包括ケアの強化」「自立支援・重度化予防」「働きやすい職場環境の確保」「制度の持続可能性向上」が提示されています。これらのことを踏まえて、求められているケアマネジャーの役割を果たし、質の高い居宅介護支援が提供できるよう努めていきます。



1. 居宅介護支援事業・・・支出予算 119,249千円

(1) 居宅介護支援事業

■目標

- ①介護支援専門員としての専門性を発揮し、要支援・要介護認定を受けた方への適切な予防プラン及びケアプランを作成し、自立支援・重度化予防に努めます。
- ②高齢者がより充実した在宅生活を送ることができるよう、行政、サービス事業者、医療機関など関係機関との連携を密にし、地域の実情に応じた取り組みにより、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③研修会、事例検討会、勉強会等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。
- ④ICTを活用して事務業務の効率化を図り、働きやすい環境を整えます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
① ケアプラン作成数の目標値は、ゆうゆう事業所（大王）月324件、かがやき事業所	100%	① 営業実績は、下記のとおりです。ケアプラン作成数は、ゆうゆう事業所（大王）は月平均343件、かがやき事業所（磯部）は月平均422件となっています。

(磯部) 月 440 件を目安とします。(介護、予防、障がい合算)

・経営状況

	ゆうゆう事業所 (大王)		かがやき事業所 (磯部)		合計	
	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン
ケアプラン作成件数	3,366 件	460 件	4,279 件	782 件	7,645 件	1,242 件
[前年比]	147 件	-7 件	1 件	138 件	148 件	131 件
当期利益	-1,149,862 円		4,142,192 円		2,992,330 円	
当期利益増減値 [前年比]	1,157,329 円		2,835,813 円		3,993,142 円	

・年度別推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サービス活動収益	135,648,637 円	140,083,718 円	136,727,728 円	130,245,490 円	135,953,126 円
延べ作成件数	8,994 件	9,288 件	9,029 件	8,608 件	8,887 件
当期利益	7,537,975 円	8,865,299 円	4,421,393 円	-1,000,812 円	2,992,330 円
当期利益増減値 [前年比]	4,880,659 円	1,327,324 円	-4,443,906 円	-5,422,205 円	3,993,142 円

・1件当たりのケアプラン作成料 (月額)

要支援1.2 (予防プラン) …4,200 円 要介護1.2 (介護プラン) …15,070 円、要介護3.4.5 (介護プラン) …18,320 円

②-1 介護・総合相談支援課等から紹介される困難事例に対応します。

100%

②-1 地域包括支援センターから紹介される困難事例を受け入れる態勢を整え、受け入れています。(受け入れ件数7件)

②-2 24時間連絡体制の確保及び相談に応じる体制を整えます。

100%

②-2 従来からの24時間連絡体制を維持し、時間外相談に随時応じています。

③-1 専門性を担保するため、1人6回以上外部研修に参加します。

100%

③-1 外部研修の参加状況は、下記のとおりです。

	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数
ゆうゆう事業所 (大王)	6回×10人 (職員数) =60回	102回	10回
かがやき事業所 (磯部)	6回×13人 (職員数) =78回	100回	8回
計	138回	202回	9回

<p>③-2 定例会（週1回）及び事業所内研修会（月1回）を開催し、感染症や災害への対応力強化、虐待防止に取り組みます。</p>	<p>100%</p>	<p>③-2 週1回の定例会及び月1回の事業所内研修会を開催しました。</p>
<p>③-3 他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会等を実施します。（年1回）</p>	<p>100%</p>	<p>③-3 全職員が参加できるよう同じ内容で10月16日、17日の2回、開催しました。</p>
<p>③-4 自立支援型地域ケア会議へ参加します</p>	<p>100%</p>	<p>③-4 市からの要請に応じて、自立支援型地域ケア会議へ5回参加しています。（6月26日、8月21日、11月27日、2月26日、3月26日）</p>
<p>③-5 居宅介護支援事業所の情報交換会を開催します。（年6回）</p>	<p>100%</p>	<p>③-5 居宅情報交換会を6回開催しました。（4月4日、6月11日、8月20日、10月22日、12月11日、2月18日）</p>
<p>④ 訪問時に利用者情報等を入力できるタブレット端末を活用し、業務の効率化を図ります。</p>	<p>100%</p>	<p>④ タブレット端末は、モニタリング、支援経過、担当者会議録の音声入力機能による記録、利用者宅での資料の閲覧等に活用し、業務の効率化を図りました。（194時間58分使用）</p> <p>【その他】</p> <p>○感染対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会の介護・障がい福祉サービス全事業所の管理者及び看護師参加のもと、感染症の予防及びまん延の防止のための対策をする感染対策委員会を開催しました。 <p>▽感染対策委員会の開催（2回開催：6月13日、11月18日）</p>

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1251 282 1299"> <tr> <td data-bbox="91 1251 203 1299">評価</td> <td data-bbox="203 1251 282 1299">A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、介護サービスのケアプラン（介護プラン）、予防サービスのケアプラン（予防プラン）ともに増加しました。介護プランの増加は市内の閉鎖する居宅介護支援事業所の利用者を受け入れたことによるもので、予防プランの増加はあかりからの委託を多く受け入れたことによるものです。 ・利用者に満足していただけるサービスを提供できるように、資質向上を目指し、研修会へ積極的に参加しています。 ・タブレットや通信機器を利用して、業務の効率化に役立っています。
評価	A		

(2) 障がい者相談支援事業

■目標

- ①障がい者等の有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、適切なサービス等利用計画を作成します。
- ②相談支援専門員として資質向上に努め、行政、サービス事業者等との連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③介護保険制度の介護支援専門員と密接に連携していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
① 障がい者プラン作成数の目標値は、職員1人あたり月6件を目安とします。	90%	<p>① 営業実績は、下記のとおりです。ケアプラン作成数は、ゆうゆう事業所（大王）は月平均43件、かがやき事業所（磯部）は月平均33件となっています。 （障がいプラン担当者数は、職員1人あたり月平均5.4件となっています。）</p> <p>・計画相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ゆうゆう事業所（大王）</th> <th>かがやき事業所（磯部）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画相談件数</td> <td>139件</td> <td>103件</td> <td>242件</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-7件</td> <td>-3件</td> <td>-10件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・年度別推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい福祉サービス等事業収益</td> <td>4,469,330円</td> <td>4,330,950円</td> <td>3,982,880円</td> <td>3,823,320円</td> <td>3,723,760円</td> </tr> <tr> <td>延べ作成件数</td> <td>302件</td> <td>293件</td> <td>262件</td> <td>252件</td> <td>242件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ケアプラン更新事務1件…18,080円（1～3年に1回） モニタリング1件…15,040円（3か月～6か月に1回） ケアプラン料は、更新時とモニタリング時のみとなります。</p>		ゆうゆう事業所（大王）	かがやき事業所（磯部）	合計	計画相談件数	139件	103件	242件	[前年比]	-7件	-3件	-10件		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	障がい福祉サービス等事業収益	4,469,330円	4,330,950円	3,982,880円	3,823,320円	3,723,760円	延べ作成件数	302件	293件	262件	252件	242件
	ゆうゆう事業所（大王）	かがやき事業所（磯部）	合計																													
計画相談件数	139件	103件	242件																													
[前年比]	-7件	-3件	-10件																													
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																											
障がい福祉サービス等事業収益	4,469,330円	4,330,950円	3,982,880円	3,823,320円	3,723,760円																											
延べ作成件数	302件	293件	262件	252件	242件																											
② 専門性を担保するため、1人2回以上外部研修に参加します。	100%	<p>② 外部研修の参加状況は、下記のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆうゆう</td> <td>2回×7人（職員数）＝14回</td> <td>15回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>かがやき</td> <td>2回×7人（職員数）＝14回</td> <td>17回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28回</td> <td>32回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	ゆうゆう	2回×7人（職員数）＝14回	15回	2回	かがやき	2回×7人（職員数）＝14回	17回	2回	計	28回	32回	2回														
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																													
ゆうゆう	2回×7人（職員数）＝14回	15回	2回																													
かがやき	2回×7人（職員数）＝14回	17回	2回																													
計	28回	32回	2回																													
③ 居宅介護支援事業所の情報交換会を開催します。（年6回）	100%	③ 居宅情報交換会を6回開催しました。（4月4日、6月11日、8月20日、10月22日、12月11日、2月18日）																														

■評価

目標の達成度	・利用者数は、新規対応件数を終了件数が上回ったことにより、令和5年度より減少しています。
評価	B ・障がいのある方が地域で生活する上での困りごとについての相談に応じ、関係機関と連携しながらサービス利用計画を作成し、福祉サービスの利用を支援しています。

○ 在宅サービス課（事業方針）

訪問系のサービスについては、浜島地域福祉センターさくら苑を拠点として事業を運営していきます。また介護職員の人材不足については、在宅サービス課内において、事業所間で応援体制を構築しながら連携していきます。

訪問入浴介護事業は、南伊勢町にある介護支援事業所にも空き情報を提供し、新規利用者の獲得を目指します。

通所介護事業は、令和5年度におきましても新型コロナウイルス感染症の影響がありました。引き続き感染症対策を講じながら、健全な事業所運営に努めます。



1. 訪問介護事業・・・・・・・・・・支出予算 54,323千円

障がい者ヘルパーセンター事業・・・・・・・・支出予算 42,019千円

(1) 訪問介護事業・日常生活支援総合事業第一号訪問事業・障がい者ヘルパーセンター事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②人材育成のための研修やスキルアップ・キャリアアップのために学べる研修をオンライン動画により効率的・効果的に実施していきます。
- ③新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。（年3回）	100%	①-1 情報交換会議を3回開催しました。（6月21日、10月16日、2月19日）
①-2 課題検討会議を開催します。（年3回）	100%	①-2 課題検討会議を3回開催しました。（4月24日、8月23日、12月18日）
①-3 毎月1回はパート職員を含めた情報交換を行い、支援内容の確認を行います。	100%	①-3 情報交換会議を毎月開催し、支援内容を見直しました。

<p>②-1 個別の研修計画（職種別・職員階層別）を作成し、介護現場で役立つ知識・技術が学べるオンライン動画の研修を行います。 （毎月実施）</p>	100%	<p>②-1 個別研修計画を作成し、毎月各テーマに沿った研修を行いました。 （プライバシー保護、事故発生又は再発防止、介護予防及び要介護度進行予防、倫理及び法令遵守、感染症・食中毒の予防及び蔓延防止、接遇、緊急時の対応、身体拘束の排除・高齢者虐待防止、感染症及び災害に係る業務継続計画、認知症及び認知症ケア、ターミナルケア、医療、介護、サービス提供責任者）</p>																																																										
<p>②-2 常勤職員は外部研修に参加します。 （1人1回以上）</p>	0%	<p>②-2 外部研修は、開催日程により参加調整が整わないことなどから参加できる研修が少なく、参加できませんでした。</p>																																																										
<p>③-1 居宅介護支援事業所へ空き状況を報告します。</p>	100%	<p>③-1 これまで新規の依頼が少なかった居宅介護支援事業所へ空き状況を報告しました。</p>																																																										
<p>③-2 訪問介護事業においては1ヵ月の平均サービス提供時間の目標値を1,550時間とします。</p>	97.8%	<p>③-2 営業実績は、下記のとおりです。</p> <p>・延べ利用者数及び延べサービス提供時間 [訪問介護事業]</p> <table border="1" data-bbox="772 774 2139 1005"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">延べ利用者数</th> <th rowspan="2">延べサービス提供時間数</th> <th rowspan="2">1ヵ月平均サービス提供時間数</th> <th colspan="4">サービス提供時間数</th> </tr> <tr> <th>身体介護</th> <th>身体生活</th> <th>生活援助</th> <th>総合事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス提供状況</td> <td>21,190人</td> <td>18,200時間 15分</td> <td>1,516時間 40分</td> <td>5,366時間</td> <td>4,905時間</td> <td>5,406時間 30分</td> <td>2,522時間 45分</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>775人</td> <td>-306時間</td> <td>-25時間 20分</td> <td>228時間</td> <td>-973時間 15分</td> <td>13時間 45分</td> <td>425時間 30分</td> </tr> </tbody> </table> <p>・年度別推移</p> <table border="1" data-bbox="772 1053 2139 1300"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>66,693,782円</td> <td>77,149,206円</td> <td>74,997,398円</td> <td>70,328,157円</td> <td>78,698,906円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>20,846人</td> <td>22,295人</td> <td>21,296人</td> <td>20,415人</td> <td>21,190人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>11,204,207円</td> <td>17,582,214円</td> <td>17,986,686円</td> <td>12,653,477円</td> <td>16,059,311円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-1,920,647円</td> <td>6,378,007円</td> <td>404,472円</td> <td>-5,333,209円</td> <td>3,405,834円</td> </tr> </tbody> </table>		延べ利用者数	延べサービス提供時間数	1ヵ月平均サービス提供時間数	サービス提供時間数				身体介護	身体生活	生活援助	総合事業	サービス提供状況	21,190人	18,200時間 15分	1,516時間 40分	5,366時間	4,905時間	5,406時間 30分	2,522時間 45分	[前年比]	775人	-306時間	-25時間 20分	228時間	-973時間 15分	13時間 45分	425時間 30分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	サービス活動収益	66,693,782円	77,149,206円	74,997,398円	70,328,157円	78,698,906円	延べ利用者数	20,846人	22,295人	21,296人	20,415人	21,190人	当期利益	11,204,207円	17,582,214円	17,986,686円	12,653,477円	16,059,311円	当期利益増減値 [前年比]	-1,920,647円	6,378,007円	404,472円	-5,333,209円	3,405,834円
	延べ利用者数	延べサービス提供時間数					1ヵ月平均サービス提供時間数	サービス提供時間数																																																				
			身体介護	身体生活	生活援助	総合事業																																																						
サービス提供状況	21,190人	18,200時間 15分	1,516時間 40分	5,366時間	4,905時間	5,406時間 30分	2,522時間 45分																																																					
[前年比]	775人	-306時間	-25時間 20分	228時間	-973時間 15分	13時間 45分	425時間 30分																																																					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																							
サービス活動収益	66,693,782円	77,149,206円	74,997,398円	70,328,157円	78,698,906円																																																							
延べ利用者数	20,846人	22,295人	21,296人	20,415人	21,190人																																																							
当期利益	11,204,207円	17,582,214円	17,986,686円	12,653,477円	16,059,311円																																																							
当期利益増減値 [前年比]	-1,920,647円	6,378,007円	404,472円	-5,333,209円	3,405,834円																																																							
<p>③-3 障がい者ヘルパーセンター事業においては1ヵ月の平均サービス提供時間の目標値</p>	99.6%	<p>③-3 営業実績は、下記のとおりです。</p> <p>・延べ利用者数及びサービス提供時間 [障がい者ヘルパーセンター事業]</p>																																																										

を900時間とします。			自立支援給付 (居宅、重度訪問、同行援護※1)		受託事業 (移動支援)		1ヵ月平均サービス 提供時間数	
			延べ利用者数	延べ提供時間数(A)	延べ利用者数	延べ提供時間数(B)	(A+B)÷12	
			サービス提供状況	7,148人	9,927時間	352人	830時間45分	896時間30分
			[前年比]	-1,399人	-919時間	60人	156時間15分	-63時間30分
			※1 同行援護：移動に著しい困難を有する視覚障がい者等の方が外出する際に、支援員（ガイドヘルパー）が同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護や外出する際の必要な援助を行なうサービス。 ・年度別推移					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	サービス活動収益	57,572,344円	53,812,530円	59,617,401円	58,236,330円	57,440,183円		
	延べ利用者数	8,851人	8,687人	9,234人	8,839人	7,500人		
	当期利益	13,470,327円	13,129,557円	14,676,526円	11,721,736円	10,229,442円		
	当期利益増減値 [前年比]	-5,540,740円	-250,770円	1,456,969円	-2,954,790円	-1,492,294円		

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・訪問介護事業では、延べ利用者数は増加したものの延べサービス提供時間は減少しました。詳細は、毎日型や総合事業の利用者が増加し、身体生活が大幅に減少しています。身体生活の利用者が施設入所やお亡くなりになったことによるものです。1ヵ月の平均サービス提供時間は目標値を34時間下回りました。サービス提供時間が減少したにもかかわらず収益が増加したのは、特定事業所加算Ⅱを算定したことによるものです。</p> <p>・障がい者ヘルパーセンター事業では、毎日利用の利用者が入所されたため、延べ利用者数は前年比で減少しました。1ヵ月の平均サービス提供時間の目標値は、それを見越して設定したため、計画どおりとなっています。延べ利用者数及び1ヵ月の平均サービス提供時間が減少したにもかかわらず収益が前年並みとなっているのは、訪問介護と同様の特定事業所加算Ⅱを算定したことによるものです。</p>
評価	B		

2. 訪問入浴介護事業・・・支出予算 13,720千円

(1) 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②人材育成のための研修やスキルアップ・キャリアアップのために学べる研修をオンライン動画により効率的・効果的に実施していきます。
- ③新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																							
①-1 情報交換会議を開催します。(年3回)	100%	①-1 情報交換会議を3回開催しました。(6月21日、10月16日、2月19日)																																							
①-2 課題検討会議を開催します。(年3回)	100%	①-2 課題検討会議を3回開催しました。(4月24日、8月23日、12月18日)																																							
②-1 個別の研修計画(職種別・職員階層別)を作成し、介護現場で役立つ知識・技術が学べるオンライン動画の研修を行います。(毎月実施)	100%	②-1 個別研修計画を作成し、毎月各テーマに沿った研修を行いました。 (プライバシー保護、事故発生又は再発防止、介護予防及び要介護度進行予防、倫理及び法令遵守、感染症・食中毒の予防及び蔓延防止、接遇、緊急時の対応、身体拘束の排除・高齢者虐待防止、感染症及び災害に係る業務継続計画、認知症及び認知症ケア、ターミナルケア、医療、介護、看護職員)																																							
②-2 常勤職員は外部研修に参加します。(1人1回以上)	100%	②-2 外部研修の参加状況は、下記のとおりです。 <table border="1" data-bbox="808 643 1933 740"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問入浴介護事業所</td> <td>1回×2人(職員数) =2回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> ▽訪問入浴車の操作に関する研修		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	訪問入浴介護事業所	1回×2人(職員数) =2回	2回	1回																															
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																																						
訪問入浴介護事業所	1回×2人(職員数) =2回	2回	1回																																						
③-1 居宅介護支援事業所へ空き状況を報告します。	100%	③-1 居宅介護支援事業所へ定期的に空き状況を報告しました。南伊勢町の居宅介護支援事業所に空き状況を提供したところ、新規利用者へのサービス提供につながりました。引き続き、空き情報を提供していきます。																																							
③-2 1ヵ月の平均利用回数の目標値を90件とします。	89%	③-2 営業実績は、下記のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 <table border="1" data-bbox="808 1051 2018 1201"> <thead> <tr> <th></th> <th>実利用者数(4月)</th> <th>実利用者数(3月)</th> <th>延べ利用者数</th> <th>1ヵ月の平均利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス提供状況</td> <td>20人</td> <td>21人</td> <td>966人</td> <td>80.5人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>0人</td> <td>-2人</td> <td>-69人</td> <td>-5.75人</td> </tr> </tbody> </table> ・年度別推 <table border="1" data-bbox="808 1249 2089 1447"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>17,667,360円</td> <td>15,997,450円</td> <td>16,023,650円</td> <td>14,692,340円</td> <td>13,916,878円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,281人</td> <td>1,177人</td> <td>1,167人</td> <td>1,035人</td> <td>966人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>350,428円</td> <td>-667,518円</td> <td>-805,631円</td> <td>-606,226円</td> <td>-102,866円</td> </tr> </tbody> </table> 		実利用者数(4月)	実利用者数(3月)	延べ利用者数	1ヵ月の平均利用者数	サービス提供状況	20人	21人	966人	80.5人	[前年比]	0人	-2人	-69人	-5.75人		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	サービス活動収益	17,667,360円	15,997,450円	16,023,650円	14,692,340円	13,916,878円	延べ利用者数	1,281人	1,177人	1,167人	1,035人	966人	当期利益	350,428円	-667,518円	-805,631円	-606,226円	-102,866円
	実利用者数(4月)	実利用者数(3月)	延べ利用者数	1ヵ月の平均利用者数																																					
サービス提供状況	20人	21人	966人	80.5人																																					
[前年比]	0人	-2人	-69人	-5.75人																																					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																				
サービス活動収益	17,667,360円	15,997,450円	16,023,650円	14,692,340円	13,916,878円																																				
延べ利用者数	1,281人	1,177人	1,167人	1,035人	966人																																				
当期利益	350,428円	-667,518円	-805,631円	-606,226円	-102,866円																																				

		当期利益増減値 [前年比]	645,494 円	-1,017,946 円	-138,113 円	199,405 円	503,360 円
--	--	------------------	-----------	--------------	------------	-----------	-----------

■評価

目標の達成度 評価 C	・訪問入浴介護事業は、新規の利用者が 19 人いましたが、終末期に利用される方が多く逝去されてしまうため、実利用者数は毎月 20 人前後となっており、延べ利用者数は減少しています。
----------------	--

3. 通所介護事業・・・支出予算 242,392千円

(1) 通所介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②人材育成のための研修やスキルアップ・キャリアアップのために学べる研修をオンライン動画により効率的・効果的に実施していきます。
- ③新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組みます。
- ④利用者の地域における社会参加活動や地域住民との交流を促進する観点から、事業の運営に当たって、感染症対策を講じながら地域住民やボランティア団体等との連携・協力をを行い地域との交流に努めます。
- ⑤介護予防拠点施設『菜の花館』で実施していました生きがい活動支援通所事業（受託事業）は、地域福祉センター（通所介護事業内）で実施します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。（年6回）	100%	①-1 情報交換会議を6回開催しました。（5月16日、7月18日、9月19日、11月14日、1月16日、3月13日）
①-2 課題検討会議を開催します。（年6回）	100%	①-2 課題検討会議を6回開催しました。（4月18日、6月20日、8月20日、10月15日、12月13日、2月21日）
①-3 看護師会議を開催します（年2回）	100%	①-3 看護師会議を2回開催しました。（10月29日、1月30日） ▽志摩の里の理学療法士を講師に招き、日常生活動作（ADL）の評価方法について指導していただきました。
②-1 個別の研修計画（職種別・職員階層別）を作成し、介護現場で役立つ知識・技術が学べるオンライン動画の研修を行います。（毎月実施）	100%	②-1 個別研修計画を作成し、毎月各テーマに沿った研修を行いました。 （プライバシー保護、事故発生又は再発防止、介護予防及び要介護度進行予防、倫理及び法令遵守、感染症・食中毒の予防及び蔓延防止、接遇、緊急時の対応、身体拘束の排除・高齢者虐待防止、感染症及び災害に係る業務継続計画、認知症及び認知症ケア、ターミナルケア、医療、介護、生活相談員、看護職員、リハビリ職員、調理師、送迎ドライバー）

②-2 常勤職員は外部研修に参加します。
(1人2回以上)

81.8%

②-2 外部研修の参加状況は、下記のとおりです。

	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数
浜島通所介護事業所	2回×8人(職員数) = 16回	12回	1.5回
大王通所介護事業所	2回×7人(職員数) = 14回	10回	1.4回
磯部通所介護事業所	2回×7人(職員数) = 14回	14回	2.0回
合計	44回	36回	1.6回

▽三重県デイサービスセンター協議会研修 ▽吉田福祉基金研修 ▽三重県社協研修 ▽オンライン研修

③-1 居宅介護支援事業所へ空き状況を報告します。

100%

③-1 居宅介護支援事業所へ定期的に空き状況を報告しました。

③-2 各事業所の1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。

- ・浜島通所介護事業所：37人
- ・大王通所介護事業所：31人
- ・磯部通所介護事業所：33人

浜島

③-2 営業実績は、下記のとおりです。

・経営状況

	浜島事業所	大王事業所	磯部事業所	合計
利用定員	45人	40人	45人	130人
延べ利用者数	11,056人	8,919人	9,293人	29,268人
[前年比]	-308人	-226人	-836人	-1,370人
サービス提供日数	304日	305日	289日	
1日平均利用者数	36.4人	29.2人	32.2人	97.8人
令和5年度 1日平均利用者数	37.0人	29.9人	33.0人	99.9人
当期利益	-589,168円	-5,738,216円	-6,259,978円	-12,587,362円
当期利益増減値 [前年比]	-1,975,480円	-8,041,142円	-12,436,272円	-22,452,894円

98.4%

大王

94.2%

磯部

97.6%

・年度別推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サービス活動収益		295,860,053円	304,080,184円	262,204,255円	269,418,965円	256,836,311円
延べ利用者数		33,868人	35,118人	29,828人	30,638人	29,268人
当期利益		21,099,609円	22,161,530円	3,580,280円	9,865,532円	-12,587,362円
当期利益増減値 [前年比]		25,689,070円	1,061,921円	-18,581,250円	6,285,252円	-22,452,894円

④ ボランティア団体等によるボランティア活動により、話し相手（傾聴）や余興（演奏、舞踏、マジックなど）の受入れなど地域との交流に努めます。また、幼保園や小学校との交流活動を行います。	100%	④ 浜島事業所において、ボランティア団体による大正琴を演奏していただきました。 大王事業所において、ボランティア団体によるコンサート、ヨガ、わらじ祭りみこしを披露していただきました。 磯部事業所において、ボランティア団体による舞踏を披露していただきました。
⑤ 地域福祉センターにおいて、生きがい活動支援通所事業（志摩市受託事業）が実施できるよう調整を行います。	100%	⑤ 生きがい活動支援通所事業の利用者は、磯部事業所において1名（延べ44回）でした。

■評価

目標の達成度	評価	内容
目標の達成度	D	<ul style="list-style-type: none"> ・浜島事業所では、平均利用者数は36.4人（前年度37.0人）で延利用者数は308人の減少です。延利用者数が減少した原因は、1日の平均利用者数の減少と新型コロナウイルス感染症のクラスター発生のため、営業日が前年度より3日少なくなったことによるものです。延利用者数は減少しましたが、口腔機能向上連携加算等を算定したため、介護保険事業収益は前年比で19万円増でした。 ・大王事業所では、平均利用者数は29.2人（前年度29.9人）で延利用者数は226人の減少です。延利用者数が減少した原因は、1日の平均利用者数の減少と新型コロナウイルス感染症のため、営業日が前年度より1日少なくなったことによるものです。収益は延利用者数の減少と中重度ケア体制加算が算定できなくなったため、前年比で290万円減少しました。 ・磯部事業所では、平均利用者数は32.2人（前年度33.0人）で延利用者数は836人の減少です。延利用者数が減少した原因は、1日の平均利用者数の減少と新型コロナウイルス感染症のクラスター発生のため5日間休業したこと及び地域福祉センターかがやきの空調設備改修工事に伴う休館により12日間休業したことにより、営業日が前年度より18日少なくなったことによるものです。収益は営業日の減少と中重度ケア体制加算が算定できなくなったため、前年比で921万円減少しました。

○ 障がい福祉課（事業方針）

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、関係機関と連携しながら事業を運営していくため、次の事業に取り組みます。特に、障がい福祉分野で必要となる資格取得に向けて支援していきます。

また、事業所ごとに各種行事やイベント等での交流を通じて、障がいのある人に対する理解を深め、障がいの有無にかかわらず誰もがお互いを尊重し、ともに生きる社会を創っていきけるよう取り組んでいきます。



障がい福祉課として担うべき業務と各事業所運営の方向性を明確にするために、数年後の事業統合及び廃止事業について検討していきます。

1. 障がい者生活介護センター事業・・・・・・・・支出予算 90,505千円

(1) 障がい者生活介護センター事業

■目標

①介護を要する障がいのある方に対し、通所による入浴、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のために必要な援助を行います。
また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況												
①-1 常勤職員は、年2回以上の外部研修に参加するとともに事業所内での伝達講習を行うことにより、職員の資質向上を図ります。	100% 100%	①-1 外部研修参加の状況は、下記のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>きらり事業所</td> <td>2回×3人(職員数) = 6回</td> <td>15回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>かがやき事業所</td> <td>2回×5人(職員数) = 10回</td> <td>14回</td> <td>2.8回</td> </tr> </tbody> </table>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	きらり事業所	2回×3人(職員数) = 6回	15回	5回	かがやき事業所	2回×5人(職員数) = 10回	14回	2.8回
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数											
きらり事業所	2回×3人(職員数) = 6回	15回	5回											
かがやき事業所	2回×5人(職員数) = 10回	14回	2.8回											
①-2 毎月1回事業所連携会議を開催し、情報の共有や課題等の検討に取り組み、職員の利用者支援のスキルアップに努めます。	100% 100%	①-2 会議開催の状況は、下記のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計(回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>きらり事業所</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>かがやき事業所</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> </tbody> </table>		職員会議	支援会議等	計(回数)	きらり事業所	12回	12回	24回	かがやき事業所	12回	12回	24回
	職員会議	支援会議等	計(回数)											
きらり事業所	12回	12回	24回											
かがやき事業所	12回	12回	24回											
①-3 1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。 ・きらり事業所：17人 ・かがやき事業所：13人	85% 75%	①-3 営業実績は、下記のとおりです。 ・経営状況												

	きらり事業所	かがやき事業所	合計
利用定員	20 人	20 人	40 人
延べ利用者数	3,533 人	2,385 人	5,918 人
[前年比]	-174 人	-420 人	-594 人
サービス提供日数	243 日	243 日	486 日
1 日平均利用者数	14.5 人	9.8 人	24.3 人
令和5年度 1 日平均利用者数	15.3 人	11.6 人	26.9 人
当期利益	-6,724,363 円	-6,356,439 円	-13,080,802 円
当期利益増減値 [前年比]	5,411,824 円	-8,400,772 円	-2,988,948 円

・年度別推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サービス活動収益	101,791,077 円	94,205,875 円	92,363,004 円	88,138,690 円	79,538,888 円
延べ利用者数	7,328 人	7,010 人	6,790 人	6,512 人	5,918 人
当期利益	-6,351,627 円	-3,764,268 円	-8,567,786 円	-10,091,854 円	-13,080,802 円
当期利益増減値 [前年比]	-9,095,017 円	2,587,359 円	-4,803,518 円	-1,524,068 円	-2,988,948 円

【きらり事業所】

- ・令和6年の報酬改定の報酬改定により、1日あたりの報酬額の引き下げに伴う減収はありました。
- ・利用者の退所等により、174人の減員になりましたが、下半期より重度障害者支援加算を取得したことにより、昨年程度の収益を確保できました。

【かがやき事業所】

- ・上半期中に死亡者1人、施設入所者3人、介護保険施設への利用移行者1人、体調不良による利用休止者1人という状況でした。
- ・下半期にも利用中止が1人、6年度末での介護保険へ利用移行者が1人という状況で、年間としても420人の減員となりました。

①-4 今後の事業統合について検討します。	80%	①-4 令和7年度途中で現在2事業所において運営している生活介護事業を、1事業所へ統合していく準備を進めていきます。 【その他】 ○虐待防止委員会 ・利用者の権利を擁護するための虐待防止委員会を定期的に開催しました。 虐待防止委員会の実施（7回開催） ・介護サービス事業所及び障がいサービス事業所における虐待防止取組方法について検討しました。 ・実際の虐待通報事例の対応も行いました。 ・虐待研修を2月14日に行いました。当日参加と動画での視聴に分けて全職員が共有できるようにしました。
-----------------------	-----	---

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> ・きらり事業所では、平均利用者数は14.5人（前年度9.8人）で延利用者数は174人の減少です。収益は前年比で15万円程度増加しました。 ・かがやき事業所では、平均利用者数は9.8人（前年度11.6人）で延利用者数は420人の減少です。収益は前年比で875万円程度減少しました。 ・全体の収益としては7,950万程度となり、昨年度より860万程度の減少となりました。 ・利用者も全体で1日あたり2.6人減員しており早急な対策が必要になります。
--	--

2. 放課後等デイサービスセンター事業・・・・・・・・支出予算 12,521千円

(1) 障がい児童デイサービスセンター事業

■目標

①障がいのある学齢期の子どもの健全な育成を図るため、授業の終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練や指導、集団生活への適応訓練、社会との交流の促進等を行い、様々な体験を通じ個々の子どもの状況に応じた発達支援を提供します。また、創意工夫したサービスを提供するために支援の質の向上を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況								
①-1 1日の平均利用者数の目標を8人とします。	81%	①-1 営業実績は、下記のとおりです。 ・経営状況 <table border="1" data-bbox="869 1267 1536 1455" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>くれよん事業所</td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,585人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-24人</td> </tr> </table>		くれよん事業所	利用定員	10人	延べ利用者数	1,585人	[前年比]	-24人
	くれよん事業所									
利用定員	10人									
延べ利用者数	1,585人									
[前年比]	-24人									

①-2 支援の質の向上のため、1人2回以上の外部研修に参加します。	100%	サービス提供日数	243日				
		1日平均利用者数	6.5人				
		令和5年度1日平均利用者数	6.6人				
		当期利益	4,237,802円				
		当期利益増減値 [前年比]	2,572,649円				
		・年度別推移					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		サービス活動収益	26,197,232円	16,559,780円	14,892,795円	14,461,090円	16,513,518円
		延べ利用者数	2,567人	1,668人	1,456人	1,609人	1,585人
		当期利益	2,918,624円	-4,256,306円	-440,225円	1,665,153円	4,237,802円
当期利益増減値 [前年比]	5,536,559円	-7,174,930円	3,816,081円	2,105,378円	2,572,649円		
①-2 外部研修参加の状況は、下記のとおりです。							
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数				
くれよん事業所	2回×3人(職員数) = 6回	6回	2回				

■評価

目標の達成度	・延べ利用者数は前年比で24人減少する結果となりましたが、保育士を配置することにより児童指導員等加配加算の報酬を取得することができたため、収益は前年比で増額する結果となりました。
評価	B

3. 就労支援事業・・・・・・支出予算 159,480千円

(1) 就労継続支援B型事業

■目標

①一般企業等での就労が困難な障がいのある方に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
【全事業所共通】		【全事業所共通】

<p>①-1 職員会議を毎月1回開催します。また、その他必要に応じて職員会議・支援会議等を適宜開催します。</p>	<p>90%</p>	<p>①-1 会議開催の状況は、下記のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="792 177 1632 416"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計 (回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はばたき事業所</td> <td>6回</td> <td>7回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>あいのその事業所</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>えりはら事業所</td> <td>13回</td> <td>12回</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>ひまわり事業所</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：各事業所24回/年×4事業所 実績：44回/96回</p>		職員会議	支援会議等	計 (回数)	はばたき事業所	6回	7回	13回	あいのその事業所	12回	12回	24回	えりはら事業所	13回	12回	25回	ひまわり事業所	12回	12回	24回																									
	職員会議	支援会議等	計 (回数)																																												
はばたき事業所	6回	7回	13回																																												
あいのその事業所	12回	12回	24回																																												
えりはら事業所	13回	12回	25回																																												
ひまわり事業所	12回	12回	24回																																												
<p>①-2 常勤職員は、年2回以上外部研修に参加します。また、事業所内での伝達研修を行うことにより、職員の資質向上を図ります。</p>	<p>100%</p>	<p>①-2 外部研修参加の状況は、下記のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="786 547 1825 782"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はばたき事業所</td> <td>2回×4人(職員数) = 8回</td> <td>42回</td> <td>10.5回</td> </tr> <tr> <td>あいのその事業所</td> <td>2回×5人(職員数) = 10回</td> <td>14回</td> <td>2.8回</td> </tr> <tr> <td>えりはら事業所</td> <td>2回×6人(職員数) = 12回</td> <td>6回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ひまわり事業所</td> <td>2回×1人(職員数) = 2回</td> <td>0回</td> <td>0回</td> </tr> </tbody> </table>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	はばたき事業所	2回×4人(職員数) = 8回	42回	10.5回	あいのその事業所	2回×5人(職員数) = 10回	14回	2.8回	えりはら事業所	2回×6人(職員数) = 12回	6回	1回	ひまわり事業所	2回×1人(職員数) = 2回	0回	0回																									
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																																												
はばたき事業所	2回×4人(職員数) = 8回	42回	10.5回																																												
あいのその事業所	2回×5人(職員数) = 10回	14回	2.8回																																												
えりはら事業所	2回×6人(職員数) = 12回	6回	1回																																												
ひまわり事業所	2回×1人(職員数) = 2回	0回	0回																																												
<p>①-3 1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はばたき事業所：17人 ・あいのその事業所：18人 ・えりはら事業所：18人 	<p>はばたき 92% あいのその 90% えりはら 89%</p>	<p>①-3 営業実績は、下記のとおりです。</p> <p>・経営状況</p> <table border="1" data-bbox="786 917 2051 1417"> <thead> <tr> <th></th> <th>はばたき事業所</th> <th>あいのその事業所</th> <th>えりはら事業所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用定員</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>3,829人</td> <td>3,984人</td> <td>4,103人</td> <td>11,916人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>332人</td> <td>-130人</td> <td>-120人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>サービス提供日数</td> <td>246日</td> <td>247日</td> <td>253日</td> <td>746日</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>15.6人</td> <td>16.1人</td> <td>16.0人</td> <td>47.7人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度 1日平均利用者数</td> <td>14.3人</td> <td>16.6人</td> <td>16.8人</td> <td>47.7人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-2,720,688円</td> <td>1,394,091円</td> <td>-10,432,170円</td> <td>-11,758,767円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>6,120,139円</td> <td>-1,370,610円</td> <td>-4,825,957円</td> <td>-76,428円</td> </tr> </tbody> </table>		はばたき事業所	あいのその事業所	えりはら事業所	合計	利用定員	20人	20人	20人	60人	延べ利用者数	3,829人	3,984人	4,103人	11,916人	[前年比]	332人	-130人	-120人	82人	サービス提供日数	246日	247日	253日	746日	1日平均利用者数	15.6人	16.1人	16.0人	47.7人	令和5年度 1日平均利用者数	14.3人	16.6人	16.8人	47.7人	当期利益	-2,720,688円	1,394,091円	-10,432,170円	-11,758,767円	当期利益増減値 [前年比]	6,120,139円	-1,370,610円	-4,825,957円	-76,428円
	はばたき事業所	あいのその事業所	えりはら事業所	合計																																											
利用定員	20人	20人	20人	60人																																											
延べ利用者数	3,829人	3,984人	4,103人	11,916人																																											
[前年比]	332人	-130人	-120人	82人																																											
サービス提供日数	246日	247日	253日	746日																																											
1日平均利用者数	15.6人	16.1人	16.0人	47.7人																																											
令和5年度 1日平均利用者数	14.3人	16.6人	16.8人	47.7人																																											
当期利益	-2,720,688円	1,394,091円	-10,432,170円	-11,758,767円																																											
当期利益増減値 [前年比]	6,120,139円	-1,370,610円	-4,825,957円	-76,428円																																											

・年度別推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サービス活動収益	156,996,096円	151,113,909円	151,393,848円	141,397,708円	147,768,715円
延べ利用者数	13,965人	13,153人	12,819人	11,834人	11,916人
当期利益	1,410,128円	-955,249円	-4,427,959円	-11,682,339円	-11,758,767円
当期利益増減値 [前年比]	-10,763,317円	-2,365,377円	-3,472,710円	-7,254,380円	-76,428円

【はばたき事業所】

- ・令和6年度は目標利用者数に達しませんでした。令和5年度より利用者の増加で給付が増えたこと、工賃実績の単価が上がり基本報酬そのものが高くなった等の要因により、収益が増加しました。
- ・年度途中では、転居等により利用者が2名退所されましたが、令和7年度から新規で1人利用予定です。

【あいのその事業所】

- ・1月から新規利用者が週1利用することになりました。
- ・長期の休養されている利用者があります。
- ・3月に転居等により1名退所されました。

【えりはら事業所】

- ・新規の受け入れがなかったことや、死亡、利用頻度が少なくなったこと、他事業所への利用移行などにより、延べ利用者数が前年比で減少しました。

①-4 2～3年後の事業統合について検討します。

100%

①-4 中期経営計画において、事業統合計画を策定しました。

【障がい者支援施設はばたき】

①-5 平均工賃20,000円を維持できるように作業計画の充実を図ります。

100%

【はばたき事業所】

①-5 令和6年度の平均工賃は、27,000円程度となりました。取り組みについては以下のとおりです。

- ・令和6年度は、全ての作業（農園、清掃、味処、菓子工房）において、時間給を250円と設定しました。

<p>①-6 関係機関との情報共有を密にし、連携を図りながら、安心して通所できる環境を整えます。</p>	<p>100%</p>	<p>①-6 関係機関との情報共有を密にし、連携を以下のとおり計りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業担当者や成年後見人と日常的な金銭管理についての連携を行いました。 ・生活困窮自立支援事業では、施設の体験利用を受け入れるなどを行いました。 ・相談支援専門員との情報共有を行い、利用者支援を進めました。
<p>【障がい者支援施設あいのその】</p> <p>①-7 担当職員の負担や費用対効果を考慮して、令和7年度以降の事業見直しを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味工房ともやま運営の継続/廃止 ・ふくしの魚や運営の継続/廃止 	<p>90%</p>	<p>【あいのその事業所】</p> <p>①-7 以下のとおり事業を見直しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくしの魚や事業は、職員体制の変更もあり、令和6年4月1日から廃止しました。 ・味工房ともやま事業は、令和6年度末時点で職員体制が整うまで休止とし、今後の事業継続については市と現在協議中です。
<p>①-8 利用者支援の質を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜必要に応じた早期の事例検討の実施 ・個別支援マニュアルの作成 ・アセスメントの質の向上 	<p>100%</p>	<p>①-8 高齢期を迎えた独居生活に不安が生じている利用者に対し、グループホームの入所へ向けたお試し宿泊利用を定期的に行いました。また、親族を含めて今後についての話し合いを行った結果、グループホームへの入所が決まりました。その後、独居時より安心できる環境で生活されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規で受け入れしている利用者については、比較的静かな環境を気に入ってもらえ継続して通ってもらえるように、職員間でも支援会議で対応について情報共有しながら支援をしています。 ・社協内事業所ではありますが、他サービスを併用している利用者の支援について密な情報共有をし、昼食の食べ方について改善がみられました。
<p>①-9 令和5年度に引き続き、事業継続計画（BCP）及び新型コロナウイルス感染症発生時におけるBCPを検証し、実状に応じ修正を行います。また、職員への周知徹底を行います。</p>	<p>40%</p>	<p>①-9 職員参集訓練への参加や職員防災危機管理ハンドブックの周知・配布のほか、安否確認サービストヨクモへの登録等を行いました。事業継続計画（BCP）等については検証することができませんでした。</p>
<p>【障がい者支援施設えりはら】</p> <p>①-10 就労支援事業収入を維持し、工賃確保につながるよう作業内容を考えていきます。</p>	<p>90%</p>	<p>【えりはら事業所】</p> <p>①-10 就労支援事業収入の確保のため、以下の取り組みを進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷たいゼリーを製造し、御田植祭りや朝市等へ販売したところ、高評価を得ました。 ・志摩地中海村からの定期的なクッキーの受注が好調となり、8月の納品が前年比で15%増加しました。

<p>①-11 皇學館大学のCLL活動（「伊勢志摩定住自立共生学」教育プログラムによる地域人材育成）と協働し、活動してくれる学生を募集し手作りパンの製品企画、毎月限定販売しているフェアパンのチラシのデザイン及びPR動画の企画・作成等を検討して実施していきます。</p>	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の猛暑対策のため午前の休憩回数を1回増やすことで熱中症を予防しました。 ・ネットニュースに掲載されたため、店舗への来客者が一時的に増加しました。 <p>①-11 皇學館大学CLL活動担当教員と連携して学生募集の依頼を行いました。学生確保には至っておらず活動できない状況です。</p>
<p>①-12 パンの製造販売について、新しい販路の確保と売れる新商品の開発に努めます。また、お客様が店舗に来て頂ける環境作りPRに努めます。</p>	90%	<p>①-12 新しい販路の確保と新商品の開発のため、以下の取り組みを進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月3回行われる朝市（あるがまま市、わのわ市、しんめ市）に出店できました。 ・パンの販売時、焼き菓子（ラスク）も入れることで、それを購入される方が増えました。 ・新しい販売先として志摩庁舎、鳥羽商船高等専門学校を確保しました。 ・商品開発に関しては令和5年度に引き続き、毎月のフェアパン、焼き菓子（ラスク）、夏季限定でのゼリーなどについて質の向上に取り組みました。 *フェアパン：えりはらにて毎月、限定販売しているパン
<p>①-13 えりはらパンの認知度を上げるために社協のInstagramを活用して、毎月限定販売しているフェアパン等の情報を発信していきます。</p>	10%	<p>①-13 4月に毎月のフェアパンのお知らせ等を本会のInstagramに発信してPRを行いました。その後は情報を発信することができませんでした。</p>

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 1300 203 1353">評価</td> <td data-bbox="203 1300 315 1353">C</td> </tr> </table>	評価	C	<ul style="list-style-type: none"> ・はばたき事業所では、平均利用者数は15.6人（前年度14.3人）で延利用者数は332人の増加です。収益は前年比で661万円程度増加しました。 ・あいのその事業所では、平均利用者数は16.1人（前年度16.6人）で延利用者数は130人の減少です。収益は前年比で39万円程度増加しました。 ・えりはら事業所では、平均利用者数は16.2人（前年度16.8人）で延利用者数は120人の減少です。収益は前年比で63万円程度減少しました。 ・全体の収益としては1億4,776万円程度となり、昨年度より637万程度の増加となりました。
評価	C		

	<ul style="list-style-type: none"> ・収益は増加となりましたが、人件費の増加により、依然トータルでの収支差額は赤字決算となっております。 ・周知、共有やインスタグラムへの投稿など十分な取り組みができなかったことが、その原因と考えています。
--	--

(2) 就労移行支援事業

■目標

①一般企業などへの就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
① 利用登録者が令和5年6月から在籍していなかったため、令和6年度から事業を休止とします。今後の事業の方針について検討していきます。	0%	<p>① 営業実績は、下記のとおりです。</p> <p>・年度別推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和2年度</th> <th style="width: 15%;">令和3年度</th> <th style="width: 15%;">令和4年度</th> <th style="width: 15%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>2,986,705円</td> <td>3,052,646円</td> <td>5,107,498円</td> <td>4,138,998円</td> <td>2,237,860円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>261人</td> <td>251人</td> <td>440人</td> <td>273人</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-3,059,626円</td> <td>-3,319,297円</td> <td>-2,368,174円</td> <td>-4,431,850円</td> <td>-6,192,157円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-350,536円</td> <td>-259,671円</td> <td>951,123円</td> <td>-2,063,676円</td> <td>-1,760,307円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	サービス活動収益	2,986,705円	3,052,646円	5,107,498円	4,138,998円	2,237,860円	延べ利用者数	261人	251人	440人	273人	46人	当期利益	-3,059,626円	-3,319,297円	-2,368,174円	-4,431,850円	-6,192,157円	当期利益増減値 [前年比]	-350,536円	-259,671円	951,123円	-2,063,676円	-1,760,307円
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																											
サービス活動収益	2,986,705円	3,052,646円	5,107,498円	4,138,998円	2,237,860円																											
延べ利用者数	261人	251人	440人	273人	46人																											
当期利益	-3,059,626円	-3,319,297円	-2,368,174円	-4,431,850円	-6,192,157円																											
当期利益増減値 [前年比]	-350,536円	-259,671円	951,123円	-2,063,676円	-1,760,307円																											

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価</td> <td style="width: 50%;">E</td> </tr> </table>	評価	E	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の1年間には利用者が在籍していなかったため、事業を休止していました。 ・令和6年12月開催の理事会において、就労移行支援事業の今後の事業運営の方向性について協議し、長年の不採算事業であることやこれまで収支改善に努めてきましたがこれ以上の回復は困難であると結論し、令和7年3月末をもって廃止と決定しました。
評価	E		

(3) 就労継続支援A型事業

■目標

①本会と雇用契約を結び、就労の機会を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上を目指した支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																
①-1 1日の平均利用者数の目標を4人とします。	53%	<p>①-1 営業実績は、下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況 <table border="1" data-bbox="815 269 1413 675"> <thead> <tr> <th></th> <th>ひまわり事業所 (A型)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用定員</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>512人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-286人</td> </tr> <tr> <td>サービス提供日数</td> <td>243日</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>2.1人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度 1日平均利用者数</td> <td>3.3人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-7,729,981円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-5,237,326円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・年度別推移 <table border="1" data-bbox="806 722 2002 946"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>10,142,591円</td> <td>10,204,882円</td> <td>11,022,590円</td> <td>12,159,314円</td> <td>11,502,220円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>678人</td> <td>657人</td> <td>567人</td> <td>798人</td> <td>512人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-6,900,219円</td> <td>-1,153,867円</td> <td>-3,543,009円</td> <td>-2,492,655円</td> <td>-7,729,981円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-2,464,385円</td> <td>5,746,352円</td> <td>-2,389,142円</td> <td>1,050,354円</td> <td>-5,237,326円</td> </tr> </tbody> </table>		ひまわり事業所 (A型)	利用定員	10人	延べ利用者数	512人	[前年比]	-286人	サービス提供日数	243日	1日平均利用者数	2.1人	令和5年度 1日平均利用者数	3.3人	当期利益	-7,729,981円	当期利益増減値 [前年比]	-5,237,326円		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	サービス活動収益	10,142,591円	10,204,882円	11,022,590円	12,159,314円	11,502,220円	延べ利用者数	678人	657人	567人	798人	512人	当期利益	-6,900,219円	-1,153,867円	-3,543,009円	-2,492,655円	-7,729,981円	当期利益増減値 [前年比]	-2,464,385円	5,746,352円	-2,389,142円	1,050,354円	-5,237,326円
	ひまわり事業所 (A型)																																																	
利用定員	10人																																																	
延べ利用者数	512人																																																	
[前年比]	-286人																																																	
サービス提供日数	243日																																																	
1日平均利用者数	2.1人																																																	
令和5年度 1日平均利用者数	3.3人																																																	
当期利益	-7,729,981円																																																	
当期利益増減値 [前年比]	-5,237,326円																																																	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																													
サービス活動収益	10,142,591円	10,204,882円	11,022,590円	12,159,314円	11,502,220円																																													
延べ利用者数	678人	657人	567人	798人	512人																																													
当期利益	-6,900,219円	-1,153,867円	-3,543,009円	-2,492,655円	-7,729,981円																																													
当期利益増減値 [前年比]	-2,464,385円	5,746,352円	-2,389,142円	1,050,354円	-5,237,326円																																													
①-2 牡蠣の売上実績を対前年比20%増額する目標とします。	100%	①-2 冬の真牡蠣の売上実績が増額となったため目標を達成することができました。																																																

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1225 282 1273"> <tr> <td>評価</td> <td>D</td> </tr> </table>	評価	D	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者2人が体調不良により、令和6年7月と8月から令和7年3月までそれぞれ長期間利用休止する結果となったため、訓練等給付費収入が前年比で大幅に減額する結果となりました。 ・令和6年12月開催の理事会において、就労継続支援A型事業の今後の事業運営の方向性について協議し、長年の不採算事業であることやこれまで収支改善に努めてきましたがこれ以上の回復は困難であると結論し、令和7年3月末をもって廃止と決定しました。
評価	D		

社会福祉法人志摩市社会福祉協議会

〒517-0214 三重県志摩市磯部町迫間 955

TEL 0599-56-1600

FAX 0599-56-1601

E-mail : honsho@shima-fukushikyo.or.jp

<https://shima-fukushikyo.or.jp>